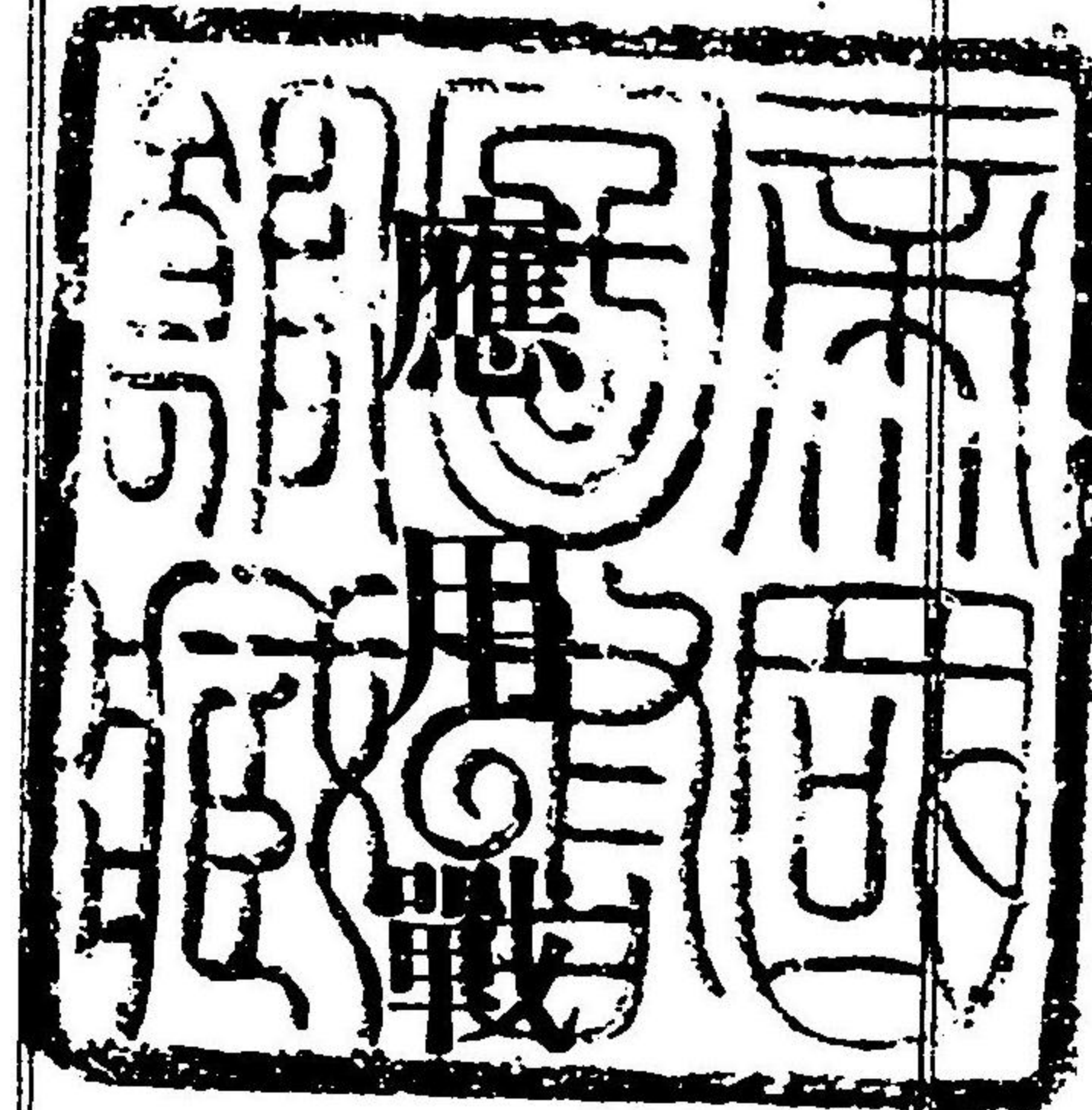


陸軍歩兵少佐 竹本竹次郎殿著



術講授錄 第一卷

東京 兵事雜誌社

明治  
40 6 26  
丙午



## 自序

予ノ同郷人ヨリ成レル戰術研究會ハ嘗テ予ニ囑スルニ攻撃防禦ニ關スル原則ヲ講述センコトヲ以テセリ當時我步兵操典改正草案第一部ハ既ニ發布セラレ殊ニ獨逸ニテハ改正步兵操典全部發布セラレタルノミナラズ機關銃操典及機關銃使用ニ關スル著書ノ如キモ續々出版セラレ之ガ爲メ應用戰術ノ研究ニ一新生面ヲ開カザルベカラザルノ秋ニ際セリ是ニ於テカ予ハ單ニ現行操典ニ示セル原則ヲ講述スルヲ以テ甘ンゼズ之ガ研究ノ範圍ヲ擴大シテ以テ正鵠ヲ失スルノ虞ナカラシコトヲ努メ當時改正セラレツ、アリシ我操典草案第二部ノ内容ヲ窺ヒ之ヲ獨逸新操典ニ對照シ且ツ機關銃ノ戰術上ニ於ケル使用法ノ研究ヲ參酌シ以テ攻撃防禦ニ關スル原則ヲ圖上戰術ニ適用シ會員



ニ對シテ之ヲ講述シテ予ガ責ヲ塞ギタリ。  
而ルニ今ヤ我操典草案第二部ハ既ニ發布セラレ機關銃操典草案モ亦  
近日世ニ公ニセラレントスルニ當リ前掲ノ予ガ講述ノ如キモ多少ノ  
價值ヲ認メラレ就中予ガ友人ノ勤獎及ビ兵事雜誌社再三ノ懇請ハ殆  
ンド予ガ之ヲ默々ニ附スルヲ許サズ遂ニ予ヲシテ前講ノ綱領ニ據ツ  
テ一著書ヲ完成スルノ決心ヲ爲サシムルニ至レリ思フニ操典ノ解釋  
ハ最モ健全ナラザルベカラズ而シテ其ノ健全ヲ失ハザランガ爲メニ  
ハ單ニ字句文章ヲ趁ヒテ推考スルヲ以テ足レリトセズ必ズ之ヲ諸般  
ノ狀態ニ應用シテ以テ十分ニ其ノ精神ヲ咀嚼スル所ナカルベカラス  
仍ツテ予ハ是等ノ軌典ニ示セル戰鬪原則ヲ嚮ニ講述シタルモノト相  
對照シ更ニ訂正増補シ之ニ令ズルニ應用戰術講授録ノ名ヲ以テシ茲

ニ世上好學者ノ一粲ニ供スルコト、セリ。  
然レドモ操典ノ意義ハ極メテ深遠ナリ本書ニ於テ予ガ講述セルモノ  
全然誤解ナキヲ保スベカラズ予ハ寧ロ本書ガ識者ノ論難ニ供セラレ  
因テ以テ眞摯ナル操典研究ノ端緒ノ開カル、ニ至ランコトヲ望ム本  
書ニシテ幾分ナリトモ這般資料トシテ貢獻スル所アルヲ得バ是レ予  
ガ最モ光榮トスル所ナリ。

明治四十年五月

著者識ス



應用戰術講授錄 第一卷目次

攻 擊

一、遭遇戰

想 定(二十萬分一、岐阜、名古屋、及附屬第一參照)……………一

軍隊區分……………

問題(此日ニ於ケル西軍支隊ノ軍隊區分)……………二

右問題答解ニ關スル講評及意見……………

軍隊區分ヲナスベキ要件……………五

支隊ノ軍隊區分……………

狀 況……………一〇

前衛ノ動作及前衛ニ屬セラレタル機關銃ノ使用……………

問題(前衛司令官ハ何事カ處置スルコトアルヤ)……………一二

右答解……………

狀 況……………一五



問題(尖兵長及前兵長ハ如何ニ其隊ヲ處置スルヤ)……………一五  
右答解……………

問題(前衛司令官ハ何事カ處置スルコトアルヤ)……………一八  
右答解……………

狀況……………一九

本隊ノ展開……………

問題(支隊長ハ如何ナル決心ヲナシ如何ナル區處ヲ爲スヤ)……………二〇  
右問題答解ニ關スル講評及意見……………

攻撃展開ヲ區處スベキ要件……………

攻撃展開及區處……………二五

狀況……………二七

## 二、防禦配備ヲ爲シタル陣地ノ攻撃

想定(二十萬分一、和歌山及附屬第二參照)……………二九

開進……………

問題(支隊長ノ決心ニ基ク第一ノ處置)……………三一

右問題答解ニ關スル講評及意見……………

開進ノ要義……………

開進スベキ位置及隊形……………

支隊ノ開進……………三五

狀況……………三七

攻撃計畫……………

問題(支隊長ハ如何ニシテ敵ヲ攻撃セントスルヤ)……………四〇

右問題答解ニ關スル講評及意見……………

右問題答解中ノ或ル一案ニ從テ導ビキシ戰鬪經過……………

攻撃準備陣地ノ選擇……………

各部隊ノ攻撃準備陣地ニ就ク動作……………四二

攻撃ノ實行……………

機關銃ノ使用……………

右答解中ノ他ノ一案ニ從テ導ビキシ戰鬪經過……………四三

攻撃展開ヲ區處スベキ要件……………



狀況

各部隊ヲ攻撃準備陣地ニ就カシムル命令

攻撃命令

攻撃實行

機關銃ノ使用

攻撃方面ノ選擇

支隊ノ攻撃計畫

三、敵ノ一翼ニ對スル包圍攻撃

想定(二十萬分一、和歌山及附圖第二參照)

包圍ノ方法

問題(古室村附近ノ敵ヲ攻撃スル爲メ支隊ハ如何ナル區處ヲ爲スヤ)

右答解ニ關スル講評及意見

攻撃方面及方法ノ選擇

包圍實行法ノ研究

包圍實行ニ關スル支隊ノ區處

四

四四

四五

五二

六五

六七

七五

狀況

問題(敵ノ正面ニ充テラレタル大隊長ハ如何ニ其隊ヲ區處スルヤ)

右問題答解ニ關スル意見

包圍部隊ノ掩護

機關銃ノ使用法

軍隊ノ配備

狀況

問題(包圍動作中突然僅少ナル敵ニ遭遇セシトキノ支隊長ノ處置)

右問題答解ニ關スル意見

右處置ニ關スル研究

包圍軍隊ノ處置

狀況

問題(敵(一部)ノ退走ニ際シ第二大隊長ノ處置)

右答解

狀況

五

八五

八三

八四

八〇

八一

七九

七八

七六

七六



問題(包圍軍隊ノ攻撃部署)	八六
右答解ニ關スル講評及意見	.....
展開正面ノ研究	.....
主力ノ向フベキ方面ノ選擇	.....
攻撃ニ於ケル機關銃ノ使用法	.....
包圍軍隊ノ攻撃展開	八七
困難ナル地形ニ於ケル軍隊ノ展開及散開法	九六
狀況	九七
豫備隊ノ行進法	九九
狀況	一〇〇
敵兵ノ退却ヲ察シタル砲兵隊長ノ獨斷	.....
支隊長ノ豫備隊使用	.....
狀況	一〇一
戰場追撃	.....
追撃ニ於ケル機關銃ノ使用	一〇二

## 防禦

一、防守正面ニ於ケル配備	.....
想定(二十萬分一、岐阜、名古屋及附屬第一參照)	一〇二
問題(第一聯隊長ハ其負擔スベキ守備正面ニ如何ニ配備スルヤ)	一〇四
右問題答解ニ關スル講評及意見	.....
負擔スヘキ守備正面ニ於ケル第一線ノ選定	.....
諸隊配備ノ研究	一〇八
地區豫備隊ノ性質	一一〇
機關銃ノ使用法	.....
軍隊ノ配備	一一二
沿道ノ人家ニ依リテ兩側相互ノ通視ヲ妨クル地區ニ於ケル配備法	.....
狀況	一一四
問題(歩兵第一聯隊第一大隊ハ如何ニ配備スルヤ)	一一四
右答解	.....



狀況 ..... 一一七

第一聯隊長ノ貯存スル地區豫備隊ノ使用 ..... 一一九

狀況 ..... 一二〇

第一聯隊長ノ有セル殘餘ノ地區豫備隊ノ位置變換 ..... 一二一

二、總豫備隊ノ攻勢移轉

攻勢移轉ニ着手スヘキ時機 ..... 一二二

問題(旅團長ハ此報告ニ因リ決心スルコトアルヤ) ..... 一二三

右答解 ..... 一二四

問題(攻勢移轉ニ於ケル總豫備隊ノ展開) ..... 一二五

右答解ニ關スル講評及意見 ..... 一二六

攻撃展開ノ位置ノ研究及展開 ..... 一二八

三、攻撃ノ目的ヲ有スル支隊ノ防禦配備

想定(二十萬分一、和歌山及附圖第三參照) ..... 一三一

問題(南軍支隊長ハ如何ニ防禦配備ヲナスヤ) ..... 一三二

右答解ニ關スル講評及意見 ..... 一三三

防禦陣地一般ノ選定 ..... 一四〇

防守正面ニ於ケル各部ノ研究 ..... 一四一

攻勢地帯ノ選定 ..... 一四二

防禦ニ於ケル機關銃ノ使用法 ..... 一四九

地區ノ配當及兵力ノ分配 ..... 一五三

總豫備隊ノ位置及隊形 ..... 一五四

攻撃地帯ヲ防守正面ノ一側ニ選フベキ理由 ..... 一五五

軍隊ノ配備 ..... 一五九

四、增加隊ノ來着ヲ期シタル支隊ノ防禦配備

想定(二十萬分一、岐阜、名古屋及附圖第一參照) ..... 一六一

問題(東軍支隊長ハ如何ナル配備ヲナスヤ) ..... 一六三

右答解ニ關スル講評及意見 ..... 一六七

防禦陣地選定ニ關スル評論 ..... 一七〇

防禦ニ於ケル總豫備隊ノ性質及增加隊ノ使用 ..... 一七〇

防守正面及攻勢地帯ノ選擇 ..... 一七九



増加隊ノ來着セザル以前ニ於ケル支隊長ノ手下ニ貯フベキ豫備隊ノ

性質

.....一七九

軍隊ノ配備

.....一八四

應用戰術講授錄 第一卷目次終

應用戰術講授錄 卷之一

陸軍歩兵少佐 竹本竹次郎著

攻 擊

一 遭 遇 戰

想 定

名古屋方面ノ敵ニ對シ成ルベク遠クニ於テ之ヲ拒支シ若シ已ヲ得ザルモ之ニ對シテ大垣ヲ占領スベキ任務ヲ有スル西軍一支隊ハ春照村附近ヲ出發シ三月一日午前九時其前衛歩兵ノ先頭ヲ以テ關原東端ニ達ス。此日支隊長ハ出發スルニ先タチ左ノ狀況ヲ知悉シアリ。

一、我ト畧々同等ノ兵力ヲ有スル敵ノ一縱隊ハ名古屋方向ヨリ前進シ昨夜起ニ達シ該地附近ニ宿營セリ。

攻 擊、遭 遇 戰



支隊ノ兵力左ノ如シ

步兵第一旅團(步兵第一、第二聯隊ニシテ各大隊ニ機關銃四挺ヲ有ス)

騎兵第三聯隊(第三中隊欠)

野戰砲兵第四聯隊第一大隊

工兵第五大隊第一中隊

衛生隊二分の一

砲兵聯隊段列二小隊

### 問題

此日ニ於ケル西軍支隊ノ軍隊區分

右答解ニ就テノ講評及意見

軍隊區分ナルモノハ戰畧及戰術上特別ナル目的ノ爲メニ一時使用スル軍隊ノ編組ナリ、故ニ決シテ一定不變ノ範式アルモノニアラズシテ一般ノ狀況ニヨリ特種ノ任務ハ勿論戰鬪ノ際最モ其兵力ヲ有利ニ使用シ得ベキ區分ニ依ラザ

固ルベカラザルナリ。

ル抑モ北軍支隊ノ企圖スル所ハ成ルベク遠ク名古屋方面ニ前進スルニアルヤヨリ論ナキナリ而シテ若シ之ヲ爲シ得ザルモ大垣ヲ領有セザルベカラズ然ニ茲ニ我企圖ヲ妨害スベキ敵ハ昨夜既ニ起、ニ到着セリ此敵ニシテ尙ホ前進シ來ランカ我大垣占領ノ希望モ先ヅ此敵ヲ擊攘スルニアラザレバ達成シ得ザルニ至レリ我任務ノ要求スル所既ニ然リ而シテ得タル狀況モ亦支隊ヲシテ攻撃ノ決心ヲ斷行セシムルニ躊躇セシムルコトナカルベシ是支隊ハ一モ二モナク速ニ前進シ敵ト衝突ヲ求メントスル所以ナルベシ而シテ、起、ニ到着セシ敵ハ如何ナル企圖ヲ有スルヤ固ヨリ之ヲ知ルニ由ナシ然レドモ敵ガ我ニ對シテ防勢ヲ取ラザルベカラザル理由ヲ發見シ得ザル限りハ彼モ亦我ニ向ツテ前進シ來ルトセザルベカラザルナリ此故ニ當日ノ前進ニ關シテハ豫メ遭遇戰ヲ惹起スルコトヲ覺悟セザルベカラザルナリ夫レ然リ支隊長タルモノハ奮ニ遭遇戰ヲ覺悟スルヲ以テ足レリトセズ自ラ進デ之ヲ求メ迅速機敏ノ動作ヲ以テ敵ヲ



壓倒シ之ヲ遠ク南方ニ擊攘シ以テ我任務ヲ有利ニ遂行セントスル確乎不拔ノ意思ヲ有セザルベカラザルナリ蓋シ攻防二者ノ中其何レヲモ取り得ベキ態ニ在リテハ常ニ攻勢ヲ取ルヲ原則トスルコト古來兵家ノ唱道スル所ナレバナリ況ヤ任務ノ要求スル所モ亦斷然タル攻撃ヲ欲ルニ於テチャ、人或ハ言ハン遭遇戰ナルモノハ由來指揮官ノ手下ニ統一セラレタル戰鬪ヲ爲ス能ハズ、所謂成リ行戰法ニシテ實ニ危險ノ極ト謂ハザルベカラズ斯カル冒險的戰鬪ヲ以テ一六ヲ僥倖センヨリハ寧ロ慎重ヲ主トシ、防勢ヲ取り進歩セル火器ノ利用ニ依リ以テ戰勝ノ成果ヲ得ルニ若ズト、然レドモ如何ニ火器ノ進歩ハ極點ニ達スルモ志氣ノ旺盛、先制ノ主利ハ攻者ニ存シ且ツ戰勝ノ成果ヲ得ンニハ必ズ攻勢ヲ取ラザルベカラズ苟モ其力攻撃スルニ足ルヲ信ゼバ徒ラニ物質上ノ利ニ由ランコトヲ希圖シテ防禦ヲ採ルガ如キハ我操典ノ精神ニアラザルナリ。支隊長ニシテ當日遭遇戰ヲ豫期シテ前進セントセバ之ニ適應セシムベキ軍隊區分ヲ考察セザルベカラザルナリ是ニ於テカ諸君ハ前衛ノ兵力及編組ヲ定ム

ルノ要件ヲ想起セヨ、地形及縱隊ノ大小ニ關スルコトハ暫ラク之ヲ措キ我軍ノ目的ニ從テ變化スベキコトノ要件ヲ步兵操典ノ示ス所ノ遭遇戰ニ於ケル前衛ノ動作ニ對照シテ味ヘバ尋常ノ場合ニ於ケル區分ト大ニ異ナル所アルベキヲ發見セラルベシ蓋シ遭遇戰ニ於ケル前衛ハ敵ト衝突ノ際後續部隊ヲシテ其展開ニ要スル時間ト地域トヲ得セシメ且ツ爾後ニ於ケル戰鬪ヲ顧慮シ我砲兵陣地ノ掩護又ハ特ニ正面並ニ側方ニ於ケル要地ヲ占領センガ爲メ戰鬪ヲ忌避スル事ナク迅速ニ着手セザルベカラザルコトアリ此要求ヲ充ス爲メニハ或ル程度迄前衛ノ兵力ヲ増大ニセザルベカラズ殊ニ砲兵ヲ付スルヲ可トスルコトハ從來諸兵家ノ唱道スル所ニシテ新獨逸步兵操典モ亦新タニ此意義ヲ明示セリ曰ク前衛ハ豫期セザル抵抗ヲ迅速ニ打破ン若クハ占領セル支撐點ヲ優勢ナル兵力ニ對シテモ亦頑強ニ固守セザルベカラザルコトアルベキヲ以テ砲兵ヲ之ニ附スルノ可ナルコト屢々アリト。

是故ニ諸君ノ大部分ガ爲セシ如ク此際僅カニ步兵一大隊ニ工兵一、若クハ二



小隊ヲ附スルガ如キハ實ニ其兵力及編組ヲ決定スベキ原則ニ合セザルモノト  
謂フノ外ナカルベキナリ斯カル兵力及編組ヲ以テ前述ノ動作ヲ要求スルハ過  
當ニ屬スルノミナラズ強テ之ヲ要求スルモ果シテ完全ナル動作ヲ遂行シ以テ  
全隊ニ於ケル動作ノ自由ヲ保留シツ、戰鬪配置ヲ完結セシメ得ルヤ、恐ラク  
此兵力及編組ヲ以テ此ノ大ナル要求ヲ充タシ得ベシト言フ者アラザルベシ。  
次ニ騎兵ノ使用ニ關シテ研究スル所アラントス、野外要務令ニ曰ク搜索ノ周  
到ナルハ警戒ノ爲メ緊要ノ手段ナルガ故ニ縱ヘ前方ニ騎兵旅團ノ在ル時ト雖  
モ軍隊ニ屬スル騎兵ノ大部分ヲシテ常ニ前衛ノ前方ニ進マシムルヲ要ス蓋シ  
此ノ如クスルトキハ之ヲ必要ノ生ズル毎ニ始メテ派遣スルニ比シ更ニ能ク全  
隊ニ安息ヲ與ヘ且ツ阻滯ナク整齊ノ行進ヲ爲サシメ得ルモノトス而シテ此騎  
兵ハ或ハ前衛ニ屬シ前(衛騎兵)若クハ本隊指揮官ニ直屬ス(獨立騎兵)但何レノ  
場合ニ於テモ本隊ノ戰鬪ニ臨ミ其直接ノ搜索ニ要スル騎兵ヲ殘シ置ク事ニ注  
意スベシト而シテ此兩様ニ於ケル騎兵ノ使用ニ關シテハ何等ノ要件ヲ示シア

ラズ故ニ之ヲ獨立騎兵トスルモ或ハ前衛騎兵トスルモ決シテ原則ヲ無視シタ  
ルモノニアラザルベシ然レドモ玆ニ一考スベキハ凡ソ騎兵ヲ前衛ニ屬センカ  
前衛司令官ハ之ヲ以テ自己ノ任務ヲ盡スニ必要ナル範圍ニ使用シ從テ騎兵本  
來ノ自由ナル動作ヲ羈束セラル、ニ至ルベシ若シ夫レ我騎兵ハ暫時ニシテ敵  
ノ騎兵ト衝突シ單ニ自己ノ力ノミヲ以テ前進スルヲ得ズ是非トモ前衛歩兵ノ  
援助ヲ求メザルベカラザルガ如キ場合ヲ豫察セバ初メヨリ之ヲ前衛ニ屬シ以  
テ步騎兩部隊ガ最初ヨリ共同ノ指揮下ニ在ラシムルヲ便利トスベシ之ニ反シ  
テ敵ヲ距ルコト尙ホ遠ク騎兵ヲシテ十分ニ其能力ヲ發揮セシメ得ベク殊ニ迅  
速ナル搜索ヲ要スト同時ニ我運動ヲ遮蔽セシムルヲ要スル場合ニアリテハ之  
ヲ獨立騎兵トスルヲ優レリトスベシ今ヤ支隊ハ遭遇戰ヲ豫期シテ前進セリ而  
シテ彼我ノ前進ニ由リテ相衝突スベシト豫想セラルベキ地點ハ垂井村ト荒川  
村トノ中間地區ナルコトヲ豫想セラレ得ベシ則、當日ニ於ケル支隊長タル者  
ハ一刻モ早く敵狀ヲ知悉シ且ツ何等ノ阻害ナク關原隘路ヲ進出スルヲ熱望ス



ルヤ蓋シ尋常ノ場合ヨリ一層甚シカルベシ之レガ爲メニハ騎兵ヲシテ早ク關原以東ニ進出セシメ速ニ敵狀ヲ搜索セシムルト同時ニ爲シ得ル限り我隘路進出ヲ容易ナラシムベキ動作ヲ要求セザルベカラザルナリ是ヲ以テ騎兵ノ受クベキ任務ハ全ク前衛ノ範圍外ニアルベシ是故ニ騎兵ヲ前衛ニ屬シ以テ其動作ヲ羈束セシムルガ如キハ此ノ場合ニ適セザルベシ若シ夫レ獨立シテ使用シ得ザルガ如キ寡弱ナル騎兵ニアリテハ一モ二モナク前衛ニ屬スルノ外他ニ使用ナカルベシ然レドモ支隊ハ完全ナル二中隊ヲ有セリ之ヲ若干他ニ使用スルモ裕ニ一中隊半ヲ有スベキヲ以テ前衛ノ範圍外ニ在リテ動作スルコト敢テ難クニアラザルベシ。

獨立騎兵トシテ前衛ノ前方ニ出セシトキト雖モ前衛ニ一分隊ノ如キ僅少ナル騎兵ヲ附スルハ不可ナリ、野外要務令ニ曰ク騎兵隊ノ大部分ヲ前衛ニ屬セザルトキト雖モ少クモ前衛直接ノ目的ニ充ツルニ足バルベキ騎兵ヲ配附スルヲ要スト、歩兵ノ搜索範圍ノ極メテ狹小ナルコトハ諸君モ知悉スル所ナルベシ

縦へ之ヲシテ遠大ノ距離ニ出スモ何等ノ効ナカルベシ而シテ前兵ニアリテハ行進路ノ側方ニ斥候ヲ出スヲ要スルコト屢々之レ有ルベシ此ノ如キ場合ニハ騎兵ヲ使用スルニアラザレバ十分ナル目的ヲ達スル能ハズ又前衛司令官モ遠ク斥候ヲ出スヲ要スル場合アルベシ是故ニ少クモ一小隊ノ騎兵ヲ前衛ニ屬スルコト極メテ緊要ナルベシ。

以上述ブル所ニ由リテ予ハ左ノ如キ軍隊區分ヲ爲ス。

#### 獨立騎兵

騎兵第三聯隊(第三中隊及一小隊ト一分隊欠)

#### 前衛

司令官 歩兵第一聯隊長 大佐某

歩兵第一聯隊(第三大隊欠)

騎兵一小隊

野戰砲兵第四聯隊第一中隊

攻撃、遭遇戰



工兵第五大隊第一中隊

本隊(同行軍序列)

支隊司令部及騎兵一分隊

歩兵第一聯隊第三大隊

野戰砲兵第四聯隊第一大隊(第一中隊欠)

歩兵第二聯隊

衛生隊二分一

### 狀況

此時(午前九時)支隊長ハ既ニ前衛本隊ノ先頭ニ在リテ左ノ狀況ヲ知悉シアリ。

一、我獨立騎兵ハ綾戸村附近ニ於テ敵ノ騎兵ヲ驅逐シ荒川村ニ達セシニ恰

モ敵騎兵約三中隊ハ久徳村ニ顯出シ目下尙ホ該地附近ニアリテ相對持シアリ。

二、我騎兵ノ一部ハ中山道上赤坂村ニ達セシニ是亦敵騎ノ一部、新町ニ在リ

テ是ヨリ以東ニ前進シ得ザリシ。

午前九時三十五分過ぎ支隊長ハ日守ノ西方ニ於テ午前九時十分荒川村發、獨立騎兵ノ報告ヲ受ク左ノ如シ。

一、久徳村附近ニ在リシ敵騎ノ主力ハ北方ニ前進セントスルモノ、如シ。

二、下官ハ今ヨリ一部ヲ荒川村ニ殘置シ主力ヲ以テ速ニ赤坂村ニ向ツテ前進セントス。

午前九時四十分前衛司令官ハ前兵(大隊長ノ指揮スル歩兵二中隊及機關銃四挺)ノ先頭ニ在ッテ午前九時二十分荒川村發、前衛騎兵ノ報告ヲ受ク曰ク

一、敵ノ歩兵五、六名靜里村西端ニ顯出シ尙ホ續キテ前進シアリ。

二、又久徳村附近ニ在リシ敵騎ノ一部ハ綾野村ニ轉進セリ。

三、前衛騎兵ハ現在ノ位置ニ在リテ敵狀ヲ搜索セントス。

次デ同騎兵ヨリ左ノ報告ヲ受ケタリ。

午前九時二十五分敵ノ歩兵約一小隊駈歩ヲ以テ靜里村北端ヨリ久徳村ニ向ッ

攻撃、遭遇戰



テ前進セリ多分敵ノ尖兵ナラン。

此時前兵ノ先頭ハ垂井町東端ニ、尖兵ハ平尾村ノ南方美濃街道上十字路ノ所ヲ前進中ナリ。

右狀況ニ在リテ前衛司令官ハ何事カ處置スルコトアリヤ。

此狀況ニ在リテ何事モ處置スル事ナキ前衛司令官ハ實ニ怠慢ト謂フノ外ナカルベシ、狀況ハ既ニ已ニ遭遇戰タルコトヲ明示セリ、此際支隊ニシテ表佐村附近ヨリ矢道村ニ亘ル線上ニ戰鬪線ヲ成形スル能ハザランカ恐ラク支隊長ヲシテ戰鬪ヲ有利ニ導クコトヲ得ザラシムルモノナリ請フ諸君垂井村ノ線ニ於ケル地形ヲ觀察セヨ勿論支隊ノ兵力ヲ展開スベキ地域ナシト云フニアラズ然レドモ後方近クニ狹隘ヲ扣ヘ恰モ囊中ニ在リテ動作スルガ如ク運動ノ自由ヲ防害セラレ而シテ府中村東北方ノ高地ハ我左翼側ヲ脅威スルニ適當ナル位置ニ存スルヲ以テ縱令全力ヲ展開シ得タレバトテ先ヅ此高地ヲ少クモ一部ヲ以テ占領シ得タル後ニアラザレバ斷乎トシテ攻撃前進ヲ決行スル能ハザルベシ若

シ又宮代村方面ヨリ主攻撃ヲ向ケントセンカ恐ラク此大ナル部落ハ鮮少ナラザル障礙ヲ呈シ爲メニ不幸ニ陥ルノ虞ナシトセザレバナリ是レ大部隊ガ縱令散開シアルモ村落ヲ濾過スルガ如キハ非常ノ混雜ヲ來シ易キモノナレバナリ殊ニ宮代村、府中村ノ線ニ歩兵ヲ散開セバ我砲兵ヲ何レニ布置スルヤ、最初ヨリ歩兵ト同線上ニ在ラシムルニアラザレバ敵線ヲ射撃スルコト能ハザルベシ是ヲ以テ支隊ヲシテ攻撃處置ノ自由ヲ得セシメンガ爲メニハ前衛ハ少クモ島村附近ヨリ矢道村ニ亘ル線ヲ占領セザルベカラザルナリ而シテ今ヤ敵歩兵ノ先頭部隊ハ荒川村附近ニ達スルアリ若シ彼ヲシテ一步ヲ先ンジ新屋敷附近ニ我先頭部隊ニ優ル兵力ヲ展開セシメンカ我ハ或ハ之ニ對シテ企圖スル所ノ線ヲ占領スル能ハズ、支隊ヲシテ垂井村ノ線ニ展開セザルベカラザルノ餘義ナカラシムルニ至ラン此ノ如キ不幸ヲ避ケンガ爲メニハ敵ヲシテ荒川村ヨリ以西ニ進出セシメザルヲ努メザルベカラズ、詳言セバ我部隊ヲシテ敵ニ先ンジテ綾戸村東端附近ヲ占領セシメ以テ其火力ニ依リ敵ノ前進ヲ阻支セザルベ



カヲザルナリ此要求ヲ充足センニハ各部隊ノ迅速ナル動作殊ニ機關銃隊及砲兵ノ火力ニ依ルヲ最モ有利トスベシ然ルニ機關銃ハ前兵ニ在ルヲ以テ適時之ヲ使用シ得ルモ砲兵ハ前衛本隊ニ在ルベキヲ以テ此ノ場合ニ招致スルニアラザレバ或ハ時機ニ遅クル、ノ虞ナシトセザレバナリ。

是故ニ前衛司令官ハ同伴セシ砲兵中隊長ニ命ジ附屬セラレアル砲兵中隊ヲ招致シ且ツ前兵若クハ尖兵ト共ニ前進シアル砲兵將校若クハ中隊長ヲシテ綾戸村西南方ノ地區ニ於テ長松村及其附近ヲ射撃シ得ベキ陣地ヲ偵察セシムルコト緊要ナリ。

步兵操典ハ遭遇戰ニ於ケル前衛ノ動作ニ就テ吾人ニ教ヘテ曰ク前衛ノ各指揮官ハ敵狀及全隊ノ展開ヲ顧慮シ其連繫ヲ害セザルヲ度トシテ獨斷事ニ從フヲ要スト則チ敵ニ先ンジテ迅速ニ展開シ時トシテハ其兵力ニ比シテ廣キ正面ニ擴張スベク砲兵陣地ノ掩護又ハ特ニ正面並ニ側面ニ於ケル要地ノ占領ニハ戰鬪ヲ忌避スルコトナク迅速ニ着手スベシト。

前兵長ハ勿論尖兵長モ目下ニ於ケル敵狀ヲ知悉セルナルベシ此際至大ノ勞働ヲ其部下ニ要求シ迅速ナル歩度ヲ以テ前進シ以テ敵ニ先ンジテ必要ノ地ニ展開セザルベカラザルナリ。

### 狀況

午前九時四十五分尖兵ハ綾戸村西方鐵道踏切ニ達セリ、此時前方ニ在リシ斥候報告シテ曰ク敵ノ歩兵約一小隊散開シテ長松村ヨリ新屋敷ニ向ツテ前進中ナリ尙ホ荒川村東端ニ歩兵約一中隊到着セリ。

尖兵長ハ如何ニ其隊ヲ處置スルヤ

今ヤ一刻モ猶豫スベキニアラザルナリ直ニ街道南側ニ散開シ三角標高一五、三附近ニ向ツテ前進セザルベカラザルナリ。

前兵長ハ間モナク右ノ報告ヲ受領セリ由テ直ニ馬ヲ驅テ鐵道踏切ノ處ニ至リ其南側ニ出デシニ恰モ尖兵ハ標高一五、三附近ニ於テ新屋敷ノ敵ニ向ツテ射撃セリ而シテ長松村西端ニハ一二ノ歩兵將校ノ如キモノヲ見得タリ。



前兵長ハ如何ニ其隊ヲ處置スルヤ

前兵長ハ前兵ノ先頭ニ在ル中隊ヲシテ直ニ綾戸村ノ東端ニ散開セシメ機關銃隊ヲシテ綾戸村南側ニ於テ先ヅ新屋敷ニ向ツテ射撃セシム而シテ残りノ一中隊ハ先ヅ綾戸村ノ西端ニ至ラシム。

前衛司令官ハ綾戸村方面ニ銃聲ヲ聞クト同時ニ平尾村南方美濃街道上十字路ノ東方ニ於テ右ノ報告ニ接セリ、此時前衛ノ砲兵ハ前衛本隊ノ先頭ニ出テ行進シアリ。

此時前衛騎兵ヨリ午前九時三十五分、十六村發、報告アリ曰ク

一、敵ノ歩兵約一小隊ハ美濃街道上、中曾根村ト齊頭面ニ達シ猶駈歩ヲ以テ荒川村ニ向ツテ前進中ナリ又歩兵約一中隊目下其先頭ヲ以テ久徳村西端ニ達シ駈歩ヲ以テ前進シアリ。

二、綾野村西端ニハ敵ノ歩兵五六名顯出セリ。

午前九時五十分敵ノ歩兵約一小隊、長松村西端ニ散開セリ而シテ新屋敷ニ向

ツテ前進シ來リ今ヤ新屋敷東方約百米ノ地ニ達スルヤ恰モ我中隊ハ其先頭小隊ヲ綾戸村ノ東端ニ散開シ茲ニ前記ノ敵ト猛烈ナル火戦ヲ開始セリ。

此時前兵長モ前衛司令官モ綾戸村西方鐵道踏切ノ南方ニ在リテ敵狀ヲ視察シアリシニ敵ノ歩兵約一中隊ハ荒川村南方堤防ヲ越ヘテ新屋敷南方ニ向ツテ來リツ、アリ。

午前九時五十二分我機關銃隊ハ獨立標高一五、三ノ北方ニ於テ新屋敷ノ敵歩兵ニ向ツテ射撃セシニ瞬時ニシテ敵ハ部落内ニ伏セリ然レドモ荒川村南方ヨリスル敵ハ尙ホ前進シアリ又荒川村南方堤防上及長松村北端ニハ一、二、三將校ノ如キモノヲ見ル。

午前九時五十五分稍々前、前衛騎兵ヨリ報告アリ曰ク、斥候ノ報告ニ由ルニ敵ノ歩兵約二中隊午前九時四十分綾野村東方ニ於テ渡河シ同村東端ニ集合シテリ、此時前衛ノ砲兵ハ其先頭ヲ以テ鐵道ノ踏切ニ、前衛本隊ノ先頭ハ其西方十字路ノ稍々西方ニ達セリ。



前衛司令官ハ何事カ處置スルコトアルヤ

砲兵ヲシテ直ニ獨立標高一五、三ノ西方ニ放列ヲ布置シ敵ノ歩兵ニ向ツテ射撃ヲ開始セシメ又前衛本隊ノ先頭ニ在ル歩兵中隊ヲシテ速ニ島村ニ向ツテ前進シ綾野村及中會根村ニ對シ島村附近ヲ占領セシム、尙ホ一中隊ヲ率キテ矢道村ニ向ツテ前進シ荒川村及荒尾村方面ニ對シ矢道村附近ヲ占領セシム、爾餘ノ諸隊ハ綾戸村ノ西端ニ來ラシム、午前十時砲兵中隊ハ陣地ヲ布キ射撃ヲ開始セリ。

此時支隊長ハ砲兵隊長ヲ伴ヒ綾戸村西端ニ來レリ、前衛司令官ハ是レマデノ狀況ヲ逐一報告セリ。

午前十時五分支隊長ハ獨立騎兵ヨリ午前九時四十分赤坂村發ノ報告ヲ受ク其ノ要旨左ノ如シ

一、敵ノ歩兵縱隊(少クモ二大隊)ハ鐵道ヲ前進シ目下其先頭ニ塚村ニ達セリ。

二、抗瀨川ハ福田村ヨリ北方ハ深泥ニシテ橋梁ノ外、通過スルヲ得ズ、其南方

ハ之ヲ詳ニスルヲ得ザルモ許多ノ徵候ヨリ考フルニ徒涉困難ナルモノ、如シ又今ニ至ルマデ此河川上ニ何等ノ工事ヲ施シアラズ。

三、牧野村東方ノ森林ハ概テ疎ニシテ小部隊ノ通過容易ナリ。

四、下官ハ一部ヲ以テ抗瀨川ノ各渡場ヲ監視セシメ主力ヲ以テ勝山ヲ占領セントス。

目下敵騎ノ主力ハ青木村附近ニアルモノ、如シ抗瀨川左岸ノ各部落ニハ敵ノ騎兵部隊アリ。

又中山道上ニハ敵ノ歩兵ヲ見ス。

### 狀況

我砲兵ノ猛烈ナル射撃並ニ機關銃射撃ノ効果ニ依リ敵ハ其勢力ヲ頓挫シタルモノ、如ク更ニ増加ノ模様ナシ然レドモ荒川村南方堤防並ニ荒川村ニハ敵ノ歩兵部隊ノ存在シアルヲ認メラル。

午前十時十分敵ノ歩兵約一中隊、中原村西方ノ堤防ニ散開シ十六村ニ在ル我



騎兵ニ向ツテ射撃セリ又荒川村南方堤防ニモ若干ノ歩兵顯出セリ。  
同時新屋敷及其北方並ニ南方ニ於ケル敵兵ハ一齊ニ退却ヲ始メ長松村及其南方堤防ニ至リ茲ニ停止セリ。

之ヲ殆ンド同時ニ敵砲兵約一中隊檜村西方ニ顯出シ我砲兵ニ向ツテ射撃セリ  
茲ニ彼我ノ砲戰ヲ開始ス。

時ニ獨立騎兵ヨリ午前十時勝山發報告アリ曰ク

先キニ報告セシ敵ノ歩兵縱隊ハ大垣西北端ニ達シ尙ホ鐵道上ヲ前進シアリ。  
此時支隊本隊ノ先頭ハ垂井町ノ西方ニ達セリ。

### 問題

支隊長ハ如何ナル決心ヲナシ及如何ナル區處ヲナスヤ

#### 右答解ニ關スル講評及意見

最早狀況ハ明白ト謂ハザルベカラザルナリ由來前方ヨリ來ル處ノ狀報ハ往々  
明確ヲ缺キ曖昧模糊トシテ捕執スベカラザル事多ク從テ指揮官ノ決心ヲ爲ス

ニモ一々任務ヲ基礎トシ之ヲ斷行セザルベカラズ是故ニ操典ハ吾人ヲ誡メテ  
言ヘリ決心ハ任務、地形、狀況ニ由リ定マルモノナリ然レドモ任務ハ決心ノ基  
礎ニシテ地形ノ不利、敵情ノ不明等ニ由リ其遂行ヲ躊躇スベキモノニアラズ  
ト、實ニ戰勝ノ効果ハ指揮官ノ健剛ナル決心ノ遂行ニ存スルモノトス、若シ夫  
レ指揮官ニシテ敵狀及地形ニ關シ偵知スル所アランカ展開ノ時期、方法及場  
所ニ影響スル處至大ナルベシ今ヤ支隊長ハ前衛ノ位置ニ在ツテ親シク前面ノ  
狀況及地形ヲ視察シ尙ホ又敵ノ後續部隊ノ狀況ハ順序ヲ追テ逐一報告セラレ  
アリ決シテ不明ニアラザルナリ而シテ地形モ特ニ稱シテ不利トスベキ理由ナ  
カルベシ之ヲシモ決心ヲ爲スコト能ハズトセバ如何ナルトキニ決心ヲ爲シ  
得ルヤ諸君ノ所謂狀況ノ明白トハ敵兵ノ我目前ニ散開スルニ至リシテ意味セ  
シカ將タ敵部隊ノ展開方面ヲ認定セラル、ニ至リシテ言フカ、是等ハ明白ハ  
則チ明白ナリ然レドモ之ヲ待タンカ恐ラク先制ノ利ヲ敵ニ與フルコト蓋シ數  
歩ニシテ足ラザルベシ此ノ如キ狀態ニ於テ戰勝ヲ期セント欲ス、猶楷梯ヲ以



テ天ニ登ランコトヲ望ムニ外ナラザルベシ。

敵ノ行動ハ正シク時々刻々發展シツ、アリ茲ニ斷乎タル決心ヲ以テ攻撃ヲ遂行セザルベカラザルナリ而シテ既ニ述ブル如ク支隊長ハ敵狀及地方ヲ偵知シアリ故ニ展開ノ時期、方法及場所ヲ隨意ニ選擇シ得ベシ之ガ爲メニハ地形及敵ニ關スル考察ヲナサザルベカラザルナリ請フ之ヲ左ニ述ベントス。

表佐村方面ハ地形一般ニ敞開シ且ツ我展開ヲシテ比較的疾速ナルノ利ヲ有スルモ總テノ運動ハ全ク曝露シ、十六村、島村ノ如キハ單ニ一時ノ據點タルニ過ギズ之ニ加フルニ中曾根村西方一帶ノ堤防ハ我攻撃前進ニ對シ鮮カラザル抵抗力ヲ有シ爲メニ我攻撃モ茲ニ一頓挫ヲ來スノ虞ナシトセザルナリ之ニ反シテ矢道村方面ハ表佐村方面ニ比シテ支隊ノ展開ニ要スル時間ヲ多カラシムルノ不利アルモ攻撃前進ニ方リテハ特ニ抵抗力ヲ有スベキ強固ナル地物ニ對スルガ如キコトナク勝山ハ攻撃ノ據點トシテ有利ニ使用スルヲ得ベシ要スルニ此方面ハ展開ヲ遅クスルノ害アルモ攻撃前進ヲ容易ナラシムルノ利アルベシ

殊ニ狀況ハ此方面ヨリ攻撃スルコトヲ要求セリ。

夫レ敵ノ一歩兵縱隊鐵道上ヲ前進シアルトハ二回ノ報告ニ由リテ疑フベカラザル事實ナルベシ、元來彼我狀況ニ關シ敵ノ行軍縱隊ヲ分割スルハ至當ニシテ至細ニ目下ニ於ケル彼我ノ位置ヲ考察セバ或ハ此縱隊ガ我ニ先ジテ荒尾村附近ニ展開シ得ラルベシ然レドモ彼レガ前進路ニ横ハル抗瀬川ハ恐ラク彼レニ鮮少ナラザル障礙ヲ呈シ爲メニ其展開動作ノ自由ヲ制限シ從テ多クノ時間ヲ要セシムルニ至ルコトハ蓋シ我ノ胸算ニ置クコトヲ得ベキ事實ナルベシ。目下ニ於ケル當面ノ敵ハ僅ニ步兵一大隊ニ過ギザルナリ其砲兵ノ如キモ前衛ニ屬セシモノナリト推察シ得ベク而シテ其後續隊ハ獨リ鐵道上ヲ前進シアルモノニ限ラズ美濃街道上ヲモ前進シアルコト是亦疑フベカラザルコトナルベシ是故ニ支隊ハ徒ラニ展開ニ要スル時間ヲ節約センガ爲メ表佐方面ヨリ攻撃セシカ強固ナル據點ニ據ル敵ノ爲メニ攻撃ヲ支阻セラレ其間ニ鐵道上ヨリ來ル縱隊ノ爲メニ矢道方面ニ猛烈ナル攻撃ヲ受クルニ至ル、狀態此ノ如キニ至



リテハ我ノ不利ニ歸スルコト實ニ火ヲ睹ルヨリ明カナルベシ之ニ反シテ前衛部隊ヲ以テ表佐村ヨリ綾戸ニ亘ル線ヲ占領セシメンカ假令多少優勢ナル敵ノ攻撃ヲ受クルモ此敵開セル地域ノ前進ニ對シ其攻撃ノ餘勢ヲ頓挫スルコト決シテ爲シ得ザルコトニアラザルベシ是レ精練ナル歩兵ハ比較的稀薄ナル配備ヲ以テスルモ其正面ハ堅固ニシテ敵ノ之ニ對スル企圖ヲ妨害シ得ベキモノナレバナリ、此間我ハ主力ヲ以テ矢道村ヨリ勝山ニ亘リ展開シ荒尾村ヨリ荒川村ニ亘ル線ニ向ツテ烈シク攻撃セシカ(鐵道上ヲ來ル縱隊ノ全部若クハ其上ニ當ルヲ覺悟スルハ勿論ナリ)奏功ノ見込ナシトセザルナリ。

是故ニ支隊ハ一部ヲ以テ表佐村ヨリ綾戸村附近ニ亘ル間ニ展開シ長松村方面ニ對セシメ主力ヲ以テ矢道村ヨリ勝山ニ亘ル間ニ展開シ荒川村ヨリ荒尾村ニ亘ル線ニ向ツテ攻撃スルナリ此場合ニ於テ最モ至當トナスベシ夫レ然リ而シテ此ノ如ク決心ヲナスニ就テ第一着ニ處置スベキハ勝山是レナリ鐵道上ヲ前進スル處ノ敵縱隊ハ其企圖南一色村及木戸村方面ニ於テ渡河セントスルナルベ

シ之ガ爲メ彼ノ最モ希望スル所ハ速ニ一部隊ヲ以テスル荒尾村及勝山ノ占領ナルベシ目下我騎兵聯隊ハ其主力ヲ以テ之ヲ占領シアリ然レドモ抵抗力寡弱ナル騎兵部隊ニ我運命ヲ堵スルニ緊要ナル地點ヲ一任スルハ怠慢ノ處置タルヲ免レザルナリ、縱令若干時間孤立ノ状態ニ陥ルモ頑強ナル抵抗ヲ以テ支隊ノ希望ヲ達セシメザルベカラザルナリ然ルニ支隊本隊ノ展開ニ依リテ之ヲ占領セシメントセバ或ハ時機ニ遅ル、ノ虞アリ故ニ前衛ノ部隊ヲ派遣スルコト極テ緊要ナルベシ。

以上説述スル處ニ由リ予ハ支隊長トシテ左ノ如キ決心及處置ヲ爲スベシ。

支隊ハ主力ヲ以テ矢道村及其東北地區ヨリ荒尾村方面ニ向ツテ攻撃セントス。

### 置 處

一、前衛ニ屬セシ歩兵第一聯隊第二大隊長ヲシテ其二個中隊及機關銃隊ヲ指揮シ速ニ前進シ勝山ニ至リ該地附近ヲ確實ニ占領シ以テ支隊本隊ノ展



開チ掩護セシム。

二六

- 二、前衛ハ現在ノ展開正面ヲ保持シ支隊ノ展開ヲ掩護セシム。
- 三、歩兵第一聯隊第三大隊ハ美濃街道ト中山道トノ中間森林中ヲ前進シ榎戸村ニ至リ木呂ヨリ荒尾村ニ亘ル間ニ對シ榎戸村ニ展開スベシ。
- 四、砲兵大隊ハ綾戸村北側ニ放列ヲ布置シ先ツ敵砲兵ニ向ツテ射撃ヲ開始シ支隊本隊ノ展開ヲ掩護セシム。
- 五、歩兵第二聯隊(第二大隊欠)ハ中山道ヲ前進シ青墓村ニ至リ荒尾村方面ニ對シ青墓村東南ノ地區ニ展開スベシ但シ右翼ハ歩兵第一聯隊第三大隊ト連繫セシム。
- 六、歩兵第二聯隊第三大隊ハ豫備トナリ歩兵第二聯隊ニ續行シ晝飯村ニ向ツテ前進セシム。
- 七、以上歩兵各部隊ノ展開ヲ終ラバ各負擔セシ敵方面ニ向ツテ攻撃ヲ實施セシム。

- 八、騎兵聯隊ハ該地占領部隊ト交代ノ後ハ其主力ヲ以テ赤坂村ニ位置セシム。
- 九、工兵中隊ハ砲兵ニ要スル工事ヲ援助セシメ後、晝飯村ニ至ラシム。
- 十、衛生隊ハ諸隊出發ノ後直ニ前進シ榎戸村西端ニ至リ繙帶場ヲ開設セシム。

### 狀況

支隊長ハ以上ノ處置ヲナシ依然綾戸村ニ在リテ敵狀ヲ視察シツ、午前十時三十分ニ至ル、長松村方面ハ別ニ發展セシ景況ヲ認メズ只我前衛ヨリ出セシ中隊ノ島村ニ到着セルヲ見シノミ。

同時午前十時十五分發、獨立騎兵ノ報告アリ曰ク

鐵道ヲ前進シ來リシ敵ノ縱隊ハ一部ニ分レ一部ハ南一色村ノ鐵道橋ヲ、他ハ木戸村ニ渡河ヲ始メタリ。

午前十時三十五分歩兵第一聯隊第二大隊(一中隊欠)ハ勝山ニ達セリ此時敵ノ



歩兵約一中隊既ニ熊野ニ達シ尙ホ勝山ニ向ツテ前進セントセリ由テ大隊ハ猛烈ナル射撃ヲ加ヘシニ直ニ熊野ニ潜入セリ。

此時敵ノ歩兵ハ福田村西北端ヲ占領シアリ尙ホ南一色村鐵道橋ハ敵兵ノ續々通過シアルヲ見ル又檜村ニモ一部ノ歩兵之ヲ占領シアリ。

午前十時四十五分頃福田村ヨリ敵ノ歩兵約一中隊散開シ勝山ニ向ツテ前進シ來リ其西北無名祠ノ線ニ達スルヤ熊野ヨリモ一中隊顯出シ共ニ我ニ向ツテ前進シ來レリ、勝山ノ大隊ハ全力ヲ散開シ之ニ向ツテ射撃シ殊ニ機關銃ノ猛烈ナル發射ハ敵ヲシテ其前進ヲ躊躇セシメタリ。

此時敵ノ砲兵約二中隊坂井ノ北方ニ放列ヲ布置シ我勝山ノ大隊ニ向ツテ射撃ヲ開始セリ然ルニ我砲兵モ亦綾戸北側ニ放列ヲ布置シ坂井ノ北方ニ於ケル敵ノ砲兵ニ向ツテ射撃ヲ開始セルヲ以テ勝山ノ大隊ハ玆ニ危難ヲ免ル、ヲ得タリ。是ヨリ以後ハ戰況ノ發展ヲ來シ午前十時頃ニ至レバ我支隊ハ全ク支隊長ノ意圖ノ如ク展開ヲ終ルニ至ルベシ而シテ敵モ亦恐ラク我ニ相當スル兵力ヲ福

田村、荒尾村、木呂方面ニ展開スルニ至ルベシ而シテ是レヨリ以後ニ於ケル各隊ノ動作ハ散兵戰鬪ノ原則ニ從フベキヲ以テ諸君ハ之ヲ實兵指揮ニテ十分ニ研究シ得ラル、ヲ以テ玆ニ本想定ニ於ケル研究ヲ擱メ更ラニ他ニ移ラント欲スルナリ。

### 防禦配置ヲ爲シタル陣地ノ攻撃

#### 想 定

大阪、八尾ノ線ニ在リテ敵ト對持セル南軍ヲ増援スベキ目的ヲ以テ和歌山ヨリ前進セル支隊ハ堺ニ達スルヤ敵ノ一縱隊高田方向ヨリ竹ノ内街道ヲ西進セル報ニ接シ直ニ之ニ向ツテ轉進シ二月一日午前九時支隊長ハ前衛本隊ノ先頭ニ在リテ金田村東端ニ達ス。

此時騎兵中隊ヨリ岡村發、報告ヲ受ク其要旨左ノ如シ。

一、高田方向ヨリ前進セシ敵ハ午前八時二十分頃ヨリ河原城村東方高地及伊賀村附近ニ點々散見セラル多分該地ニ工事ヲ施行シアルナラン北宮村



附近ニハ未ダ敵ヲ見ズ

二垣生野新田高地脚ヲ流ル、無名川ハ諸兵種ノ徒涉容易ニシテ且ツ河原城村及檉山村附近ノ兩岸ニ存スル樹木ハ概テ倭小ニシテ展望及通過ヲ妨ケザルモノ、如シ。

同時將校斥候ノ午前七時十分藏田村南方高地發、報告アリ曰ク

高田方向ヨリ前進セル敵ハ午前七時其前衛歩兵ノ先頭ヲ以テ古市村ニ達シ尙ホ前進ヲ續行セリ其兵力歩兵約五大隊、砲二中隊ナルモノ、如シ。

### 支隊ノ兵力

歩兵第三旅團(歩兵第五、第六聯隊)(各大隊ニ機關銃四門ヲ附屬セリ)

騎兵第二聯隊第一中隊

野戰砲兵(野砲)第二聯隊第二大隊

工兵第二大隊第三中隊

衛生隊二分一

右狀況ニ由リ支隊長ハ敵ヲ攻撃スルニ決ス。

### 問題

支隊長ノ決心ニ基ク第一ノ處置

右答解ニ就テノ講評及意見

諸君ノ作業ハ主力ヲ以テ伊賀村方面ニ向ツテ攻撃セントスルモノト、河原城村東方高地ニ向ツテ攻撃セントスルモノ、二種ニ別レ而シテ之ガ處置ハ概テ左ノ如シ。

其一、前衛ヲ以テ郡戸村及野村ヲ占領セシメ先ツ主力ヲ一津屋村附近ニ前進セシメントスルモノ。

其二、前衛ヲ以テ岡村附近ヲ占領セシメ先ツ西大塚村西南方ノ地區ニ前進セシメントスルモノ。

其三、前衛ヲ以テ岡村附近ヲ占領シ先ツ主力ヲ黒山村附近ニ前進セシメントスルモノ。



其四、前衛ヲ以テ郡戸村及野村方面ヨリ主力ヲ以テ多治井村東方高地ヨリ河原城村東方高地ニ向ツテ攻撃ヲ實施セントスルモノ。

其五、前衛ヲ以テ丹南村及岡村ヲ占領セシメ主力ヲ小寺村附近ニ開進セシムルモノ。

以上各答案ヲ一々講評スルハ時間ノ許サマル處ナルヲ以テ予ハ茲ニ防禦配備ヲ爲シタル陣地ノ攻撃ニ於ケル原則ヲ述ベ以テ諸君ヲシテ其答案ノ良否ヲ自覺セシムル處アラント欲スルナリ。

夫レ戰鬪ナルモノハ地形ノ利、不利ヲ問ハズ戰鬪企圖ノ如何ニ關セス、既ニ防禦スベキ決心ヲ爲シタルトキハ先ツ動作ノ自由ヲ放棄シタルナリ故ニ攻者ハ敵ノ陣地及攻撃ノ爲メニ呈スル總テノ利益ヲ偵察スルノ餘裕ヲ有ス、語ヲ換ヘテ言ハバ我レハ隨意ニ攻撃ノ時機ト方向及方法ヲ選擇シ得ルノ利益ヲ保有スルモノナリ而シテ此利益ヲ遺漏ナク發揮セシメンニハ慎重ニシテ確乎タル攻撃計畫ヲ確定シ然ル後之ニ依テ整々堂々トシテ之加モ統一サレタル指揮ノ

下ニ攻撃動作ヲ開始シ、進捗シ以テ戰鬪ノ結局ニ至ラシメザルベカラザルナリ是ニ於テカ原則ハ吾人ニ教ヘテ曰ク既ニ防禦ノ姿勢ニ停マリタル敵兵ニ對シテハ攻者ハ攻撃ノ計畫ヲ定ムルヲ要スト。

抑モ敵陣地ノ價值ハ攻撃ノ計畫ニ多大ノ影響ヲ與フルモノナルヲ以テ百方手段ヲ盡シ攻撃計畫ニ資スベキ要件ヲ搜索セザルベカラズ之ガ爲メニハ獨リ騎兵ノ搜索動作及望遠鏡ヲ以テスル視察ヲ以テ足レリトセズ、乘馬將校及歩兵將校斥候ヲ敵陣近クニ派遣シ以テ搜索ヲ完全ナラシメザルベカラズ是ニ於テカ此ノ如ク攻撃計畫ニ資スベキ要件ヲ搜索スルノ間、軍隊ヲ如何ニ處置スルヤノ問題ヲ提起スベシ、予ハ諸君ノ或ハ軍隊ヲ攻撃準備ノ陣地ニ就カシムルハ未ダ攻撃計畫ノ定マラザル以前ニ於テモ尙ホ且ツ之ヲ實行スルコトアリトノ思考ヲ有スルニアラザルヤヲ疑フナリ果シテ然ラバ是レ大ナル誤謬ナリ元來軍隊ヲ攻撃準備ノ陣地ニ就カシムルハ指揮官ノ戰鬪ヲ統一ニ導カンガ爲メノ方法ニシテ遭遇戰ニ於テ往々發生スベキ軍隊ヲ逐次ニ戰鬪ニ加入スルガ如



キ状態ニ陥ラシメザランガ爲メナリ故ニ攻撃計畫確定スルニアラザレバ攻撃準備ノ陣地ナルモノヲ決定スルヲ得ズ從テ軍隊ヲ配置スルニ由シナキナリ是ヲ以テ攻撃計畫未ダ定マラザル間、換言セバ百方ノ手段ヲ盡シ攻撃計畫ニ資スベキ要件ヲ搜索スル間、軍隊ヲ爾後ノ使用ニ便ナラシメ置クト同時ニ萬一ニ際シ突然ノ危険ニ陥ラシムルノ虞ナカラシメザルベカラズ則チ軍隊ヲ長キ行軍縱隊ノ儘道路上ニ置クニ換ヘ之ヲ横線上ニ爾カモ各部隊ハ行軍長經ヲ短縮シ以テ適當ナル位置ニ集合セシムルノ必要ヲ來スベシ是レ所謂開進ナルモノナリ而シテ開進ハ敵線ヲ距ルコト遠キ位置ニ於テ爲スベキモノト雖モ元來此動作ハ戰鬪準備ノ第一着ニシテ敵ノ妨害ヲ受クルコトハ絶對ニ之ヲ避ケザルベカラザルノミナラズ開進半途ニシテ戰鬪ニ移ラザルベカラザルガ如キハ指揮官ノ自由ヲ奪ハレタルモノナリ、故ニ此動作ヲ遺憾ナク完結セシメン爲メニハ之ヲ確實ニ掩護スベキ部隊ナカルベカラズ是ニ於テカ原則ハ吾人ニ教ヘテ曰ク攻撃計畫ニ資スベキ要件ヲ搜索スル際、軍隊ハ指揮官ノ意圖ニ從

テ開進シ前衛ハ此開進ヲ掩護スト。

夫レ開進ハ必ズシモ軍隊ヲ狭小ナル一地部ニ集合セシムルヲ要セザルナリ何トナレバ既ニ述ブルガ如ク攻撃計畫ニ資スベキ要件ヲ搜索スル間ニ於ケル時間ヲ利用シ以テ爾後ニ於ケル軍隊ノ使用ニ便利ヲ與ヘタルモノニ過キザレバナリ故ニ豫メ爾后ニ於ケル軍隊ノ使用ヲ檢束セザル限りハ多少離隔セル數地ニ分離スルヲ却テ有利トスルコトアルベシ殊ニ大部隊ニ在リテハ之ヲ一地部ニ集合セシメントセバ地物ノ利用ヲ困難ニシ敵眼若クハ敵火ヲ避クルヲ得ザルコトアルベキヲ以テ分離セル群ニ之ヲ配置シ以テ適當ニ地物ヲ利用セシメザルベカラザルナリ而シテ其隊形モ亦必スシモ密集隊形ヲ保持スルヲ要セザルベシ何トナレバ密集隊形ヲ以テ開進シアルト、行軍縱隊ニアルトナ問ハズ之ヲ展開スルニ方リ各部隊ハ行軍縱隊ヲ以テスルヲ有利トスルコト屢々之アレバナリ殊ニ開進ニ際シ直ニ展開スルコトヲ豫期セル場合ニ在ツテハ單ニ行軍縱隊ノ儘各部隊ヲ併列スルコトノ有利ナルコトハ我操典ノ吾人ニ教フル所



ナリ、獨逸新操典モ亦曰ク展開(或ハ之ヲ分進ト譯セリ、之ヲ展開トスルモ、分進トスルモ我操典ハ之ヲ稱シテ展開ト言ヘリ)トハ數個ノ縱隊ニ行軍縱隊ヲ分割シ廣キ正面ヲ作ルヲ云フ、之ヲ行フニハ軍隊ハ放線狀ニ展開シ多クハ行進隊形ヲ維持スルコトヲ得ベシ、大隊縱隊ニ於ケル開進ハ此場合ニアリテハ再ビ分解ヲ望ムベカラザルトキニ適用セラル、モノトス。

以上説述スル處ニ由リ諸君ノ爲セル答解ノ適否ハ自ラ判斷セラルベシ而シテ予ハ次ノ如ク答解ス。

- 一、前衛(歩兵第五聯隊(第三大隊欠)工兵中隊)ヲシテ野遠村附近ヲ占領シ本隊ノ開進ヲ掩護シ且ツ成シ得ル限り敵狀ヲ搜索セシム。
- 二、本隊ハ金田村西端ヲ先頭トシ逐次左ノ如ク集合セシム。
- 一、歩兵第五聯隊第三大隊ハ竹内街道ノ北側。
- 二、砲兵大隊ハ竹内街道上。
- 三、歩兵第六聯隊ハ各大隊ヲ行軍縱隊ノ儘併列シ竹内街道ノ南側。

#### 四、衛生隊ハ歩兵第六聯隊ノ後方。

諸君ノ答解中其五ニ屬スルモノハ其思考適當ナルベシ然レドモ開進位置一側ニ偏シ且ツ敵ニ接近スルヲ以テ爾後ニ於ケル軍隊ノ使用ヲ檢束セラル則チ搜索ノ結果主力ヲ以テ一津屋村方面ヨリ攻撃スルヲ要スル場合ニ在ツテハ敵前近クニ於テ極テ不利ナル運動ヲ爲ザルベカラズ是前既ニ述ベシ開進ノ要義ニ戻ルモノナリ。

#### 狀況

午前九時二十分前衛ハ其前兵(第一大隊長ノ率フル第一第二中隊)ヲ以テ野遠村ヲ占領シ一部隊ヲ川合村及野遠村南方無名部落ニ出シ尙ホ將校斥候ヲ多治井村、野村及字今在家方向ニ出セリ又尖兵ト共ニ前進シ來リシ砲兵將校斥候モ直ニ竹内街道ヲ東進セリ。

午前九時三十分稍々前、前衛司令ハ野遠村ニ至リ前兵長ノ爲セル報告ヲ受ケタリ、次テ支隊長モ砲兵隊長ヲ伴ヒ野遠村ニ來リ直ニ一砲兵將校斥候ヲ多治



井村方面ニ出セリ。

此時前衛本隊ハ中村西端ニ達シ開進シツ、アリ。

午前九時三十五分前衛騎兵ヨリ午前九時二十分一津屋村發、報告アリ其要旨次ノ如シ。

一、敵ノ騎兵約二中隊ハ島泉村ニ其一部ハ西川村ニ在リ北宮村南宮村ニハ敵ノ歩兵斥候出沒セリ。

二、伊賀村西北端ニハ確カニ二個ノ散兵壕ヲ見ラル。

野遠村ニ在ル支隊長及其他ノ諸隊長ハ頻リニ望遠鏡ヲ以テ敵陣地ヲ視察スルモ十分ニ其目的ヲ達セザリシ。

午前十時十分頃各方面ニ出セシ將校斥候歸來シ各其搜索セシ結果ヲ報告セリ其要旨左ノ如シ。

一、河原城村東方高地ニハ、茶畑附近ヨリ垣生野新田南方小池ニ至ル間ニ歩兵一中隊ヲ容ルベキ散兵壕四個ヲ見ル但シ其中央ニシテ多分西南ニ面

スルト思ハル、一個ハ鞏固ニ作ラレタルモノ、如ク胸牆モ他ヨリ稍々高キノ觀アリ。

多治井村東方高地上ニハ何物モ見ヘズ。

二、檜山村東方高地ニハ竹内街道ノ兩側ニ各一個ノ散兵壕アリ又伊賀村西北端ニモ散兵壕アルモノ、如シ。

三、確カニ見ラレ得ザルモ垣生野新田東方約三百米ノ處ニ砲兵肩牆ト思ハルベキモノ三、四個アリ。

四、多治井村方面ニ於ケル河川ハ到ル所徒涉シ得ルモノ、如シ現ニ敵ノ歩兵斥候ハ容易ニ通過シアリ又其兩岸ニ存スル樹木ハ倭小ニシテ毫モ通視ヲ妨ゲズ、

字西向埜東北方河岸ニ存スル松林ハ其樹木稍々大ニシテ通視ヲ妨グ。

五、此附近ニ點在セル小池ハ概シテ溜水多クシテ通過スルヲ得ズ。

此時本隊ハ指示ノ如ク開進ヲ完結シアリシ。



## 問 題

四〇

支隊長ハ如何ニシテ敵ヲ攻撃セントスルヤ。

右答解ニ就テノ講評及意見

諸君ノ攻撃方法ハ左ノ二種ニ分レタリ。

- 一、前衛タリシ聯隊ヲ以テ郡戸村及野村方面ヨリ敵ノ正面ニ向ヒ主力ヲ以テ字今在家方面ヨリ伊賀村ニ向ツテ攻撃セントスルモノ。
- 二、前衛タリシ聯隊ヲ以テ野村及向野村方面ヨリ竹内街道以北ノ敵ニ向ヒ主力ヲ以テ多治井村方面ヨリ河原城村東方高地ニ向ヒ攻撃セントスルモノ。

孰レモ主力ヲ以テスル攻撃ヲ敵ノ正面ニ向ケズシテ一翼ニ取りシハ至當ナリ而シテ之レガ攻撃方法ニ關スル區處ハ多種多樣ニシテ一々之ヲ列記スルヲ得ズ而カモ適當ト認ムベキモノ一トシテ之レナキハ實ニ遺憾トスル所ナリ。選定セラレシ攻撃方面ノ良否ハ暫ク之ヲ措キ諸君ノ攻撃ニ關スル區處ヲ一々

講評スルノ繁ヲ省カンガ爲メ予ハ假リニ其一ニ屬スル攻撃方法ニ從ヒ各部隊ガ戦闘ヲ開始スルニ至ルマデノ經過ヲ順序ニ説述シ以テ諸君ガ爲セル攻撃ニ關スル區處ノ適否ヲ自覺セシメント欲スルナリ。

攻撃計畫確定セバ軍隊ヲ展開シテ先ヅ攻撃準備ノ陣地ニ就カシムベキコトハ前既ニ之レヲ述ベタリ故ニ此時ニ在リテ支隊ハ開進セル諸隊ヲ展開シ以テ攻撃準備ノ陣地ニ就カシメザルベカラズ而シテ此陣地ハ固ヨリ敵火ノ効力及敵眼ヲ避ケザルベカラザルナリ、獨逸新操典ニ曰ク「我砲兵ヲ以テ敵ノ砲兵ヲ檢束シ得ルノ見込アルトキストラ概シテ掩護ナキ地ニ在リテハ歩兵ハ敵ヨリ三吉米及其以上ヲ距テ既ニ準備陣地ヲ取ラザルベカラズト」之ヲ要スルニ我操典ノ主旨トスル所ハ敵火並ニ敵眼ヲ遮蔽シテ成ルベク敵ニ接近シアルヲ可トスルニアリ而シテ此陣地ニ就クベキ各部隊ヲシテ必ズシモ齊頭ニ在ラシムルヲ要セズ寧ロ出入ヲナスモ能ク地形ヲ利用シ敵眼ニ遮蔽シ以テ豫期セザル戦闘ヲ避ケザルベカラザルナリ。



各部隊ヲ攻撃準備陣地ニ就カシムルニハ豫メ其展開區域及爲シ得レバ其負擔スベキ敵陣地ノ分部ヲ指示スベキモノトストハ我操典ノ吾人ニ教フル所ナリ(時トシテ準備陣地ニ就キタル後、攻撃命令ヲ下ス際始テ其展開區域及其攻撃スベキ敵陣ノ分部ヲ指示スルコトアルベキヲ注意スベシ蓋シ我操典ハ狀況ノ要求ヲ網羅セシモノニアラザルベシ故ニ何レノ場合ニ於テモ前二個ノ要件ヲ指示スルニアラザレバ準備陣地ニ就カシムルコトナシトナス勿レ)

此際砲兵ハ或ハ射撃セザルヲ有利トスルコトナキニアラザルベシ然レドモ多クノ場合ニ在リテハ歩兵ノ前進ヲ容易ナラシムルト尙ホ此砲戰ニ依テ敵狀ヲ探知スルノ必要トニ因リ砲撃ヲ開始セザルベカラザルベシ。

以上述アル所ニ由リ支隊ノ攻撃準備陣地ハ大保村附近ヨリ丹南村、岡村、新堂村及上田村ヲ經テ一津屋村ニ亘ル線ニ選定セラルベク而シテ各部隊ノ展開區域及負擔スベキ敵陣ノ分部ハ概テ左ノ如クナルベシ。

一、歩兵第五聯隊(第二大隊欠)ハ河原城村東方高地ヨリ檜山村東方高地ニ亘

ル敵ニ對シテ大保村附近ヨリ岡村ニ亘リ展開。

二、砲兵大隊ハ小寺村ト野遠村ノ間ニ放列ヲ布キ先ツ垣生野新田東方ノ敵砲兵ニ向ツテ射撃ヲ開始シ諸隊ノ前進ヲ掩護ス。

三、歩兵第五聯隊第三大隊ハ中村及川合村ヲ經テ前進シ伊賀村西方ノ敵ニ對シ新堂村ヨリ上田村ニ亘リ展開。

四、歩兵六聯隊(第二大隊欠)ハ東代村ヲ經テ阿保方面ニ前進シ伊賀村附近ノ敵ニ對シ西大塚村ヨリ一津屋村附近ニ亘リ展開。

五、歩兵第六聯隊第三大隊ハ歩兵第六聯隊ノ後方ヨリ前進シ先ツ田井城村ニ至ル。

六、衛生隊ハ諸隊出發ノ後、直ニ前進シ川合村ニ至リ開設ヲ準備ス。

斯ノ如ク攻撃準備陣地ニ就クニ際シ若シ遮蔽シテ展望ナキ地ヲ通過スル場合ニ在リテハ各部隊ノ前進ヲ齊一ナラシムル爲メ地區毎ニ前進セシムルヲ可トスベシ否ラザレバ比較的地形ノ便ヲ有スル部隊ハ敵ノ脅威ヲ受クベキ近傍ニ



過早ニ進出シ、前進困難ナルカ若クハ遠距離ヲ行進スベキ部隊ハ尙ホ後方ニ在ルガ如キ極テ不利ナルノ状態ヲ呈スルニ至ルコトアリ。

### 状 況

午前十時三十分ヨリ各隊ハ支隊長ノ命令ニ從テ攻撃準備ノ陣地ニ就クベキ運動ヲ開始セリ。

諸君ノ爲セルガ如ク各部隊ノ有力ナル前衛ヲ設ケテ前進スルハ不可ナリ成ルベク寡少ノ警戒兵ヲ出スヲ利トス蓋シ前方ニ出ス警戒部隊ノ大ナルニ從ヒ敵ノ注視ヲ引クコト愈々大ナルベク從テ豫期セザル戦闘ヲ來スノ虞アリ且ツ無益ノ區分ハ爾後ニ於ケル軍隊使用ニ不便ヲ生ズルニ至ルコトアリ故ニ單ニ我前進ヲ警戒スベキ寡少ノ部隊、時トシテハ斥候ニテ足ルベシ而シテ斯ク分割サレタル縱隊ハ一團トナリテ前進スルヲ要セズ、爾後ニ於ケル展開ヲ顧慮シ且ツ必要ニ應ジ縱長區分ヲナスヲ要ス。

右ノ要領ニ基キ諸隊長ハ次ノ如ク其隊ヲ區處セリ。

#### 歩兵第五聯隊(第二大隊欠)

- 一、野遠村ニ在ル大隊長ノ指揮スル一中隊ヲシテ檜山村東方ノ敵ニ對シ丹南村ヨリ岡村ニ亘リ展開セシムル爲メ先ヅ岡村南端ニ向ツテ前進セシメタリ。
- 二、第二大隊ヲシテ河原城村東方高地ノ敵ニ對シ大保村東方無名部落ヨリ眞福寺村ニ亘リ展開セシムルノ目的ヲ以テ先ヅ今井村方面ヨリ大保村ニ向ツテ前進セシメタリ。
- 三、第一大隊ノ一中隊ハ故參中隊長ノ指揮ヲ以テ石原村ヲ經テ大井村ニ至ラシメタリ。

#### 砲兵大隊

第四中隊ハ金田村ヨリ石原村ニ通ズル道路ヲ取り石原村ノ東北方ニ第五第六中隊ハ竹内街道ヲ取り野遠村ト其南方無名部落トノ中間ニ放列ヲ布置セシメタリ。



歩兵第五聯隊第三大隊

第九中隊ヲシテ新堂村ニ第十中隊ヲシテ上田村第十一中隊ヲシテ岡村西  
北方小池ノ堤防ニ第十二中隊ヲシテ川合村ニ前進セシメタリ。

狀況

午前十一時十五分マデニ以上ノ配置ヲ完結セリ但シ砲兵大隊ハ陣地進入ノ際  
垣生野新田東方ヨリ敵ノ砲彈ヲ受ケタリシモ幸ニシテ大ナル損害ナク午前十  
時五十分頃放列ヲ布置シ直ニ敵砲兵ニ向ツテ射撃ヲ開始セリ、敵砲彈ノ飛來  
スル景況ヨリ察スレバ垣生野新田東方ニ六門以上尙ホ竹内街道ノ北方ニモ一  
中隊許リアルモノ、如キナリ。

歩兵第六聯隊長ノ其隊ヲ區處スルニ就テ諸君ハ開進地ニ於テ兩大隊ニ展開  
ヲ命ゼリ是レ不可ナリ展開スベキ位置ハ頗ル遠隔シ且ツ地形ノ狀態ヲ知ラ  
ザルヲ以テ實際命令スルニ由シナカルベシ故ニ開進地ヲ出發スルニ際シテ  
先ヅ第一大隊ヲシテ高見村ニ第二大隊ヲ向井村ニ前進スベキヲ命ジ聯隊長

ハ先行シテ上田村附近ニ至リ一津屋村方面ノ地形ヲ視察セザルベカラズ。

午前十一時三十分歩兵第六聯隊第(三大隊欠)ハ第一大隊ヲ以テ高見村ニ第二  
大隊ヲ以テ向井村ニ到着セリ此時聯隊長ハ既ニ上田村ニ來リ一津屋村附近ノ  
地形ヲ視察シ先ヅ第一大隊ヲシテ伊賀村ニ對シ西大塚村ヨリ一津屋村ニ亘リ  
展開セシメ第二大隊ヲシテ阿保村ニ向ツテ前進セシメ次デ同大隊長ノ指揮ス  
ル二中隊ヲ一津屋村西方無名祠ニ、他ノ二中隊ハ圖上小川村地ノ附近ニ至ラ  
シメ土地ノ凹部ヲ利用シテ位置セシムルナルベシ。

午前十一時十分ニハ右聯隊ハ全ク其配置ヲ完結セリ而シテ歩兵第六聯隊第三  
大隊ハ今ヤ田井城村ヨリ阿保村ニ向ツテ前進中ナリ。

支隊長ハ野遠村ニ在リテ終始敵狀ト我各隊ノ動作ヲ視察シアリ此間彼我ノ砲  
兵ハ射撃ヲ繼續シ砲戰漸次ニ熾盛ニ赴キツ、アリ。

此時支隊長ハ各隊ニ攻撃命令ヲ降スベシ是ニ於テ各隊ハ此命令ニ從ヒ展開シ  
次デ散開シテ前進スルニ至ル而シテ阿保村ニ在ル歩兵第六聯隊第三大隊ハ支



隊長ノ豫備トシテ貯存セラル。

是レヨリ以下ノ經過ハ散兵戦闘ノ原則ニ從フベキモノニシテ之ヲ圖上ニ研究スルモ趣味極テ鮮ナシ且ツ實兵指揮ノ演習ニ於テ十分ニ研究セラレ得ベキヲ以テ之ニ讓リ少シク經過ヲ進捗セシメント欲ス。

各部隊ノ第一線ハ散開スルヤ直ニ前進シ午前十一時五十分頃ニハ歩兵第五聯隊(第二大隊欠)ノ第一線ハ多治井村、丹上村ノ線ニ達シ河原城村東方高地ノ敵ニ對シテ火戦ヲ交ヘアリ但シ其一部ハ多治井村東方高地ニ攀登中ナリ。

岡村方面ニ在リテハ陸續前進シ今ヤ野村ノ西方約二百米ノ處ニ達シアリ、此方面ハ單ニ散兵ノ前方ヲ前進シアル斥候ト敵ノ斥候トハ時々射撃ヲ交換スルノミナリシ。

午後零時十五分頃ニ至リ歩兵第五聯隊ノ右翼ハ敵ノ稍々有力ナル歩兵斥候ヲ驅逐シ既ニ多治井村東方高地ニ達セリ、多治井村附近ニ在リシ部隊ハ同時多治井村ト河原城村トノ中間ニ前進セリ、丹上村附近ニ在リシ部隊ハ郡戸村、野

村ノ線ニ前進シ茲ニ彼我猛烈ナル火戦ヲ交換シアリ、此方面ニ於ケル敵ノ兵力ハ河原城村東方高地ヨリ檜山村東方高地ニ亘リ歩兵一大隊半ナリ。

歩兵第六聯隊ハ其左翼部隊ヲ以テ島泉村ニ達セシニ敵ノ歩兵ハ北宮村ヨリ熾ニ射撃セリ、西川村附近ニ在リシ部隊モ右岸ニ移ルヤ否ヤ是レ亦北宮村、南宮村附近ヨリ猛烈ナル火力ヲ受ケタリ。

以上ノ銃聲ニ驚カサレ他ノ諸隊モ奮然トシテ右岸ニ移リシニ敵ノ歩兵ハ伊賀村ヨリ北宮村ニ亘リ展開シアリテ茲ニ彼我ノ間ニ猛烈ナル射撃ヲ交換スルニ至ル、然ルニ我レハ瞰制セラレ時々刻々損色ヲ顯スノ難境ニ入ラントスル状態ナリシ。

是ヨリ先キ小寺村ノ北方ニ在リシ我砲兵第四中隊ハ今井村東方ニ陣地ヲ變換シ伊賀村及南宮村附近ヲ掃射シアルモ未ダ其効力ヲ發揚シアラズ。

今ヤ全方面ニ於テ戦闘猛烈ヲ極メ殊ニ竹内街道北方ニ於ケル第一線各大隊ハ已ニ全力ヲ散開シアリ然レドモ未ダ前進ノ動機ヲ得ズシテ無名川ノ右岸ニ固



着シアリ、此間彼我ノ機關銃ハ時々其震駭的音響ヲ發シテ射撃シ、狀況頗ル悲惨ニ迫レリ若シ此狀態ニシテ繼續センカ或ハ我ハ崩壊スルニ至ルノ虞ナシトセザルナリ。

支隊長ハ西大塚村獨立標高四五、三丘阜ニ在リテ終始此狀況ヲ觀察シアリ、今ヤ支隊長ハ如何ニシテ戰勢ヲ挽回セントスルヤ。

小川村地附近ニ在ル豫備隊ヲ我左翼ニ展開シテ北宮村ニ向ツテ突撃ニ移ラシメントスルハ全ク諸君モ否認セザル所ナルベシ。

豫備隊ハ此命令ニ接シ直ニ展開シ前進セリ、此動作我全線ニ知ラサル、ヤ諸隊ハ茲ニ突撃ヲ準備スル爲メ全機關銃ヲ出シ猛射セントスルヤ敵モ亦タ我ニ先キダチ各處ニ機關銃ヲ出シ彼我全線非常ノ喧騒ヲ極メタリ、豫備隊タリシ步兵第六聯隊第三大隊ハ南島泉村東北方ニ達スルヤ既ニ已ニ北宮村東端ヨリ其東北方ニ亘リ展開セル敵ノ步兵ヨリ爲メニ前進ノ銳氣ヲ頓挫セラル、ニ至リシ、而シテ南島泉村附近ヨリ南方無名川ニ沿フテ位置セル我散兵ハ伊賀

村南方ヨリ來ル敵砲彈ノ爲メ縱射セラレ刻一刻不利ノ狀態ニ陥リツ、アリ。諸君以上ノ如キ狀況ニ至リシハ予ガ一種ノ好奇心ヲ以テ指導セシト思フ勿レ實ニ身ヲ敵方ニ置テ考察セヨ苟モ茲ニ防禦ヲナサント欲セバ垣生野新田方面ヲ防勢地帯トシ攻撃ニ轉ズベキ強大ノ總豫備隊ハ藤井寺村方面ニ置クコトハ諸君モ決シテ否認セザル所ナルベシ果シテ然ラバ此攻撃運動ノ經過ニ對シテ敵ノナセシ前述ノ如キ動作ハ決シテ成シ得ザルコトニアラザルナリ、諸君、基本戰術(メツケル將軍ノ著)ニ示セル攻撃點選定ノ要旨中ノ一件タル攻撃方面ハ推測シタル敵ノ豫備隊ノ位置ヨリ遠隔シアルヲ要ストノ項ヲ想起セラレヨ勿論是レ首要ナル條件ニアラザルベシ必ズヤ他ノ條件ト相待テ取捨スベキコトハ更ラニ喋言スルヲ要セザルナリ。

次ニ余ハ其二ニ屬スル攻撃方法ニ從ヒ經過ヲ說述セント欲スルナリ但シ戰鬥開始ニ至ルマデノ各隊ノ動作ハ前既ニ詳述シタルヲ以テ茲ニハ攻撃準備陣地ニ就カシムベキ命令及攻撃命令等ヲ成文的ニ說述シ諸君ノ他日ニ於ケル參考



トナサントス。

午前十時二十分支隊長ハ各部隊ヲシテ攻撃準備ノ陣地ニ就カシムル爲メ次ノ命令ヲ降セシナラン、竹内街道北方ノ地區ハ其南方地區ニ比シテ稍々遮蔽ノ利多ク且ツ我砲兵ヲ掩蔽スベキ必要アルヲ以テ豫ジメ大隊若クハ中隊ニ展開セシメ置クヲ可トスルコトアルモ之ニ反シテ竹内街道南方ノ地區ハ比較的敵開シアルヲ以テ中隊ニ展開セシムレバ敵ノ目視ヲ遮ギルコト困難ナルベク從テ豫期セザル戰鬥ヲ惹起スルノ虞アリ故ニ多クモ大隊以下ニ展開セシムルコトハ之ヲ避ケザルベカラズ。

- 一、敵ハ河原城村東方高地ヨリ伊賀村ニ亘リ陣地ヲ占領シ其砲兵ハ垣生野新田東方ニアルモノ、如シ。
- 二、支隊ハ主力ヲ以テ河原城村東方高地ニ向ヒ攻撃セントス。
- 三、騎兵中隊ハ一津屋村方面ニ在リテ支隊ノ左側ヲ警戒シ且ツ藤井寺村方面ヲ搜索スベシ。

四、砲兵大隊ハ石原村ト野遠村トノ中間ニ放列ヲ布置シ先ツ垣生野新田東方ノ敵砲兵ニ向ツテ射撃ヲ開始シ諸隊ノ前進ヲ掩護スベシ。

五、歩兵第六聯隊(第二大隊欠)ハ河原城村東方高地ノ敵ニ對シ小平尾村ヨリ多治井神社ニ亘ル間ニ展開スベキ顧慮ヲ有シ先ツ其主力ヲ以テ西村ヲ經テ阿彌村附近ニ前進スベシ。

六、歩兵第五聯隊(第二大隊)ハ郡戸村東方高地ノ敵ニ對シ大保村東南方無名部落ヨリ眞福寺村ニ亘ル間ニ展開スベキ顧慮ヲ有シ其主力ヲ以テ小寺村附近ニ前進スベシ。

七、歩兵第五聯隊(第二大隊欠)ハ竹内街道以北ノ敵ニ對シ丹南村ヨリ新堂村ニ亘リ展開シ特ニ左側ヲ警戒スベシ。

八、歩兵第六聯隊(第二大隊)及工兵中隊ハ歩兵第六聯隊ニ續テ前進シ北余部村ニ向ツテ前進スベシ。

九、衛生隊ハ諸隊出發ノ後直ニ前進シ大饗村ニ至リ開設ノ準備ヲナスベシ。

攻撃、遭遇戰



十、余ハ野遠村ニ在リ。

右命令ニ基キ諸隊ハ次ノ如ク區處セリ。

歩兵第五聯隊(第三大隊欠)

一、野遠村ニ在リシ第一大隊(第二第四中隊ヲ復歸)ヲシテ岡村ニ至リ其西端附近ニ蔭蔽シテ位置セシム。

二、第二大隊(第七第八中隊欠)ヲシテ新堂村ニ至リ其西端附近ニ蔭蔽シテ位置セシム。

三、第七第八中隊ヲシテ川合村ニ至ラシム。

歩兵第五聯隊第三大隊

第九中隊ヲシテ大保村東南方無名部落ニ第十中隊ヲシテ眞福寺村ニ至ラシム。殘餘ノ二中隊ハ、小寺村東方無名川ノ左岸ニ位置セシム。

歩兵第六聯隊(第三大隊欠)

一、第一大隊ヲシテ西村、北余部村ヲ經テ管生村ニ向ツテ前進シ一部ヲ以テ

小平尾村ヲ占領セシム。

二、第二大隊(第六第七中隊欠)ヲシテ第一大隊ニ續行シ黒山村ニ至リ其南端附近ニ蔭蔽シテ位置セシム。

三、殘餘ノ二中隊ヲシテ第二大隊ニ續行シ阿彌村東南方ニ至ラシム。

### 狀況

午前十時五十分頃歩兵第五聯隊(第三大隊欠)及砲兵大隊ハ上述ノ配置ヲ終レリ但シ砲兵大隊ハ陣地進入ノ際、垣生野新田東方ヨリ敵ノ砲彈ヲ受ケタリシモ大ナル損害ナク放列ヲ布置シ爾來彼我ノ間ニ砲戰ヲ開始セリ砲彈飛來ノ景況ニ由リ敵ノ砲兵ハ竹内街道ノ南側ニ約二中隊其北側ニモ約一中隊許ナルコトヲ察知セラレタリ。

此間諸隊ハ各々指定ノ位置ニ向ツテ前進シ午前十一時四十五分頃支隊ハ全ク各隊ノ配置ヲ完結セリ。

是ヨリ先キ支隊長ハ野遠村ニ在リテ彼我砲戰ノ狀態及各隊前進ノ景況ヲ視察



シアリ、午前十一時三十分頃左ノ如ク命令ヲ各隊ニ發セリ。

一、敵ノ砲兵ハ、河原城村東方高地ニ約一中隊尙竹内街道北側ニモ約一中隊アルモノ、如シ。

二、支隊ハ今ヨリ敵ヲ攻撃セントス。

三、歩兵第五聯隊(第三大隊欠)ハ午前十一時五十分ヨリ前進ヲ起シ竹内街道南方ノ敵ヲ攻撃スベシ。

四、歩兵第六聯隊(第三大隊欠)ハ小平尾村ヨリ多治井神社ニ亘ル間ニ展開シ正午十二時ヨリ前進ヲ起シ河原城村東方高地ノ敵ニ對シ其左翼ヲ包圍スル如ク攻撃スベシ。

五、歩兵第五聯隊第三大隊ハ多治井神社ヨリ眞福寺村ニ亘リ展開シ正午十二時ヨリ前進ヲ起シ郡戸村東方ノ敵ヲ攻撃スベシ。

六、歩兵第六聯隊第三大隊及工兵中隊ハ豫備隊トナリ黒山村ニ至ルベシ。

七、衛生隊ハ大饗村ニ繙帶場ヲ開設スベシ。

八、予ハ野遠村ニアリ。

右ノ命令ハ筆記シ傳騎ヲ以テ各隊ニ送達シ砲兵大隊及騎兵中隊ニモ亦諸隊ノ攻撃實行ニ着手スルコトヲ知ラシムル爲メ各一葉ヲ送達セリ。

斯クテ各隊ハ此命令ニ由リ更ニ其隊ヲ區處シ茲ニ全隊ハ殆ンド同時ニ其第一線ヲ散開シ前進スルニ至レリ(大隊展開ノ状態ヲ研究スルハ頗ル興味アルベキモ時間ヲ有セザルヲ以テ之ヲ省キ更ニ狀況ヲ進メントス)

爾來砲戰ハ漸次熾盛ヲ來シ午後一時頃ニハ我歩兵線ハ多治井村東方ノ高地ヨリ河原城村西端郡戸村、野村ヲ經テ字西向塾ノ西方ニ亘レリ而シテ河原城村方面ニハ彼我歩兵ノ間ニ熾盛ナル火戰ヲ交ヘアリ。

我砲兵大隊ハ先ツ其一中隊ヲ岡村北端ニ出シ主攻撃ノ方面ヲ射撃セシメ次デ二中隊モ亦タ丹南村南方ニ陣地ヲ變換セントシテ其動作ニ着手シアリ。

支隊長ハ今ヤ其位置ヲ大保村ニ轉ジ豫備隊モ亦目下多治井村西南端ニ前進シアリ。



是ヨリ先キ我騎兵ハ一津屋村ニ在リテ西川村及島泉村ニ在リシ敵ノ騎兵ト相對持シアリシニ午後十二時四十分頃僅少ナル敵ノ歩兵島泉村西方ニ顯出シ爲メニ字西塾々ニ引退セザルベカラザルニ至レリ又歩兵第五聯隊ヨリ有力ナル斥候ヲ西川村及無名川ノ右岸ニ出セシニ何レモ敵ノ歩兵斥候ノ爲メ進入スルヲ得ザリシ。

午後一時五分頃第六聯隊長ハ敵ノ左翼ニ向ツテ猛射シ之ヲ攪亂セシメンガ爲メ兩大隊ニ屬スル機關銃ヲ多治井村東方高地ニ集メントテ之ニ着手セリ。此際突然敵砲四門垣生野新田北方高地稜線後ニ顯出シ野村以北ノ我散兵線ニ向ツテ猛射シ同時ニ垣生野新田東方ノ砲兵モ亦全力ヲ同處ニ向ケタリ間モナク敵ノ歩兵ハ西川村南端ニ散開シ續テ島泉村西方ヨリモ顯出シ第五聯隊ノ左翼ニ向ツテ攻撃シ來レリ同聯隊長ハ直ニ貯存シアリシ二中隊ヲ今在家村方面ニ展開シテ之ニ抗セシモ敵ノ兵力ハ一大隊餘ニシテ遠ク字西塾々方面ヨリ我ヲ包圍シ來リ尙ホ其後方ニ密集部隊ヲ有セリ、岡村南端ニ在ル我砲兵ト之ニ

對シ得ル我第一線部隊トノ猛射ニ由リ多少其前進ヲ躊躇セシメ得タルモ之ニ對スル我歩兵ノ僅少ナルト殊ニ堅固ナル據點ナキトニ因リ瞬時ニ制壓セラレ今ヤ敗色大ニ顯レ第五聯隊モ如何トモスル能ハザルニ至レリ。

支隊長ハ敵砲兵ノ射撃方向ヲ變換セシト、西大塚村方面ニ劇烈ナル銃聲ノ起リシト、第五聯隊長ノ報告トニ因リ敵ノ逆撃ヲ察知シ直ニ河原城村東方高地ニ向ツテ突撃セントシテ多治井村ニ至リ豫備隊ヲ提テ第一線ノ直後ニ至ルノ際北方ニ方リ突撃ノ大聲ヲ聞クト同時ニ野村、岡村方面ニ我兵ノ散亂シテ南方ニ潰走スルヲ見タリ最早茲ニ至リテハ勇猛ナル將官モ如何トモスル能ハズ多大ノ希望ヲ有セシ支隊ノ空シク草頭ノ露ト共ニ消フルニ至リシハ誠ニ憐ムベキナリ。

以上ノ經過モ亦タ予ガ一種ノ好奇心ヲ以テ指導シタルニアラズシテ此攻撃方法ニ對シテハ苟モ攻勢的性質ヲ有スル防者ノ爲スベキコトタルベシ抑モ諸君ガ立案セシ二種ノ攻撃方法ハ共ニ失敗ニ歸シタルハ其攻撃計畫ニ從テ爲セル



攻撃動作ノ不良ナルニアラザルコトハ諸君モ確カニ是認スル所ナルベシ是  
々操典ノ原則ヲ應用シ得タルモノナレバナリ則チ諸君ガ立案セシ攻撃計畫ノ  
慎重ナラザル結果ト謂フノ外ナキナリ。

夫レ敵ノ陣地ハ河原城村方面ニ於テハ其内部運動ノ自由ヲ害シ且ツ衆多ノ兵  
力ヲ展開スベキ餘地ナキト同時ニ比較的堅固ノ正面ヲ有ス、之ニ反シ南宮村  
方面ハ運動自由ニシテ且ツ十分ニ展開スベキ餘地ヲ有セリ、凡ソ防禦陣地ニ  
於テ此ノ如ク攻防兩地帯ヲ明確ニ判斷シ得ラルベキモノ恐ラク屢々遭遇セザ  
向所ナルベシ而シテ之ヲ攻撃スルニ方リ郡戸村、野村ノ方面ヨリ敵ノ正面ニ  
ナフガ如キハ或ル特別ノ状態ニ在ラザル限りハ過誤タルヲ免レザルベシ何ト  
ルレバ精練ナル歩兵ハ比較的稀薄ナル配備ヲ以テスルモ其正面ニ對スル敵ノ  
企圖ヲ妨ゲ得ベキモノナレバナリ故ニ河原城村東方ノ高地ニ向フカ若クハ西  
川村方面ヨリ伊賀村ニ向ツテ攻撃スルカ蓋シ主力ノ攻撃方面ハ此二者ノ外ニ  
出デサルコトハ戰術家モ否認スル能ハザルヲ信ズルナリ。

抑モ西川村方面ヨリ伊賀村ニ向ツテ攻撃センカ即チ敵ノ總豫備隊ノ存在スル  
方面ニシテ彼我主力相衝突シ茲ニ決戦ヲ生ズベシ而シテ其結果比較的迅速ニ  
シテ幸運我ニ歸スルニ方リテハ恐ラク敵ヲ殲滅スルニ至ルベシ然レドモ西大  
塚村附近ニ於ケル水池ハ我攻撃運動ニ鮮カラザル障碍ヲ呈シ此際ニ敵ノ逆撃  
ヲ受クルニ至ラバ其結果蓋シ恐ルベキモノアルベシ且ツ此方面ハ敵砲兵ノ効  
力界ニシテ我前進ヲ阻害セラル、コト一層甚シカルベシ從テ敵ノ逆撃ヲシテ  
容易ナラシムルアリ之ニ反シテ多治井村方面ハ敵砲兵ノ効力ヲ減ジ前進比較  
的容易ナリ殊ニ此方面ハ近ク敵ノ退路ニ迫リ且ツ成シ得レバ之ヲ大和川ニ壓  
迫スルノ利ヲ有ス、然レドモ敵陣ノ尤モ堅固ナル部分ナルヲ以テ攻撃モ亦々  
比較的困難ナルベク殊ニ此攻撃ニ際シ竹内街道以北ニ向ツテ逆撃ヲ受クルノ  
虞アリ。

以上ノ如ク研究シ來ラバ如何ニシテ之ヲ攻撃スベキヤノ問題ヲ答解スルコト  
容易ナルベシ何トナレバ恐ルベキ方面ニ十分ノ處置ヲナセバ以テ危険ヲ除去



シ得レバナリ即チ河原城村東方高地ニ向ツテ攻撃セントセバ一部隊ヲ以テ西大塚村附近ヨリ其南方ニ亘ル間ヲ固ク占領セシメ以テ敵ノ逆撃ニ備ヘ主力ヲ以テ前述セシ經過ノ如ク攻撃セバ假令敵ハ其總豫備隊ヲ以テ竹内街道以北ニ逆撃シ來ルモ豫メ假備セル陣地ニ據ル我部隊ハ之ニ對シテ長ク抵抗シ得ラルベシ。

諸君或ハ此方面ヨリ攻撃セバ河原城村東方高地ヲ奪取スルモ敵ハ更ニ野々上村附近ニ停止シテ再ビ我ニ抵抗スベシト言ハン、夫レ或ハ然ラン然レドモ此際我竹内街道以北ノ部隊モ既ニ其方面ヨリ前進シ來ルベキヲ以テ之ニ對シテ左程困難ヲ感ゼザルベキノミナラズ敵ニシテ停止スルコト愈々長ケレバ愈々殲滅ニ歸スベキモノナルヲ以テ我ハ數度ノ抵抗ハ却テ利ヲ收ムルコト大ニシテ戰勝ノ結果偉大ナルヲ得ベキナリ是レ予ガ攻撃計畫ニ此方面ヲ採リシ所以ナリ若シ夫レ西川村方面ヨリ伊賀村ニ向ツテ攻撃セントセバ河原城村東方高地ニ向ヒシ攻撃部隊ノ進捗ヲ待タザルベカラズ即チ此方面ニ敵ノ注意ヲ牽引

シ其總豫備隊ヲシテ我主力ニ向フノ暇ナカラシメザルベカラズ之ガ爲メニハ少クモ我一部隊ガ河原城村東方高地ノ一部ヲ奪取シタル後ニ於テ西川村方面ヨリ本攻部隊ヲ前進セシメバ前ニ述ベシ經過ノ如キ状態ニ陥ラザルベシ然レドモ此ノ如クナサント欲セバ河原城村方面ニ用フル兵力ヲ衆多ナラシメザルベカラズ否ラザレバ敵陣ノ堅固ナル部ニ對シテ之ガ奪取覺束ナカルベシ此方面ノ兵力ヲ多クセンカ之ガ爲メ本攻ノ兵力ヲ減ズルノ害アリ故ニ此敵ニ對シ支隊ノ兵力ヲ以テ此方面ヨリ攻撃スルハ比較的有利ニアラザルベシ。右ノ理由ニ由リ予ハ本問題ヲ次ノ如ク答解ス。

支隊ハ一部ヲ以テ西大塚村附近ヨリ其南方ニ亘リ陣地ヲ占領セシメ主力ヲ以テ多治井村方面ヨリ河原城村東方高地ニ向ヒ攻撃セントス、之レガ爲メ左ノ區處ヲ要ス。

一、歩兵第五聯隊(第二大隊欠)ハ一部ヲ以テ丹南村、岡村、上田村ヲ占領シ主力ヲ川合村附近ニ集結シ後チ西大塚村附近ヨリ其南方ニ亘リ陣地ヲ占領



シ竹内街道以北ノ敵ニ對シ支隊ノ左側ヲ掩護セシム。

二、騎兵中隊ハ一津屋村附近ニ在リテ支隊ノ左側ヲ警戒シ且ツ藤井寺村方面ヲ搜索セシム。

三、砲兵大隊ハ石原村、野遠村ノ間ニ放列ヲ布置シ先ツ垣生野新田東方ノ敵砲兵ニ向ツテ射撃ヲ開始シ諸隊ノ前進ヲ掩護セシメ後、攻撃ノ進捗ニ從ヒ其一中隊ヲ岡村ノ北側ニ一中隊ヲ丹南村ノ南方ニ陣地ヲ變換セシム。

四、歩兵第六聯隊(第二大隊欠)ハ河原城村東方高地ノ敵ニ對シ字東多治井ヨリ多治井神社ニ亘ル間ニ展開スベキ顧慮ヲ以テ先ヅ其主力ヲ管生村西方ニ至ラシメ後、敵ノ左翼ヲ包圍スル如ク攻撃セシム。

五、歩兵第五聯隊第三大隊ハ河原城村東方ヨリ竹内街道附近ニ亘ル敵ニ對シ多治井神社ヨリ眞福寺村ニ亘ル間ニ展開スベキ顧慮ヲ以テ先ヅ其主力ヲ小寺村附近ニ至ラシメ後、河原城村ト榎山村トノ間ヨリ垣生野新田附近ノ敵ヲ攻撃セシム。

六、歩兵第六聯隊第三大隊及工兵中隊ハ第六聯隊ニ續行シ先ヅ北余部村附近ニ至ラシメ後、豫備トナシ黒山村及多治井村方面ヨリ第一線ニ跟隨セシム。衛生隊ハ諸隊出發ノ後、直ニ前進シ大饗村ニ至リ開設準備ヲナサシメ攻撃命令ヲ降スト同時ニ繃帶場ヲ開設セシム。

### 三 敵ノ一翼ニ對スル包圍攻撃

#### 想 定

(二十萬分一、京大阪、和歌山及附圖第三參照)

一、安部野(大坂天王寺村南方)附近ヲ占領セル敵ヲ攻撃スルノ目的ヲ以テ和歌山方面ヨリ北進セシ南軍師團ハ二月二十日夜、堺ニ達シ該地ニ宿營シ其一部ハ大和川右岸ノ地區ヲ占領セリ。

二、奈良方向ヨリ前進スル敵ニ對シ、國府村附近ヲ占領シ師團ノ右側背ヲ掩護スベキ任務ヲ有スル南軍一支隊ハ二十一日早朝、堺ヲ出發シ國府村ニ向ヒ前進シ午前七時三十分前衛歩兵ノ先頭ヲ以テ一津屋村ニ達ス、此時支隊長ハ前衛司令官ヨリ左ノ報告ヲ受ケタリ。

敵ノ一翼ニ對スル包圍攻撃



一、前衛騎兵ノ報告ニ依レハ今未明敵ノ一縱隊ハ王子附近ヲ出發シ午前七時頃國府村ニ到着シ目下古室村附近ヲ占領セリ、其兵力歩兵約二大隊、砲一中隊ナルモノ、如シ。

二、將校斥候ノ報告ニ由レハ諸兵種ヨリ成ル敵ノ一縱隊ハ昨夜遅ク奈良ニ達シ該地ニ宿營セリ。

支隊ノ編組

司令官 歩兵第一聯隊長 大佐某

歩兵第一聯隊(機關銃六挺ヲ附屬ス)

歩兵第二聯隊第一大隊

騎兵第三聯隊第一中隊

野戰砲兵第三聯隊第一大隊(第三中隊欠)

工兵第三大隊第一中隊

衛生隊二分一

右狀況ニ基キ支隊長ハ古室村附近ノ敵ニ對シ後續隊ノ來着セザルニ先ダチ之ヲ擊攘スルニ決セリ。

問題

古室村附近ノ敵ヲ攻撃スル爲メ支隊ハ如何ナル區處ヲナスヤ

右問題答解ニ關スル講評及意見

本問題ニ就テ諸君ノ研究セラレシ結果ハ概ネ次ノ如ク顯レタリ。

- 一、一部ヲ以テ藤井寺村方面ヨリ主力ヲ以テ小山村方面ヨリ林村ニ向ツテ攻撃セントスルモノ。
- 二、一部ヲ以テ野々上村方面ヨリ敵ノ左翼ニ迫ラシメ主力ヲ以テ藤井寺村方面ヨリ敵ノ正面ニ向ツテ攻撃セントスルモノ。
- 三、一部ヲ以テ藤井寺村方面ヨリ主力ヲ以テ野々上村方面ヨリ敵ノ左翼ニ向ツテ攻撃セントスルモノ。

然レトモ其細部ニ至リテハ各人各其區處ヲ異ニシ毫モ一致スル所ナシ今之ヲ敵ノ一翼ニ對スル包圍攻撃



盡ク羅列シテ一々講評センヨリハ此攻撃區處ノ因リテ起ルベキ素因ヲ研究シ以テ其適否ヲ判斷シ其細部ハ余ノ意見ニ就テ研究セラルルレバ自ラ講評ニ換フルコトヲ得ラルベシ。

本問題ノ答解ハ南軍支隊長ノ斷乎タル決心ヲ如何ニシテ實行スルヤノ研究ニシテ即チ主力ヲ以テ直ニ敵ノ正面ニ向フカ若クハ遠ク左側ニ向フカ是レナリ。夫レ古室村附近ノ敵ハ勿論我ヨリ劣勢ナリ然レドモ昨日遅ク奈良ニ到着セル部隊アリ此部隊ニシテ増加センカ果シテ其兵力ハ隨意ニ我攻撃ヲ許スヤ否ヤヲ判定シ得ベカラザルナリ故ニ支隊長ハ成ベク迅速ニ當面ノ敵ヲ攻撃シ其後續隊ノ來着セザルニ先ダチ之ヲ擊攘スルヲ努ザルベカラズ、諸君斯ノ如キ要求ハ常ニ攻撃方面ヲ決定スルノ一素因ヲナスベキ者ナル事ヲ留意セラレタシ。夫レ藤井寺村若クハ小山村方面ヨリ攻撃センカ敵ニ最モ近ク從テ攻撃部署ノ爲メ多大ノ時間ヲ要セザルノ利アリ、即チ幾分カ前述ノ要求ニ合スル所アリト雖モ爾後ニ於ケル攻撃運動ハ全ク開濶ナル平野ニ曝露セザルベカラザルナ

以テ果シテ攻撃ノ全經過ニ於テ夥多ノ時間ヲ要セズシテ奏功シ得ベキヤ實ニ覺束ナカルベシ之ニ反シテ敵ノ左側ニ向ハンカ少クモ野々土村方面ニ迂廻セサルベカラズ是レ時間ヲ徒費シ從テ前述ノ要求ニ合セザルノ觀アリ然レドモ爾後ニ於ケル攻撃運動ハ藤井寺村方面ニ於ケルガ如キ開濶地ニ曝露スルヲ要セズ比較的遮蔽ノ利ヲ收メツ、敵ニ接近スルヲ得ベキナリ抑モ開濶地ヲ長ク而カモ敵ノ銃砲火ノ下ニ在リテ前進スルハ甚タシキ困難ノ行動ナルコトハ諸君モ經驗セラレシ所ナルベシ殊ニ此方面ハ敵ノ防禦設備ヲナシアル正面ニシテ之ニ對スル攻撃ノ一層困難ナルベキヤ論ヲ俟タザルナリ、步兵操典ハ之ヲ示シテ曰ク「精練ナル歩兵ハ比較的淺薄ナル配備ヲ以テスルモ其正面ハ堅固ナリトス」ト然リ其正面堅固ナルガ故ニ我ノ之ニ對スル企圖モ十分ニ妨害セラルルニ至ルベシ然ラバ則チ此堅固ナル正面ニ對シテ多大ノ犠牲ヲ拂フテ奮進スルモ其攻撃前進ノ困難ナルダケ夥多ノ時間ヲ要スルコト或ハ敵ノ左側ニ向ツテスル攻撃運動ニ要スル時間ニ比シテ更ラニ差異ナカルベシ否、寧ロ此動



作ヨリモ、ヨリ多クノ時間ヲ要スルナルベシ何トナレバ敵ノ左側ニ向ツテスル攻撃運動ハ敵ノ視界ト射撃界トノ外ニアリテ爾カモ複雑ナル動作ニ依ラズシテ野々上村附近ニ到リ得ベク從テ比較的の時間ヲ要セザルベク且ツ一たび野々上村東方ニ進出セバ此攻撃ハ或ハ一舉ニ進捗シ得ルカ否ヲザルモ藤井寺村方面ニ於ケルガ如ク長キ開濶地ヲ前進セザルベカラザルノ不利アラザレバ也諸君或ハ言ハン敵ノ左翼ニ向ツテスル攻撃ハ其正面ニ向フヨリハ固ヨリ容易也然レドモ萬一ノ失敗ニ際シテハ退路ヲ南方ニ取ラザルベカラザルノ不利アリト、攻撃方面ノ選定ニ關シテハ固ヨリ退路ノ關係ヲ考究スルノ要アリト雖モ凡ソ斷乎タル意思ヲ以テ攻撃ヲ決行スルニハ必スシモ退路ヲ顧慮スルヲ要セザル也若シ夫レ支隊ノ攻撃ニ關シ強テ退却方向ヲ研究セバ却テ南方ニ取ルノ利アルコトヲ敢テ言ハザルヲ得ザルナリ何トナレバ戰鬪不利ノ場合ニ際シ直ニ堺方面ニ退カバ敵ヲ我本軍ノ翼側ニ接近セシムルガ如キ不利アルモ之ヲ南方ニ牽引セバ本軍ノ受クル翼側ノ脅威ハ前者ニ比シ大ニ減セララルヲ得ベク

レバナリ

以上述アル所ニ由レバ支隊ノ攻撃方面ハ藤井寺村方面ヨリ敵ノ正面ニ向フニアラズシテ主力ヲ以テ敵ノ左翼ニ向ツテ攻撃スルヲ最モ適當トスベキ判決ヲ得ラルベシ。

抑モ敵ノ左翼ニ向ツテ攻撃スルニ關シテハ如何ナル方法ヲ採用スベキヤ是レ次ニ起ルベキ問題ナルベシ、諸君ノ如ク野々上村方面ヨリ應神帝陵ニ向フガ如キハ藤井寺村方面ヨリスルト選フ所ナカルベシ既ニ主力ヲ以テ敵ノ一側ニ溢出セント欲セバ兵力ノ優勢ヲ利用シ以テ十分ノ包圍ヲ實行スルヲ最モ可トス、新獨逸歩兵操典ニ曰ク「正面攻撃及包圍攻撃ヲ連繫シテ行フトキハ好果ヲ最モ確實ニ保證スルモノトス」ト而シテ之ガ實行ニ關シテハ新獨逸歩兵操典ノ所謂「包圍」ノ爲メ豫定條件ハ敵ヲ正面ニ檢束スルコトトス之ガ爲メ最モ有効ナルハ正面ヲ確固ニ牽制スルニ在リ然レドモ包圍ニシテ時機ヲ失スルトキハ正面攻撃ハ反撃ヲ受クルヤモ計リ難キコトヲ留意セザルベカラズ故ニ若シ



正面ヲ確固ニ牽制スルノ兵力ヲ缺クカ又ハ其他ノ理由ニヨリ正面攻撃ヲ廢止セザルヲ得ザルトキハ巧妙ナル指揮官ニアリテハ先ヅ持久戦ニ依リ或ハ單ニ威嚇攻撃ニ依リ包圍ノ効果ヲ得シムルコトヲ得ベシトノ條項ハ支隊ヲシテ將ニ爲サント欲スル所ノ方法ヲ研究セシムルニ必要ナル原則ナルベシ即チ藤井寺村方面ニ使用スベキ兵力ハ果シテ正面ヲ確固ニ牽制シ得ルニ十分ナル兵力ヲ要スベキヤ若シ此ノ兵力ヲ缺クトモ僅少ノ部隊ヲ以テ先ヅ持久戦ヲ爲サシムルヲ以テ足レリトスルヤ、其孰レカチ應用セザルベカラザル也而シテ茲ニ留意スベキハ敵ノ側面ニ向ツテ攻撃スル部隊ハ常ニ正面攻撃ヲ爲スベキモノナルコト是レナリ何トナレバ敵ニシテ我企圖ヲ察知セバ例ヘ巧妙ナル運動ヲ以テ側面ニ溢出シ得ルモ其後方部隊ヲ適當ニ使用シ新正面ヲ作り以テ我ニ對スベケレベナリ、是故ニ一側ニ對シテ包圍ヲ實行スベキ部隊ト雖モ其方面ニ於テ敵ノ新正面ニ對シテ攻撃スベキコトヲ覺悟セサルベカラズ而シテ其奏功ヲ迅速且ツ確實ニ收得センガ爲メニハ成ルベク衆多ノ兵力ヲ包圍ニ使用セ

ザルベカラザルナリ是ヲ以テ此際支隊ノ應用スベキ原則ハ正面ニ對シテ確固ニ牽制スルノ方法ニ依ラズシテ先ヅ僅少ナル部隊ヲ以テ持久戦ヲ爲サシメ以テ包圍ニ使用スベキ兵力ヲ衆多ナラシムルコトヲ計ラザルベカラザルナリ、是レ余ガ諸君ノ爲セルカ如キ前衛ノ全力ヲ擧テ藤井寺村方面ニ使用スルモノニ同意スル能ハザル所ナリ、諸君或ハ思ハシテ若シ我企圖ヲ察知セバ其正面ヨリ藤井寺村方面ニ向ツテ攻撃シ來ラント、夫レ或ハ然ラン然レドモ此方面ハ我ヲシテ攻撃ヲ斷念セシムルト同様ニ敵モ亦非常ノ困難ヲ犯シ多大ノ犠牲ヲ拂フニアラザレバ其目的ヲ達シ得サルベシ故ニ此方面ニ對シテハ僅ニ持久戦ヲ爲スニ足ルベキ最少限ノ兵力ヲ備フルモ之カ爲メ顧慮スベキ危険ヲ生ゼザルベシ。

抑モ敵ノ左側ニ於ケル狀況ハ未ダ其詳細ヲ知ラザルナリ詳言セバ我包圍部隊ヲシテ攻撃ニ關スル區處ヲ決定セシメ得ル資料ハ未ダ何事モ知り得ザルナリ然ルニ諸君ハ業ニ既ニ攻撃區處ヲ決定セルアリ過早モ亦甚シト謂フベシ若シ



夫レ支隊ヲ目下ノ位置ニ停メ支隊長自ラ或地點ニ前進シ若クハ數多ノ斥候ヲ派遣シ地形並ニ狀況ヲ搜索シ以テ攻撃區處ヲ定メ然ル後、諸隊ヲシテ敵ノ左側ニ向ツテ前進セシメントセンカ是レ徒ラニ時間ヲ徒費スルモノナリ殊ニ斯ノ如キ地形ニ在リテハ視察ヲ以テ十分ノ目的ヲ達スルコト難ク即チ狀況ハ戰鬪開始ニヨリテ知悉スルニ至ルコト屢々ナリト言ハルハ蓋シ斯カル場合ニ於テ多カルベシ今ヤ支隊長タル者ハ自ラ其主力ヲ提テ敵ノ左側ニ向ツテ前進シ適當ノ地點ニ其隊ヲ開進シ諸種ノ手段ヲ以テ狀況ヲ知悉シ茲ニ始テ攻撃區處ヲ決定スルニ至ルベシ是レ自然ニ起ルベキ狀態ナルベシ。

余ハ既ニ包圍ヲ實行スルニ方リ敵ノ正面並ニ包圍スベキ一翼ニ充ツベキ兵力ニ關シテ述ベタリ而シテ尙ホ茲ニ一言スベキハ「包圍ヲ行フニハ數縱隊トナリテ併進スルト又ハ後方部隊ノ加入ニ由リテ施行スルトトナ問ハス展開ニ先チ之ヲ準備セザルベカラス」トノ原則是レナリ夫レ包圍スベキ意思ヲ有セズシテ展開シタル軍隊ハ後更ニ包圍ヲ實行セントスルモ恐ラク其目的ヲ達スルコ

ト難カルベシ縱令後方部隊ノ加入ニ依リ逐次戰線ヲ擴張シテ敵ノ外翼ニ溢出セントスルモ決シテ完全ナル包圍ヲ爲シ得ベキモノニアラザルナリ故ニ苟モ一翼ニ對シ包圍ヲ爲サント欲セバ少クモ最初ノ展開ニ於テ準備セザルベカラズ則チ敵ノ所在ヲ豫知シタル際豫メ包圍ニ充ツベキ部隊ヲシテ敵ノ側面ニ向ツテ前進セシメザルベカラザルナリ而シテ之カ前進ノ方法ハ數縱隊トナルヲ最モ便利トスト雖モ支隊ノ如キ微弱ナル兵力ニ在リテハ之ヲ區分スルノ必要ナカルベク且ツ併進スベキ道路ヲ有セザルノミナラズ目下現在セル支隊ノ位置ヨリ敵ノ左側ニ向フハ却テ一縱隊ヲ以テスルヲ便利トス。

以上述べタル理由ニ基キ余ハ本問題ヲ次ノ如ク答解セリ。  
一部ヲ以テ藤井寺村及岡村ヲ占領セシメ主力ヲ以テ野中村及譽田村方面ヨリ敵ノ左翼ヲ包圍セントス、之カ爲メ左ノ如キ區處ヲ爲ス。

一、前衛タリシ步兵第一聯隊第一大隊(第三第四中隊欠)ヲシテ藤井寺村及岡村ヲ占領シ前面ノ敵ニ對シ我主力ノ運動ヲ掩護セシム。

敵ノ一翼ニ對スル包圍攻撃



機關銃二挺ヲ附ス。

七六

二、歩第一聯隊第一大隊第三第四中隊ハカメテ蔭蔽シテ野々上村ニ至リ主力ノ到着ヲ待タシム。

三、騎兵中隊ノ主力ハ輕墓村方面ヨリ譽田村方面ヲ搜索セシム。

四、歩兵第一聯隊第二大隊ヲ新前衛トシテ字今在家及伊賀村ヲ經テ先ヅ野々上ニ向ツテ前進セシム。

五、其他ノ諸隊ハ本隊トシテ新前衛ニ續行セシム但シ砲兵ハ野村ヲ經由セシム。  
六、支隊長ハ新前衛ト共ニ行進ス。

### 狀況

午前七時五十分頃諸隊ハ右區處ニ關スル支隊命令ニ依リ各其動作ヲ開始セリ。午前八時十五分頃歩兵第一聯隊第一大隊(第三第四中隊欠)及機關銃二挺ハ藤井寺村方面ニ達セリ。

問 大隊長ハ如何ニ其隊ヲ區處スルヤ。

多數ノ諸君ガ爲セル如ク一中隊及機關銃ヲ以テ藤井寺村若クハ岡村ヲ占領セシメ他ノ一中隊ヲ豫備トシテ後方ニ貯存スルガ如キハ實ニ無意味ト謂フノ外ナカルベシ夫レ此大隊ハ果シテ攻勢ノ性質ヲ有スルヤ余ハ既ニ諸君ニ述ブルニ此ノ方面ハ單ニ持久戰ヲ爲サシムルヲ以テ満足セザルベカラザルコトヲ以テセリ而シテ此持久戰ナルモノハ其意義固ヨリ唯一時ノ防禦ニ外ナラザルナリ故ニ戰鬪正面大ナルモ毫モ嫌フ所ニアラズ尙ホ又強大ナル豫備隊ヲ備フルノ必要ナキナリ否、寧ロ最初ヨリ廣キ正面ニ兵力ヲ配布シ其ノ銃數ノ不足ハ彈藥ノ供給ヲ盛ニシテ之ヲ補ヒ以テ敵ノ出撃ニ際シ最初ヨリ比較的十分ノ火力ヲ注グヲ可トスベシ諸君請フ持久戰ナルモノハ決シテ後方部隊ヲ控置スルコトナシト思フナカレ既ニ攻撃ニ轉ズルノ意思ヲ有セザル限りハ強大ナル豫備ヲ貯フルノ必要毫モ之レナカルベシ今ヤ大隊長ハ支隊ノ主力ガ有効ナル動作ヲ爲スマデ輕戰ヲ爲スカ若シクハ極力敵ノ出撃ヲ拒支セザルベカラザルナリ然ルニ僅ニ一中隊ト機關銃二挺トヲ有スルニ過ギズ縱令一中隊ノ豫備ヲ控

敵ノ一翼ニ對スル包圍攻撃

七七



置スルモ戦闘ヲ開始スルヤ否ヤ直ニ之ヲ前線ニ使用セザルベカラザルニ至ルベシ若シ又直ニ前線ニ使用セザルモノトスルモ之ヲ以テ攻撃ニ轉スルニアラズシテ逐次前線ニ加入スルニ外ナラザルベシ元來持久的防禦ニ於ケル後方部隊ハ攻勢防禦ニ於ケル總豫備隊ト全ク其ノ性質ヲ異ニシ所謂前線ニ使用スベキ兵力ノ剩餘ニ外ナラザルナリ故ニ前線ニ使用スベキ兵力ヲ缺テ之ヲ後方ニ貯存スルガ如キハ理由ナキ處置タルヲ免レザルナリ。

又諸君ノ内、一小隊若クハ二小隊ヲ以テ大隊長ノ豫備トセルアリ夫レ中隊ハ散開戦闘ノ一單位ヲナセルモノナリ中隊長ハ三個ノ小隊ヲ適當ニ使用シ以テ其負擔セル正面内ノ戦闘ヲ有利ニ繼續スルヲ得ルモノナリ然ルニ其一小隊ヲ缺ガンカ徒ラニ中隊ノ戦闘力ヲ減殺スルニ至ラシムルモノナリ又二小隊ヲ以テ豫備トセルガ如キハ蓋シ一中隊ヲ取りテ豫備トセルニ異ナル所ナカルベシ。機關銃ノ使用モ亦余ハ諸君ニ同意スルヲ得ザルナリ諸君ハ最初ヨリ前線ニ使用セリ抑モ機關銃ノ使用ハ其性能上、瞬時ナラザルベカラザルナリ即チ持久

的射撃ヲ以テ戦闘セシムルガ如キハ大ナル誤用タルベシ是ヲ以テ防禦ニ在リテモ先ツ之ヲ後方適宜ノ位置ニ控置シ必要ニ應シ脅威セラレタル方面ノ應援若クハ敵ノ突撃ヲ防止スルコトニ使用セラル、若シ諸君ノ如ク最初ヨリ之ヲ使用センカ恐ラク右ノ如キ必要ノ場合ニハ既ニ戦闘力ヲ有セザルニ至ルコトアルベシ。

右述アル所ニ從ヒ余ハ大隊長トシテ次ノ如ク其隊ヲ區處スベシ。

一、第一中隊ヲシテ應神帝陵ノ北端ヨリ古室村ニ亘ル間ニ對シ藤井寺村東端ヲ第二中隊ヲシテ古室村ヨリ澤田村ノ北端ニ亘ル間ニ對シテ岡村東端ヲ占領セシム。

右兩中隊ハ成シ得ル限り蔭蔽シテ工事ヲ爲サシム。

二、機關銃二挺ハ古參ノ銃長(一銃ノ長)ヲシテ之ヲ指揮セシメ先ツ大隊長ノ豫備トシテ藤井寺村ノ西方無名祠ノ西側ニ位置セシム。

但シ藤井寺村南端及剛林寺附近ニ於テ何レモ澤田村及岡村、中間地帯ヲ

敵ノ一翼ニ對スル包圍攻撃



十分ニ斜射シ得ベキ陣地ヲ選定シ成シ得レバ單簡ナル工事ヲ爲サシム。

### 狀況

午前八時二十分以後澤田村及岡村ノ中間地帯ニ在リテハ時々銃聲ノ起ルアルモ唯彼我斥候ノ射撃ヲ交換スルニ過ギザリシ。

午前八時四十分新前衛ノ先頭野々上村ニ達スルヤ突然野中村西端ニ敵ノ歩兵顯出シ我ニ向ツテ射撃セリ又古市村西端ニモ若干ノ敵兵アリテ輕墓村ニ在ル我騎兵ノ一部ニ向ツテ射撃シアリ。

此時舊前衛タリシ歩兵第一聯隊ノ第三第四中隊ハ伊賀村東方ニ達セリ、又藤井寺村方面ニ在リテハ銃聲漸次ニ頻繁トナリ今ヤ彼我ノ間ニ緩除ナル射撃ヲ開始セラレアリ。

支隊長ハ野々上村ニ來リ此狀況ヲ目撃セリ。

問 支隊長ハ此狀況ニ對シ如何ナル處置ヲナスヤ、

總テノ諸君ハ前衛ノ全部ヲ展開シテ野中村ノ敵ニ當ラシメ本隊ヲ野々上村西

南端ニ開進セシメントセリ、抑モ敵ノ正面ヲ避ケ遠ク其側方ニ迂回セント欲セバ斯ノ如キ狀況ノ惹起スルコトヲ始メヨリ覺悟セザルベカラズ何トナレバ我ニシテ正面ヲ避ケ其左側ニ向ツテ攻撃スルヲ容易トスル程敵モ亦此方面ヲ危險ニ感ズベキヲ以テ至當ノ手段ヲ盡シテ之ヲ警戒シアルベケレバナリ而シテ諸君ノ如ク此方面ヨリ應神帝陵ノ西北端ニ向ツテ攻撃ヲ實施セントセバ前既ニ述ベシ所ノ藤井寺村方面ヨリ攻撃スルト其困難ノ度ヲ異ニセズ否、寧ロ之ニ比シテ一層困難ナルベシ何トナレバ内部ノ交通ハ藤井寺村方面ニ比シテ頗ル困難ナルベク而シテ應神帝陵ハ此方面ニ對シテ鞏固ナル據點ヲ成形シアレバナリ。

元來支隊ハ敵ノ左翼ヲ包圍スルノ目的ヲ以テ僅ニ野々上村ニ達セリ而シテ僅少ナル敵ノ一部隊(野中村ハ古室村附近ヨリ應神帝陵ニ亘ル線ニ關シ凸出シタル位置ナルヲ以テ敵ノ主力ガ此附近ニ現在スルコトナカルベシ)ニ遭遇シタルガ爲メ元來ノ目的ヲ變換シ此方面ヨリ攻撃ヲ餘義ナクセントスルガ如キ

敵ノ一翼ニ對スル包圍攻撃



ハ全ク敵ニ致サレシモノニシテ即チ我動作ノ自由ヲ放棄シタルニ外ナラザルナリ、不利焉レヨリ甚シキハ無シ斯ル不快ノ行動ヲ爲サンヨリハ寧ロ是等僅少ナル部隊ノ顯出ニ拘ハルコトナク當初決定セシ目的ヲ貫徹スベキ鞏固ナル意思ヲ保持シ以テ包圍ヲ斷行スルヲ可トス、故ニ余ハ本問題ヲ次ノ如ク答解セリ。

一、前兵中隊(第五中隊)ヲシテ野々上村ニ殘置シ野中村ノ敵ニ對シ諸隊ノ轉進ヲ掩護セシム。

二、砲兵大隊ヲシテ野々上村西北方ニ放列ヲ布置シ諸隊ノ前進ヲ掩護セシム。

三、前衛本隊ヲシテ直ニ來目皇子墓ノ方面ヨリ轉進シテ輕墓村附近ヲ占領シ古市村及譽田村方面ニ對シ本隊ノ清寧帝陵附近ニ於ケル開進ヲ掩護セシム。

四、歩兵第一聯隊第三第四中隊ハ前衛本隊ニ續行シテ清寧帝陵ノ西南方ニ至ラシム。

五、本隊ハ伊賀村南方ヨリ騎小徑ヲ前進シテ清寧帝陵ノ西南方(第三第四中隊ト同位置)ニ至ラシム。  
但シ工兵中隊(一小隊欠)ハ砲兵陣地ノ設備ヲ援助シ終ラバ本隊ノ方面ニ來ラシム。

### 狀 況

午前八時五十分稍々前、前衛ハ前兵タリシ第五中隊ヲ野々上村ニ殘置シ更ニ第六中隊ヲ前兵トシ來目皇子墓ノ東方ヨリ輕墓村西南方墓地ニ向ツテ前進シ第七第八中隊ハ來目皇子墓ノ西方ヨリ蔭蔽シテ輕墓村ノ南端ニ向ツテ前進セリ。午前九時十分前衛ハ其全力ヲ以テ輕墓村附近ニ進出セリ。

此時我騎兵ハ字古屋敷ニ在リテ古市村南端ニ在ル若干ノ敵騎ト相對持セリ間モナク本隊ノ先頭ハ清寧帝陵ノ西南方ニ到着シ今ヤ開進中ナリシ之ヨリ前敵ノ砲兵ハ突然中姫皇后陵上ヨリ野々上村ニ向ツテ射撃セリ之ト同時ニ我砲兵モ亦放列ヲ布置シ終リ直ニ敵砲兵ニ向ツテ射撃ヲ開始シ茲ニ彼我ノ間ニ砲戰

敵ノ一翼ニ對スル包圍攻撃



ヲ開始セリ。

又前兵タリシ第六中隊ハ輕墓村西南方墓地ニ散開シ野中村ノ敵ニ向ツテ射撃ヲ開始セシニ間モナク敵ハ東北方ニ退走セリ其兵力約一中隊許リナリシ。

問 敵ノ退走ニ際シ第二大隊長ハ如何ニスルヤ。

今ヤ敵ハ退走シアリ此際第二大隊長タル者ハ宜シク獨斷ヲ以テ此敵ヲ追躡シ以テ支隊ヲシテ爾後ニ於ケル攻撃ノ立脚地ヲ得セシムル爲メ譽田村ヲ占領セザルベカラザルベシ若シ然ラズシテ徒ラニ逡巡センカ或ハ敵ガ譽田村ヨリ應神帝陵ニ亘リ顯出スルニ至ラバ支隊ノ當初ニ於ケル目的ハ畫餅ニ歸スルニ至ラン。

抑モ大隊ガ譽田村ニ向ツテ前進スルニ就テ大ニ顧慮スベキハ應神帝陵西側ノ凹地是レナリ固ヨリ第五中隊ノ野中村ニ在ルアリト雖モ之ヲ以テ此方面ニ對シテ本隊ヲ十分ニ掩護シ得ベキモノニアラザルナリ即チ我前進ニ際シ此方面ヨリ稍々有力ナル敵兵顯出スルアラバ之ガ爲メ受クル所ノ脅威ハ蓋シ鮮少ニ

アラザルベシ是ヲ以テ少クモ一中隊ヲ野中村ニ出シ以テ是等ノ危險ヲ豫防セザルベカラザルナリ、余ハ第二大隊長トシテ次ノ如ク處置ス。

- 一、直ニ第六中隊ヲ野中村ニ出シ應神帝陵西側ニ對シ本隊ヲ掩護セシメ他ノ
- 二、中隊ヲ提テ敵ヲ追躡シ譽田村ニ向ツテ前進ス。

### 狀況

午前九時二十五分第二大隊(第五第六中隊欠)ハ敵ノ斥候ヲ驅逐シテ譽田村ニ至リ該地北端ヲ占領シ道明寺南端ニ在ル敵ニ對シテ火戰ヲ交ヘアリ。野々上村ニ在リシ第五中隊ハ野中村ニ進入シ既ニ同村ニ在リシ第六中隊ト合シテ同村ヲ占領セリ、清寧帝陵西南方ニ在リシ第二大隊ハ西浦村ノ南側ヨリ第三第四中隊ハ同村北側ヨリ共ニ譽田村ニ向ツテ前進シ今ヤ同村南方ニ達セ

リ。間モナク支隊長ハ譽田村北端ニ來リ前面ノ敵狀及地形ヲ目視セリ此時敵ハ新タニ道明寺村ノ南端ヨリ其西方十字路西南方林縁ニ亘リ占領シアリ標高三七、



二ノ附近ニモ敵ノ部隊ヲ散見セラレタリ。

彼我ノ砲兵ハ今ヤ熾ニ砲戰ヲ交ヘ未ダ敵砲ノ衰ヘタルヲ認メザリシ。

問題、支隊長ハ如何ニ攻撃ヲ部署スルヤ。

右答解ニ關スル講評及意見

諸君ノ答解ハ何レモ譽田村ノ北端ヨリ石川左岸堤防ニ亘リ展開シ而シテ主力ノ向フ方面ハ概ネ左ノ三種ニ大別セラル。

其一、高野街道方面ヨリ道明寺村南端ニ向フモノ。

其二、高野街道ト石川ノ中間水田地帯ヨリ道明寺村南端ニ向フモノ。

其三、石川左岸ニ接シタル地區ヨリ道明寺村東南端ニ向フモノ。

以上主力ノ向フベキ攻撃方向ノ可否ハ暫ク之ヲ措キ余ハ先ツ攻撃展開ニ就テ研究スル所アラント欲ス夫レ應神帝陵ハ我展開スベキ正面内ニ巍然トシテ存在シ而カモ全面松樹ヲ以テ蔽ハレ且ツ其周圍ニ深キ溝渠ヲ繞ラシ至大ノ障礙ヲ呈シ我展開ニ鮮カラザル妨害ヲ與ヘラル且ツ譽田村東方一帶ノ水田モ亦展

開テ一小區域ニ限定シ我動作ヲシテ頗ル不便ナラシム諸君ハ微少ノ思考ヲモ費サズシテ水田中ニ始ント全力ヲ散開セリ實ニ思ハザルモ亦甚シト謂フノ外ナカルベシ。

抑モ二萬分一地圖ニ於ケル符號ニ依レハ米田ヲ田及沼田ニ分チ田ハ尋常ノモノニシテ沼田ハ小舟ヲ用ヒ來往耕作セザルベカザルガ如キモノヲ稱セリ(地形學教)

諸君ガ自由自在ニ運動シ得ルトスル所ノ譽田村東方一帶ノ水田ハ則チ沼田ニシテ此符號ハ正シク諸君ノ希望ヲ許サザルコトヲ明示セリ、然レドモ余ハ此符號ナルヲ以テ必ズ小舟ヲ用フルニアラザレバ來往耕作シ得サルモノト謂フニアラズ唯地圖上ニ於テ尋常ノ米田ト區別セラルル以上ハ尋常ノ米田ニ於ケル如ク運動ノ容易ヲ企圖スルヲ得ザルナリ是レ實ニ軍隊運用ノ術ヲ研究スルニ方リテ毫モ忽諸ニ附スベカラザルナリ否ラサレバ圖上ノ戰術ハ恰モ練兵場ニ於ケル制式的教練ニノミ偏シ毫モ之ヲ應用スルコトヲ知ラザルモノト等シカラシ實戰ニ方リテ何等ノ効果ヲ収ムルコト能ハザルベシ、諸君沼澤地



ノ近傍ニ存在ノ深泥ナル溝渠ニ由リテ縦横ニ區畫セララルモノノ如キハ多クハ沼田タルヲ知ルベシトハ諸君カ嘗テ地形學教程ニ由リテ教習セラレタル所ナリ此附近ハ沼澤地ニアラズ然レドモ河川ノ兩岸ニ接シ且ツ一側ニ高地ヲ控フル水田ハ河底ト同標高ナルカ若クハ之ヨリ尙ホ低キトキハ概シテ沼田ヲ成形スルコトハ自然ノ理ナリ譽田村東方一帶ノ水田ハ其周圍ノ關係ヨリ考察セハ必スシモ小舟ヲ以テ來往耕作セサルベカラザルガ如キ深泥ニアラザルベシ然レドモ四時常ニ水ヲ有シ多少脚ヲ没スルハ疑フベカラザルナリ果シテ然ラハ此全正面ニ散開セル散兵ハ如何ナル行進法ヲナスヤ譽田村北端ハ敵線ヲ距ルコト僅ニ六七百米ニ過ギズ是ノ如キ小銃火ノ有効射程内ニ在リテハ最早散兵ハ尋常ノ步度ヲ以テ一齊ニ前進シ得ルノ極テ不利ナルコトハ諸君ガ常ニ研究シアル步兵操典ノ散開戰鬪ノ部ニ於テ教ヘラレアルニアラズヤ即チ「敵ノ有効射撃下ニ在リテ一地區ヨリ一地區ニ達スル爲メニハ駈歩又ハ疾駈ヲ用フベシ其經過スベキ行程長キ時ハ若干距離毎ニ停止伏臥スルヲ良シトス而シテ

我有効射距離ニ達シタル後ハ此停止間ヲ利用シ散兵ハ射撃ヲ爲シテ嗣後ノ前進ヲ準備スルモノトス」ト是ナリ、諸水ヲ存シ泥土脚ヲ没スル水田中ニ於テ疾駈ハ之ヲ措キ駈歩ヲモ果シテ爲シ得ベキヤ而シテ其停止スル間ハ如何ナル姿勢ヲ採ルヤ、伏臥ハ固ヨリ之ヲ許サザルベク膝姿モ又實ニ不快ヲ感シ敵ニ大ナル目標ヲ呈シ其射撃効力ヲシテ熾盛ナラシムノミナラズ之加モ當季ノ寒冷ニ際シ水中ニ没シ冷氣上部ニ浸潤シ各兵卒ノ射撃ハ時ヲ逐フテ不確實ニ歸スルノミナラズ勇敢ナル兵士ニシテ猥リニ敵彈ノ爲メノミナラズ水中ニ於ケル寒冷ノ爲メ身命ヲ損スルニ至ル思フテ茲ニ至ラバ此沼田中ニ散開セシムルカ如キハ指揮官タル者ノ爲スベキ事ナランヤ若シ夫レ敵ノ射撃界外ナリセバ多少深泥ナルモ敢テ避クル所ニアラズ一舉ニ之ヲ通過セハ身體ヲ害スベキニアラザルベシ然レドモ敵ニ對シ極テ開潤ニシテ毫モ遮蔽スベキ地物ナク而カモ敵ノ有効ナル射程内ニ曝露シテ此大障礙ヲ通過セシメントハ實際有リ得ベカラザルコトナルベシ。

敵ノ一翼ニ對スル包圍攻撃



以上述フルガ如ク應神帝陵及譽田村東方沼田ハ我ニ鮮少ナラザル障碍ヲ呈シ爲メニ我展開ヲシテ至大ノ不便ヲ感セシム此害ヲ避ケント欲セバ主力ヲ應神帝陵ノ西方ヨリ前進セシメザルベカラズ是ニ於テカ此攻撃ニハ譽田村方面ヨリスルカ或ハ應神帝陵ノ西側ヨリスルカノ問題ヲ提起スベシ。

夫レ應神帝陵ノ西側ヨリ主力ヲ向ケンカ敵ノ後續隊石川右岸ニ顯出スルモ直接之ガ影響ヲ受ケザルノ利アリ然レドモ此方面ヨリスル前進ハ蔭蔽シテ接近スルノ比較的僅少ナルノミナラズ應神帝陵西北角ニ於テ方向ヲ變換セザルベカラザルアリ、斯ノ如キ動作ハ敵前ニ於テ果ジテ成シ得ルヤ否ヤ是レ亦諸君ガ研究セラレシ散兵戦闘ノ第二ニテ想起セバ直ニ判定セラレ得ベキナリ是ヲ以テ此方面ヨリ主攻撃ヲ向クルハ良案ニアラザルベシ。

譽田村方面ヨリ主攻撃ヲ向クルニ就テハ前述ノ障碍ノ爲メ大ニ不便ヲ感ス然レドモ茲ニ此障碍ヲ我ニ呈スルト同時ニ多少地形ノ恩惠ニ浴セララル所ナキニアラザルナリ即チ譽田村東北方ノ畑地是レナリ、諸君ノ茲ニ注意セザルハ地

圖ノ研究ヲ缺ギシ結果ニシテ實ニ遺憾トスル所ナリ夫レ現今ノ火器ニ對シテ至小ノ地物ト雖モ之ヲ巧ニ利用スルコトノ緊要ナルコトハ更ニ言ヲ要セサルベシ此畑地ニ於ケル斷崖ニ接シタル部分ハ全ク敵眼ヲ遮蔽シ適當ノ隊形ヲ以テセバ斷崖ノ北端ニ至ルマデ掩護セラレ得ベシ諸君ニシテ若シ之ヲ巧ニ利用セラレレバ運動困難ナル沼田中ニ散開シ長ク曝露シテ前進スルノ不利ヲ演ズルヲ要セザリシナラン而シテ之ヲ利用スルノ方法ハ後段ニ於テ自ラ明瞭トナルベキヲ以テ茲ニ之ヲ説述セザル可シ若シ夫レ敵ノ後續隊石川ノ右岸ニ顯出スルアラバ直接ニ其害ヲ受クベシト雖モ此方面ニ關シテ未ダ何等ノ狀況ニ接セズ假令我攻撃中其先頭ヲ以テ石川右岸ニ到着スルモ其兵力ヲ展開シテ我ニ害ヲ及ボスニ至ルハ蓋シ若干時ノ後ナルベキヲ以テ目下ニ於ケル彼我ノ關係上甚シク之ヲ顧慮スルヲ要セサルベシ。

抑モ譽田村方面ヨリ攻撃スルニ就テハ亦茲ニ研究スベキ事アリ即チ其主部ヲ高野街道方面ヨリ道明寺村南端ニ向フベキヤ將タ斷崖ノ下方ヨリ道明寺村ノ

敵ノ一翼ニ對スル包圍攻撃



東南端ニ向ハシムベキヤ是レナリ此兩方面共ニ利害アルベシ夫レ高野街道方面ヨリ道明寺村南端ニ向ハンカ敵ノ逆襲ニ遭フコトナカルベシ縱令逆襲シ來ルモ敢テ恐ルルニ足ラザルナリ然レドモ敵ノ退路ニ關シテ包圍ノ効果ヲ十分ニ發輝スル能ハザルベシ之ニ反シテ主力ヲ以テ斷崖ノ下方ヨリ道明寺村東南端即チ敵ノ左翼ニ溢出センカ包圍ノ效果ヲ十分ニ發輝シ敵ヲシテ大ニ攪亂セシムルカ或ハ敵ヲシテ全滅ニ陥ラシムルヲ得ベシ且ツ此方面ハ我豫備隊ヲシテ長ク敵ニ蔭蔽セシメ得ルノ利アリ唯我ノ斷崖下ニ於ケル運動中或ハ其上方ニ向ツテ敵ノ逆襲シ來ルアラシカ我豫備隊ハ崖下ニアリテ之ニ赴援スル能ハザルノ害アリ然レドモ此方面ハ我攻撃主部ニ對シ長ク熾盛ナル火力ヲ以テ掩護セシムルヲ要スベキヲ以テ展開シ得ベキ地域ニ十分ノ兵力ヲ展開セシメ且ツ機關銃ヲ使用セバ以上ノ目的ヲ達スルト同時ニ敵ノ逆襲ニ對シテ必スシモ顧慮スルヲ要セザルベシ是故ニ多少高野街道方面ニ於ケル不利ヲ凌クモ斷崖下リ主力ヲ向クルヲ得策トナスベシ。

藤井寺村方面ニ在ル第一大隊ハ今ヤ依然持久戰ヲナスベキモノニアラズシテ譽田村方面ニ於ケル攻撃進捗ニ伴ヒ決然前進セザルベカラズ實ニ此大隊ハ一中隊ヲ缺キシニ換ヘ機關銃ヲ有セリ然ルニ依然停止シアリテ決戰ニ參與セシメザル如キハ不可焉レヨリ甚シキハ無シ縱令支隊長ヨリ前進ノ命令ナキモ大隊長タル者ハ其部下ヲ提テ古室村ニ向ツテ猛進セザルベカラザルナリ此際損害ノ如キハ顧慮スルヲ要セズ一意此方面ノ敵ヲ牽制シ以テ本攻撃ヲシテ容易ナラシメ且ツ本攻方面ト相待テ戰勝ノ効果ヲ偉大ナラシムルコトヲ計ラザルベカラザルナリ、所謂正面攻撃及包圍攻撃ヲ連繫シテ行フトキハ最も好果ヲ確實ニ保證スルモノナリトノ言ヲ適用セザルベカラザルナリ。

野中村ニ在ル二中隊ハ應神帝陵ノ西側ヨリ前進セシムルヲ可トス何トナレバ古室村殊ニ標高三七、二附近ニ敵兵ノ存在スルト我砲兵ハ我攻撃點ヲ射撃スル能ハザルニ反シ敵砲兵ハ我攻撃前進ヲ射撃シ得ベキヲ以テ此二中隊ヲ速ニ前進セシメ以テ敵砲兵ニ當ラシムルコトハ現況最も必要トスル所ナリ而シテ

敵ノ一翼ニ對スル包圍攻撃



敵砲ニ當ル爲メニハ應神帝陵ノ西側ヨリ前進セバ長ク其射界外ヲ利用シ之ニ接近シ得ルノ利アリ。

諸君ノ内我砲兵大隊或ハ其中隊ヲ藤井寺村南方ニ移セシ者アリ是レ恐ラク過誤ナラン何トナレバ我砲兵ハ何レニ陣地ヲ變換スルモ我攻撃方面ヲ射撃シ得ザルノミナラズ其陣地變換ニ要スル時間ハ全ク射撃ヲ中止スルノ不利アリ既ニ我攻撃方面ヲ十分ニ射撃シ得ル陣地ヲ求ムルヲ得ザルヲ以テ終始敵砲兵ヲ猛射シ彼ノ射撃ヲシテ我攻撃部隊ニ向ツテ射撃シ得ザラシムルヲ以テ満足セザルベカラザルナリ。

機關銃ノ使用ニ就テ一言セントス夫レ機關銃ハ其射程及彈丸ノ効力ハ歩兵銃ト異ナル所ナシ、然レドモ其發射速度ノ迅速ナルト集束彈道ノ凝集セルトハ全ク歩兵銃ト其使用ヲ異ニセザルベカラザルナリ蓋シ歩兵ハ廣キ正面ニ射撃ヲ雨注シ以テ敵ヲ制壓スベキモノナリト雖モ機關銃ハ唯目標ノ小區域ニ熾盛ナル火力ヲ而カモ瞬時ニ集中シ茲ニ穿貫的効力ヲ奏シ得ルナリ故ニ之ヲシテ

持久的射撃ヲ爲サシムルガ如キハ此銃ノ性能ヲ發揮スル所以ニアラザルベシ然ルニ諸君ハ當初ヨリ之ヲ第一線ニ使用シ殆ト歩兵散兵ト同一動作ヲ爲サシメアルモノノ如シ是則チ持久的射撃ヲ爲サシメ殊ニ歩兵銃ト同様ニ使用シアルモノニシテ何等ノ効果ヲ收ムル能ハザルヘシ凡ソ機關銃ノ使用ハ攻撃ト防禦トヲ問ハズ一定ノ目標ニ固着セシムベキモノニアラズシテ必要ニ應シ逐次某目標ニ向ハシムベキモノトス、則チ「攻撃ニ在リテモ先ツ之ヲ後方ニ控置シ一般攻撃ノ經過中一地ニ對シ穿貫的効果ヲ必要トスルニ際セバ直ニ之ヲ戰鬥ニ參與セシムルモノトス殊ニ機關銃ハ歩兵ノ突撃ヲ準備スル爲メ最モ有利ニ使用セララルモノトス」トハ殆ド動カスベカラザル原則ナルベシ而シテ今ヤ之ヲ何レノ方面ニ使用センカ諸君ノ如ク第一線部隊ノ中間ニ投入センカ適當ノ時機ニ始メテ射撃セントスルモ忽チ歩兵ノ前進ニ由リテ射撃ヲ妨害セラルベシ是故ニ之ヲ最モ有利ニ使用ヤントセバ瞰制地若クハ側方ヨリ攻撃點ヲ射撃シ得ベキ位置ヲ求メザルベカラズ、前既ニ述ベシガ如ク高野街道方面ハ敵



ノ逆襲シ來ルノ虞アルト同時ニ我攻撃主部ニ對シ熾盛ナル火力ヲ以テ長ク掩護セシムルヲ要スベキヲ以テ此方面ニ使用スルヲ適當トスベシ而シテ應神帝陵東側ノ小丘阜ハ殆ド四銃ヲ据フルニ足ルベク之加モ我歩兵ノ前進ニ由リテ射撃ヲ妨害セラルルコトナク且ツ道明寺村東南端ニ對シテ大ニ斜射ノ利ヲ逞フスルヲ得ベシ。

以上述アル所ニ由リ余ハ本問題ヲ次ノ如ク答解セリ。

- 一、藤井寺村ニ在ル第一大隊(第二第四中隊欠)ハ古室村ノ敵ニ向ツテ前進シ此方面ノ敵ヲ牽制シ以テ本攻撃ヲ容易ナラシム。
  - 二、野中村ニ在ル二中隊ハ故參中隊長ノ指揮ニ屬シ應神帝陵西側ヨリ敵ノ砲兵ニ向ツテ攻撃セシム。
  - 三、歩兵第二大隊ハ高野街道ヲ右翼トシ其西方ニ展開シ道明寺村西南端ヨリ其西方ニ巨ル敵ニ向ツテ攻撃セシム。
- 此大隊ニハ機關銃四挺ヲ附屬ス但シ機關銃ハ戰鬥ノ進捗ニ應シ圖上應神

- 帝陵ノ應ノ字ノ東方丘阜ニ陣地ヲ布キ道明寺南端及東南端ヲ射撃セシム。
- 四、歩兵第二大隊(第五第六中隊欠)高野街道ヲ左翼トシ其東方ニ展開シ本街道以東ノ敵ヲ包圍スル如ク攻撃セシム。
  - 五、歩兵第一大隊ノ第二第四中隊及工兵中隊ハ豫備トシテ斷崖下ヲ第一線ニ伴ヒ蔭蔽シテ前進セシム。
  - 六、騎兵中隊ハ其主力ヲ以テ石川右岸ニ移リ國分村方面ニ對シ支隊ノ右側ヲ警戒セシム。
  - 七、衛生隊ハ古市村ニ繙帶場ヲ開設セシム。

### 狀況

午前九時五十分頃支隊長ハ右ニ關スル命令ヲ各隊長ニ口達セリ。

問題 第二大隊長ハ如何ニ其中隊ヲ展開シ又展開サレタル中隊ハ如何ナル方法ヲ以テ散開スルヤ。

諸君ノ如ク尋常ノ方法ヲ以テ展開シ若シクハ散開セバ非常ノ混雜ヲ來シ始メ

敵ノ一翼ニ對スル包圍攻撃



ヨリ秩序ヲ擾亂スルニ至ルベシ是レ實ニ嫌フ所ナリ斯ノ如キ漏斗狀ノ地形ニ在リテハ能ク注意シテ展開ヲ指導セザルベカラザルナリ第三大隊長ハ先ツ其二中隊ヲ第一線トス、而シテ第一線右中隊ハ譽田村北端ニ於テ高野街道西側ニ第一小隊ヲ散開シ菓樹林及小丘阜等ニ蔭蔽シテ前進シ右翼ヲ常ニ高野街道ニ接シ菓樹林ノ北邊ニ至ラシム、最初此小隊ノ散開シテ前進スルコト約七八十米ノ際更ニ次ノ小隊ヲ散開シ直ニ前進シテ第一小隊ノ左翼ニ連ラシム第三小隊モ亦同一ノ方法ヲ以テ散開シ次デ第一第二小隊ノ線ニ伍間増加ヲナス、左中隊モ亦右中隊ト同一ノ方法ヲ以テ最初一小隊ヲ散開シ應神帝陵ノ外圍上ヲ前進セシメ長キ丘阜ノ西脚ヲ右翼トシテ停止セシメ次テ次ノ小隊ヲ伍間ニ増加シ他ノ一小隊モ亦漸次ニ伍間ニ増加ス。

右ノ二個中隊散開シテ各示定ノ線ニ達スルヤ他ノ一中隊ヲモ亦同法ヲ以テ散開シ兩中隊ノ中央空部ヲ充塞シ茲ニ戰鬥線ヲ成形ス尙ホ他ノ一中隊及機關銃四挺ヲ豫備トシテ松林及小丘阜ヲ利用シテ位置セシム。

## 狀況

午前十時五分第三大隊及第二大隊ハ其第一線ヲ以テ菓樹林ノ線ニ到着シ茲ニ彼我共ニ熾盛ナル射撃ヲ交換スルニ至レリ豫備隊モ亦譽田村北端ヲ出發シ前進ニ移ル。

問題 豫備隊ハ如何ニシテ行進スルヤ。

中隊縱隊ヲ併列シテ前進セシムルハ徒ニ敵ヲシテ我運動ヲ知ラシムルニ過ギザルベシ若シ之ヲ重疊セバ或ハ其目視ヲ避クルヲ得ベシ然レドモ中隊ニハ側面縱隊ヨリ散開シ得ベキ制式アリ散開前必ズシモ中隊縱隊トナリアルノ必要ヲ認メザルナリ故ニ大隊縱隊ノ隊形ヨリモ寧ろ行進容易ニシテ且ツ斯ノ如キ狹小ナル地區ヲモ隨意ニ利用シ得ベキ側面縱隊ヲ以テスルヲ可トス然レドモ中隊ノ側面縱隊ヲ重疊スルハ不可ナリ是兩中隊同時ニ散開シ得ザレバナリ故ニ各中隊ハ側面縱隊トナリ第三第四中隊ヲ併列シ工兵中隊ヲ其後方ニ置キ斷崖下ヲ斷崖ニ接シテ前進シ東方ニ凸出スル部ノ後方ニ至リ各中隊同一ノ關係

敵ノ一翼ニ對スル包圍攻撃



ヲ以テ共ニ中隊縱隊ヲ作り停止ス。

### 狀 況

午前十時十五分我第一線ハ既ニ熾盛ナル火力ヲ注射シ豫備隊モ亦既ニ已ニ指定ノ位置ニ到着シアリ。

此時敵ノ砲兵ハ射撃ヲ中止シ間モナク我眼界ヲ脱セリ。

砲兵大隊長ハ此形況ヲ十分ニ知悉シアリ。

問 砲兵大隊長ハ如何ニスルヤ。

今ヤ砲兵大隊長ハ其動作ニ關シ支隊長ノ命令ヲ待ツガ如キハ不可ナリ最早射撃スベキ敵ノ砲兵ヲ失ヒタリ而シテ我攻撃點ハ射撃スル能ハザルナリ徒ラニ茲ニ停止セバ何等ノ益スル所ナシ殊ニ敵砲兵ノ消失ハ敵ガ退却ヲ始メタルナラント判斷スルヲ得ラル此際速ニ陣地ヲ撤シ譽田村ニ向ツテ急進セザルベカラズ何トナレバ威力アル追撃射撃ヲ施サンガ爲メト、適時支隊ノ欲スル爾後ノ使用ニ應ゼンガ爲ナレバナリ。

支隊長モ亦譽田村北端ニ在リテ此形況ヲ知レリ。

問 支隊長ハ如何ニスルヤ。

豫備隊ヲ直ニ斷崖ノ末端ニ展開シ突撃ニ移ラシム。

### 狀 況

午前十時二十分過ギ我機關銃ハ丘阜上ニ顯レ道明寺村南端及其東南端ノ敵ニ向ツテ熾盛ナル火力ノ集中ヲ始メタリ間モナク豫備隊タリシ第三第四中隊ハ第二大隊ノ右翼ニ連リテ展開シ將ニ前進セントスルノ際敵ハ我衝突ニ先タチ逐次其右翼ヨリ退却セリ我諸隊ハ全線舉ツテ突撃シ道明寺村ノ東側及西側ニ突進セリ、敵ハ何レモ非常ニ散亂シテ北方ニ潰走シアリ各大隊ハ攻撃ヲ續行シテ國府村若クハ字小林東方ニ至リ茲ニ熾ナル追撃射撃ヲナシ其追撃射撃ニ加ハラザル諸部隊ハ何レモ隊伍ノ整頓ヲ努メツツアリ機關銃モ亦國府村ノ北端ニ來リ共ニ追撃射撃ヲ施セリ敵ハ夥多ノ死傷者ヲ殘シテ大和川ヲ渡リ午前十時四十分頃ニ至リ全ク我射界ヲ脱セリ此時砲兵大隊ハ道明寺村南端ニ達シ

敵ノ一翼ニ對スル包圍攻撃



アリ此際各部隊ハ直ニ運動ヲ開始シ連繫ト秩序トヲ害セザル限リ猛烈果敢ニ敵ヲ追撃スベキモノナリト雖モ支隊ハ更ニ昨夜奈良ニ到着セシ敵ニ對シテ第二ノ戰鬪ヲ準備セザルベカラサルヲ以テ一部ヲ大和川右岸ニ出シテ敵ヲ追撃セシメ他ノ諸隊ハ速ニ隊伍ヲ整頓シ以テ爾後ニ於ケル新企圖ニ應ゼザルベカラザルナリ。

## 防 禦

### 一 防守正面ニ於ケル配備

### 二 總豫備隊ノ攻勢移轉

#### 想 定

(二十萬分一岐阜、名古屋及附圖第一參照)

一、敦賀灣ニ上陸セシ敵ニ對シ成ルベク遠クニ於テ拒支シ爲シ得レハ之ヲ擊攘スベキ任務ヲ有スル東軍混成第一旅團ハ名古屋附近ヨリ美濃街道ヲ前進シ三月一日午前十時、前衛歩兵ノ先頭ヲ以テ大垣町西端ニ達ス此時旅團長ハ騎兵聯隊長ヨリ午前九時十分關原東端發報告ヲ受ク其要旨左ノ如シ。

一、將校斥候ノ報告ニ由レバ敵ノ一縱隊歩兵約八大隊砲兵五、六中隊ハ春照村附近ヨリ前進シ午前十時頃ニハ其先頭ヲ以テ關原ニ到着スベシ。

二、敵ノ騎兵約三中隊ハ目下小關ニ達シアリ。

二、旅團長ハ右狀況ニ基キ赤坂村附近ニ防禦陣地ヲ占領スルニ決シ左ノ區處ヲ爲セリ。

一、歩兵第一聯隊(機關銃四挺ヲ附屬ス)ニ砲兵第一聯隊第一大隊(第三中隊欠)ヲ附シ荒尾村西北端小池附近ヨリ晝飯村附近ニ亘ル間ヲ矢道、榎戸及青野村方面ニ對シテ占領セシム。

工兵第一大隊第一中隊(一小隊欠)ヲ屬ス。

二、歩兵第二聯隊第一大隊ヲシテ荒川村ヨリ小寺ニ亘ル間ニ對シ荒尾村ヲ占領セシム。

三、砲兵第一聯隊、第二、第四中隊ハ古參中隊長ノ指揮ヲ以テ板井北方ニ於テ小寺及荒川村方面ヲ射撃シ得ル如ク陣地ヲ占領セシム。

防禦、防守正面ニ於ケル配備



四、歩兵第二聯隊(第一大隊欠)ヲ總豫備隊トシテ檜村東方ニ位置セシム。

五、騎兵第一聯隊(第二中隊欠)ハ敵ノ壓迫スルニ從ヒ漸次十六村方面ニ引退シ旅團ノ左側ヲ警戒セシム。

六、衛生隊ハ福田村ニ縋帶場ヲ開設セシム。

注意野戰病院及其他輜重ニ關スル區處ハ之ヲ畧ス。

### 問 題

歩兵第一聯隊長ハ其負擔スベキ守備正面ニ如何ニ配備スルヤ。

右答解ニ關スル講評及意見

諸君ガ爲セル配備ハ其細部固ヨリ各異ナル所アリト雖モ大體ニ就テハ大差ナシ則チ歩兵一大隊ヲ以テ晝飯村北方高地ヲ一大隊若クハ一大隊半ヲ以テ同村南方林縁ヲ占領セシメ二中隊ヲ聯隊ノ豫備トシ牧野村東方若クハ赤坂村西北端ニ置ケリ而シテ晝飯村北方高地ニ於テハ概シテ金生山南方高地ノ稜線上ニ配備セリト雖モ或ハ一小隊若クハ一中隊ヲ以テ金生山ノ嶺頂ヲ占領セシ者アリ。

晝飯村北方高地ハ全面繁茂セル松樹ヲ以テ蓋ハル斯卡ル地形ニアリテハ既ニ射擊戰鬪ノ範圍ヲ脱シ全ク特殊ナル森林戰鬪ニ屬スベキモノナリ然ルニ此高地ハ傾斜急峻ナルノミナラズ又頗ル錯雜ニシテ軍隊ノ運動ヲ甚シク困難ナラシム則チ斯ル地形ニ在リテハ森林戰鬪ノ特質タル密集戰法モ亦實行シ得ザルベシ若シ夫レ廣大ナル正面ニ於ケル森林ヲ伐截シテ射界ヲ清掃センカ則チ此大隊ハ苦心シテ高地稜線上ニ配備セシ效果ヲ收ムルヲ得ベシ然レドモ此事タルヤ口能ク言ヒ得ルモ之ガ實行ハ得テ望ムベカラザルナリ。

何トナレバ斯ル廣大ナル正面ノ清掃ハ歩兵大隊ノ人員ヲ以テスルモ恐ラクハ數十時間ノ後ニアラザレハ其目的ヲ達シ得ザレバナリ。

抑モ軍隊ハ常ニ統一サレタル指揮ノ下ニ在ルニアラザレバ如何ニ衆多ノ兵力モ眞ニ烏合ニ過ギズシテ何等ノ效果ヲ收ムル能ハザルナリ而シテ土地蔭蔽錯雜ナルニ從ヒ益々指揮ノ困難ヲ極メ終ニ指揮ヲ脱逸シ支離分散スルニ至ル故



ニ苟モ或ル特別ノ目的ヲ有セザル限りハ蔭蔽錯雜ノ地ヲ避ケ十分ニ火力ヲ逞  
フシ得ベキ地形ヲ撰用セザルベカラザルナリ、歩兵操典ハ其防禦ノ部ニ示シ  
テ曰ク「防禦ニ於テハ特ニ火器ノ効用ヲ盡スヲ肝要トス故ニ此目的ニ基キ陣  
地ヲ選定シ村落、高地、森林、隘路等ヲ利用シ尙ホ人工ヲ加ヘテ陣地ヲ堅固ニ  
スルコト必要ナリ」ト其村落、高地、或ハ森林等ノ如キ何レモ自然ニ堅固ナル  
據點ヲ成形セリ然レドモ其堅固ト稱スルハ火力ヲ放棄シテ謂フニアラズシテ  
其効用ヲ盡シ得テ始メテ堅固ナルコトヲ得ベキナリ。

以上ノ如ク説述シ來ラバ諸君カ歩兵大隊殊ニ聯隊長ノ貯存スル地區豫備隊ヲ  
モ晝飯村北方高地ニ配置セシハ實ニ無意義ト謂ハザルベカラズ何トナレバ高  
地稜線上ニ展開シアルハ正シク火戰ヲ爲サシメントスルニ外ナラズ然ルニ地  
形ハ全ク之ヲ許サザルナリ若シ夫レ森林戰鬪ヲ爲サント欲センカ各部隊ハ密  
集ノ隊形ヲ取リアラザルベカラザレバナリ之ヲ要スルニ諸君ハ火器ノ効用ヲ  
盡スヲ肝要トストノ原則ヲ輕視シタルヲ以テ撰定宜シキヲ得ザリシハ惜ムベ

キナリ。

次ニ諸君ハ晝飯村南方森林ノ西側ニ沿ヒ若クハ同村南側小丘阜ヨリ其南方桑  
畑ニ亘リテ爲セル配備ヲ研究セントス夫レ森林ノ西縁ハ前方ニ敞開地ヲ控ヘ  
防禦ニ要求スル所ノ火器ノ効用ヲ十分ニ盡スコトヲ得ルノ利アリ故ニ余ハ決  
シテ之ヲ批難スル能ハザルナリ然レトモ茲ニ最モ注意スベキ要件アリ之ヲ述  
ベ以テ諸君ガ他日ノ研究ニ於ケル參考ニ供セント欲スルナリ。

凡ソ陣地ノ凸出部ハ常ニ弱點ヲ成形スルモノニシテ攻者ハ茲ニ多クノ火力ヲ  
集注スルニ至ル故ニ防者ハ成ルベク凸出部ヲ成形セザル如ク陣地ヲ占領スル  
ヲ要ス、晝飯村南方ノ林縁ハ前述ベシ同村東北方高地ニ對シテ如何ナル關係  
位置ニアルヤヲ考慮セバ恐ラク此部ガ敵ニ對シテ弱點ヲ成形スルコトヲ覺知  
セラルルナラン今假リニ晝飯村東北方高地稜線ヲ以テ適當ノ一地區トセバ此  
林縁ハ之ガ爲メ甚シク凸出シ榎戸村及青墓村方面ヨリ包圍ヲ受ケ如何ニ之ヲ  
堅固ニ保持セントスルモ其火力ニ制壓セラルルニ至ルベシ則チ前方ニ十分ノ

防禦、防守正面ニ於ケル配備



射界ヲ有スルモ所謂火器ノ効用ヲ盡ス能ハザルベシ故ニ若シ此林縁ヲシテ十分ニ火器ノ効用ヲ盡サシメント欲セハ右翼大隊ヲ諸君ガ配備セシ高地ヨリ西方ニ出サザルベカラズ若シ又該高地ヲ右翼ノ據點トシテ堅固ニ守備セシムルヲ要スルトセバ林縁ヲ守備スベキ諸隊ハ牧野村ヨリ勝山ノ西脚ニ亘リテ占領セシメザルベラス然ルトキハ此諸隊ハ十分ノ射界ヲ有セザルニ至ル則チ敵ガ晝飯村南方ノ森林ヲ濫過シテ桑畑ニ進出スルニアラザレバ火戰ヲ交フベカラザルベシ、防守正面ニ於ケル陣地トシテ決シテ満足シ能ハザル所ナリ況ンヤ一步進出セバ希望ヲ充タスベキ陣地ノ存スルニ於テチヤ。

次ニ研究スベキハ諸隊ノ配備是ナリ諸君ノ如ク聯隊ノ負擔スベキ正面内ニ一連不斷ニ工事ヲ連續シ茲ニ諸隊ヲ配置スルガ如キハ頗ル價値ナカルベシ、歩兵操典ハ其防禦ノ部ニ示シテ曰ク「陣地ハ之ヲ數地區ニ分チ各守備地一區ニハ適應セル建制部隊ヲ配置シ地區毎ニ豫備隊ヲ備フ守備地區ノ數及幅員ハ地形ニ由リテ變化スルモノニシテ射界不良ナルトキニ在リテハ其幅員ヲ小ニシ

又陣地内ノ交通及展望ノ困難ナルニ從ヒ地區ノ數ヲ増加スト今ヤ混成旅團ハ其防守正面チ二地區ニ分チ其一ハ諸君ガ研究セルモノニシテ他ハ步兵第二隊聯第一大隊ノ負擔セル荒尾村方面是ナリ而シテ地區ヲ守備スル聯隊モ亦此原則ニ準フテ負擔セシムベキ正面ヲ決定シ之ヲ大隊若クハ中隊ニ配與スベキモノナリ決シテ一連不斷ニ一ノ限界ナク諸隊ヲ配置スルモノニアラザルナリ所謂「防禦工事ハ連續セル火線ト爲スコトナク成ルベク大隊毎ニ集團セシムルヲ可トス」トハ之ヲ是レ謂フナリ、而シテ各大隊若クハ各中隊ノ負擔スベキ正面ハ地形ニ從フモノニシテ射界不良ナルトキハ其射撃ヲ及スベキ地界狹小ナルガ爲メ敵ノ接近ヲ容易ナラシメ從テ近接シタル地域ニ於テ優勢ナル敵ノ攻撃ヲ受クルニ至ルベシ故ニ負擔スベキ正面幅ヲ小ニシ以テ近接攻撃ニ當リテモ十分ノ密度ヲ有スル火戰ヲ以テ之ニ對抗セシメザルヘカラザルナリ、又陣地内ノ交通及展望ノ困難ナルニ從ヒ一指揮官ノ下ニ統一セラルルコト益々困難トナルベシ故ニ各地ニ於テ獨立シタル部隊ヲ以テ守備セシムルニ至ルベシ



則チ中隊ヲ獨立セシメテ使用スルガ如キコトヲ生ズルナリ。  
 儲テ聯隊ノ負擔正面ヲ守備スルニ方リ大隊毎ニ集團セシムルトセバ兩大隊ノ  
 中間地帯ハ如何ニスベキヤノ問題ヲ生ズベシ此間隙ハ兩集團ヨリ有効ニ掃射  
 シ得ベカラシメ又集團ノ兩翼ニ機關銃ヲ備フベキヲ以テ毫モ顧慮スルヲ要セ  
 ザルナリ人或ハ言ハン各集團ハ各其前方ノミヲ顧慮シテ工事ヲ施設スルナラ  
 シ故ニ各間隙若クハ工事前ニ於ケル死角等ヲ射撃セシメントスルモ實際困難  
 ナルベシト若シ夫レ是等ノ失態ヲ生スルコトアリトセバ是レ指揮官ノ指揮不  
 十分ナリシニ因リシナルベシ操典ハ是等ノ失態アラソコトヲ虞レ吾人ニ示シ  
 テ曰ク「敵ニ安全地域ヲ與ヘザル爲メ前地ヲ地區毎ニ分割シ而シテ各地區前  
 ノ死角ハ比隣地區互ニ之ヲ側防シ得ルノ施設ヲナスベシ」ト故ニ諸隊ヲ配備  
 スルニ方リテハ指揮官ハ必ズ其負擔スベキ前地ヲ示サザルベカラザルナリ然  
 ルニ學習上往々此要件ヲ缺ギシコトアリシ、諸君モ宜シク此點ニ注意シ他日  
 ノ作業ニ不完ナカラシムベシ。

諸隊配置ニ關シ十分ニ述ブル所アリシモ尙ホ茲ニ一言スベキハ地區豫備隊ノ  
 性質是レナリ諸君ノ内往々之ヲ誤ル者アリ夫レ地區豫備隊ナルモノハ一定ノ  
 地區ニ使用セラル、モノニシテ之ヲ攻勢移轉ニ使用スベキモノニアラザルナ  
 リ、然ルニ之ヲ聯隊ノ外翼後ニ控置セルアリ固ヨリ敵ノ攻撃猛烈ニシテ第一  
 線ニ補充スルノ必要アルベシト思考セラルル場所ノ後方ニ置クベシト雖モ元  
 來スル危險ナル方面ニハ初メヨリ多クノ兵力ヲ充テアルベキナリ故ニ特ニ遠  
 ク一翼後殊ニ外翼後ニ控置セシムルノ必要ナルベシ故ニ何レノ部分ニモ應  
 援スルニ便利ナルヲ度トシ第一線ノ近クニ位置セシメ則チ各地區ノ豫備隊ハ  
 地形ヲ顧慮シ適宜前方ニ近接シアラシメザルベカラズ之ガ爲メ要スレバ工事  
 ヲ設クルコトアリト謂フ所以ナルベシ。

機關銃隊ハ分割セズシテ使用スルヲ通則トセリ然レドモ防禦殊ニ防守正面ニ  
 在リテハ特殊ノ任務則チ各集團工事ノ兩側又ハ凸出部ニ配置シ以テ比隣ノ空  
 隙ヲ掃射シ若クハ戰鬥線前ノ死角ヲ側防セシムル等ノ場合ニハ之ヲ分割シテ



使用スルコト屢々之レアリ。

諸君ノ砲兵陣地ハ概シテ勝山西北方桑畑ナリシ余ハ何故斯ク不利ノ位置ニ置キシカナ疑フナリ其射界ノ如キハ所謂馬車馬的ニシテ僅ニ榎戸村ト青墓村トノ中間ニテ而カモ一部分ニ過キザルナリ斯カル位置ニ陣地ノ骨幹タルベキ砲兵ヲ布置スルガ如キハ實ニ其使用ヲ無視スルト謂フノ外ナキナリ。

聯隊ノ負擔セシ正面ニ於テ砲兵ノ威力ヲ發揮シ得ベキ陣地ハ勝山ヲ措テ他ニ之レヲ求ムル能ハサルナリ、夫レ勝山ハ其西北部凸稜ニ於テ傾斜比較的緩ナルヲ以テ單簡ナル工事ヲ施スカ若クハ施スコトナク砲兵ヲ上クルヲ得ベシ。抑モ野砲ノ自由ニ登ルヲ得ベキ傾斜ハ八分一以下ナリ然レドモ是レヨリ以上ノ傾斜モ其巨離至短ナレバ登ルコトヲ得ザルニアラザルナリ又勝山ノ斜面上ニ存スル樹木ハ一見砲兵ノ射撃ヲ妨害スルノ觀アリト雖モ至細ニ研究セバ決シテ射撃シ得ザルニアラザルナリ何トナレバ凡テ雜樹ハ松或ハ杉ノ如キ大ナル高サヲ有スルモノニアラザルト西南部ノ急峻ナル斜面上ニ植立スル樹木ハ

概シテ嶺頂ヨリスル射撃ヲ妨害スルノ度鮮少ナルベケレバナリ故ニ多少各樹ノ枝葉ヲ拂ヘバ廣キ正面ヲ射撃スルニ毫モ支障ヲ生ゼザルベシ殊ニ此位置ハ林縁ヲ占領スベキ我歩兵トノ關係頗ル良好ナリ唯夫レ前方森林ノ西側附近並ニ荒尾村西南側ニ接スル地帯ヲ射撃スル能ハザルノ不利アルハ免ルベカラザル所ナリ。

以上説述スル所ニ因リ余ハ次ノ如ク配備セリ但シ其詳細ハ附圖第一ニ就テ見ラルベシ。

一、砲兵大隊ヲシテ勝山ニ於テ青野村ヨリ長松村ニ亘ル間ヲ射撃シ得ル如ク放列ヲ布置セシム。

但シ工兵中隊(一小隊欠)ヲシテ陣地進入並ニ設備ヲ援助セシム。

二、第一大隊ヲシテ榎戸村及青野村方面ニ對シ青墓村ノ西北端ヨリ該村縁ニ沿フテ中山道ノ東南方約二百米ニ亘ル間ヲ占領セシム。

機關銃二挺ヲ附ス。

防禦、防守正面ニ於ケル配備



三、第二大隊ヲシテ小寺、矢道村及榎戸村方面ニ對シ荒尾村西端小池ヨリ西  
北方林縁ニ沿フテ約六百米ニ亘ル間ヲ占領セシム  
機關銃二挺ヲ附ス。

四、第三大隊ハ地區豫備トシテ晝飯村南側小丘阜ノ東側ニ位置セシム但シ  
爲シ得レバ第一第二大隊ノ中間ニ於テ榎戸村ト青野村トノ中間地帯ニ對  
シテ單簡ナル工事ヲナサシム。

### 狀況

午後一時三十分頃混成旅團ハ旅團長ノ意圖ノ如ク配備ヲ終レリ但シ砲兵第三  
第四中隊ハ坂井西北方無名祠附近ニ放列ヲ布置シ總豫備隊ハ靜里村ヨリ福田  
ニ村通ズル堤道ノ東側ニテ坂井附近ニ位置セシメタリ(附圖第一參照)

問 歩兵第一聯隊第一大隊ハ如何ニ配備スルヤ

西部青墓村西端ヲ占領スルハ全般ニ關シ頗ル凸出シ殊ニ榎戸村ヨリ縱射若ク  
ハ斜射ヲ受クベシ若シ之ヲ避ケントセバ青野村方面ニ對シテ頗ル不利トナル

ベシ又晝飯村西端ヲ占領センカ第二大隊ノ負擔正面ヲシテ榎戸村ニ對シ凸出  
セシムルニ至ル且ツ此位置ハ青墓村ノ爲メニ射界ヲ制限セラレ我右翼ヲシテ  
著シク薄弱ナラシムベシ東部青墓村西端ヲ占領センカ陣地ハ沿道家屋ノ爲メ  
自ラ三地區ニ分ルベシ即チ中山道ノ北部、中山道上及中山道以南是レナリ而  
シテ各地區ニハ獨立シタル部隊ヲ以テ之ニ充テザルベカラズ然ルニ諸君ハ中  
隊ヲシテ街道ニ跨カラシムルアリ如何ニシテ之ヲ意ノ如ク指揮スルヲ得ンヤ  
縱令街道擔任ノ部隊ハ極テ寡少ノ兵力ナルニセヨ街道以外ニ位置セル指揮官  
ノ直接ニ其指揮ヲ及スコトハ頗ル困難トスル所ナリ故ニ各區ニ充ツベキ部隊  
ニハ各負擔スベキ任務ヲ與ヘテ獨立セシメ之ヲ一ノ指揮官ニ委スベカラザル  
ナリ恰モ防守正面ニ於ケル陣地ヲ地形ニ從ヒ地區ニ分チ各地區ニハ各負擔ス  
ベキ任務ヲ與フルト毫モ異ナル所ナキナリ是ヲ以テ此方面ニ於ケル配備ハ次  
ノ如クナルヲ適當トスベシ。

一、第一中隊ハ中山道以北ニテ青野村ヨリ其北方高地ニ亘ル線ニ對シテ東

防禦、防守正面ニ於ケル配備



部青墓村西端ヲ占領セシム。

此中隊ハ右翼ヲ折曲ゲテ同村西北方無名祠高地ニ對シ左翼ヲ中山道ヨリ約百米離隔ス。

二、第三中隊ノ第一小隊ヲ中山道上ニ置キ直接ノ守備ニ任ズ。

此小隊ハ爲シ得ル限り街道ヲ阻絶シ且ツ道路全幅ニ亘リ散兵壕ヲ堀開シ之ニ配備シ得ベキ兵力ヲ備フ。

三、第二中隊ハ中山道以南ニテ青野村ヨリ榎戸村ニ亘ル線ニ對シ第一中隊ニ連繫シテ青墓村南側ヲ占領セシム。

此中隊ノ右翼ハ中山道ヨリ約百米離隔シ且ツ之ヲ折曲ケテ青野村東端ニ對ス。

四、第一中隊ノ右側後及第二中隊ノ左側後ニ機關銃ニ要スル工事ヲ設備ス。

五、第三中隊(一小隊欠)及第四中隊并ニ機關銃ハ豫備トシテ青墓村東端ニテ中山道ノ北側ニ位置セシム但シ爲シ得ル限り第一中隊并ニ第二中隊方面

ニ容易ニ進出シ得ベカラシムル爲メ交通路ヲ設備ス。

### 狀況

是ヨリ先キ旅團長ハ勝山ニ在リテ前方ヲ展望シ次ノ事項ヲ見得タリ。

午後零時過ギ騎兵ノ西方ヨリ垂井村ニ走リ入ルヲ見タリ次テ敵ノ騎兵約三

中隊許リ日守附近ニ來リ又其一部ハ下町ニ顯出ス、間モナク垂井村ノ方面

ニ銃聲起リ稍々暫ク繼續シ爾後極テ緩徐トナレリ。

零時四十分過キニ至リ敵ノ歩兵斥候ニ次テ約一小隊許リ相川村東端ニ顯出

シ續テ前進シ來ル、下町方面モ亦一部ノ歩兵前進シアリ暫クシテ垂井村方

面ノ銃聲止ムト間モナク我騎兵ハ其主力ヲ以テ美濃街道ヲ一部ヲ以テ中山

道方面ニ退却シアリ。

午後一時過キ敵ノ歩兵縱隊ハ陸續垂井村ニ進入シ又其一部ハ府中村ニ進入

セリ而シテ是ヨリ以西ハ綾戸村附近ノ森林ノ爲メ何物モ見ルヲ得ズ、只我騎兵ノ主力ト思ハルベキモノ長松村ニ其一部ノ如キモノ島村ニ在リテ綾戸

防禦、防守正面ニ於ケル配備



村及表佐村ニ在ル敵ノ騎兵ニ對持シアリ。

午後一時四十分頃ヨリ我騎兵ハ漸次中曾根村、次テ中原、綾野村ニ退却シタリシガ敵騎ハ之ヨリ敢テ前進セザリシ又此時刻ヨリシテ敵ノ步兵平尾村ノ東方並ニ青野村東端及榎戸村、矢道村ノ東端ニ散見セラル、ニ至レリ。

午後二時青野村東南方ニ敵ノ砲兵顯レテ放列ヲ布カントセリ、我勝山ノ砲兵ハ直ニ之ニ向ツテ射撃ヲ開始セリ間モナク敵モ又發射スルニ至リ茲ニ彼我ノ間ニ砲戰ヲ開始セリ敵ノ砲數ハ正シク十八門ナリ暫クシテ綾戸村ノ東側ニテ鐵道ヲ挾ンデ敵ノ砲兵十二門顯出セリ坂井西北方ノ我砲兵ハ直ニ之ニ向ツテ射撃セリ今ヤ彼我ノ砲兵ハ火花ヲ飛シテ猛烈ニ戰鬪スルニ至レリ。

午後三時前青野村ト其北方高地トノ間ニ敵ノ步兵散開シ我ニ向ツテ前進ヲ始メタリ同時ニ榎戸村ノ東北端ヨリ堤防ニ沿フテ敵ノ步兵散開シ茲ニ我第一線ノ步兵ト射撃ヲ開始セリ、次テ榎戸村ノ北端ヨリ西北方ニ亘リ約三百米ノ正面内ニ敵ノ步兵散開シテ前進ヲ始メタリ尙ホ其後方堤防ニ接着シ及矢道村ノ

西北端ニ步兵ノ密集部隊アルモノ、如シ。

問 旅團長ハ何事カ處置スベキコトアリヤ。

我防守正面前ニ敵ノ顯出スルハ決シテ驚クベキコトニアラザルナリ其兵力多々益々多ナルニ從ヒ却テ悅フベキ現象ナルベシ而シテ未タ我防守ノ兵力ニ優ルヲ認メズ此際何等ノ處置スベキ事ナカルベキナリ。

此際步兵第一聯隊長ハ晝飯村南側小丘阜上ニ在リテ前述ノ狀況ヲ十分ニ知悉セリ。

問 步兵第一聯隊長ハ何事カ處置スルコトアルヤ。

第一線ノ各大隊長ニ彼此ノ狀況ヲ通報スルハ固ヨリ緊要ナリ而シテ此外何事モ處置スルコトナシト思フハ果シテ其當ヲ得タルヤ否ヤ余ハ此際豫備隊ノ内ニ中隊ヲ以テ第一大隊ト第二大隊トノ中間ニ設備シアル散兵壕ニ就カシムルノ有利ナルコトヲ敢言スルナリ元來聯隊長ノ貯存スル地區豫備隊ハ已ガ負擔セル地區内ニ使用スルノ外他ニ何等ノ顧慮ヲ要セザルナリ故ニ若シ當初ヨリ

防禦、防守正面ニ於ケル配備



配備スベキ必要アレハ豫備隊ノ兵力ヲ僅少ニスルモ毫モ嫌フ所ニアラザルナリ今ヤ敵ノ歩兵ハ我第一大隊ト第二大隊トノ中間地帯ニ向ツテ散開シ之加モ前進ヲ圖ルノ模様アリ是ヲ以テ豫備隊ハ早晚此中間ニ配置セザルベカラザルナリ然ルニ此事タルヤ遅延スルニ從ヒ益々敵ノ接近ヲ容易ナラシムルノミナラズ我ハ全ク敵ノ有効界ニ於テ運動セザルベカラザルノ不利ヲ犯スニ至ルベシ既ニ負擔セル地區内ニ於テ豫備隊ヲ使用セザルベカラザル方面ヲ決定セバ速ニ之ヲ其陣地ニ就カシメ火力ヲ以テ敵ノ前進ヲ壓倒シ敵ヲシテ一刻モ早く益々衆多ナル兵力ヲ我方面ニ展開セシメバ旅團ガ其企圖ヲ遂行スルニ幾何ノ利益ヲ有スルヤ蓋シ多辯ヲ要セスシテ明カナルベシ。

### 狀況

砲戰ハ依然繼續セラル我砲數素ヨリ敵ニ劣ルト雖モ勝山ニ於ケル砲兵陣地ノ良好ナルハ多少此劣勢ヲ補ヒ得シナルベシ未タ甚シキ損害ヲ受クルニ至ラズシテ午後三時三十分ニ至レリ。

此時敵ノ散兵線ハ小寺南方鐵道附近ヨリ榎戸村ノ東側ヲ經テ青野村北方ニ亘レリ而シテ逐次増加セラレ我第二大隊ノ方面ハ最モ濃密ナリシ又散兵線ハ時々各所ニ於テ部隊毎ノ躍進ヲ以テ前進シアリ。彼我ノ火戰ハ漸次熾盛トナリ我第一線部隊モ續々損害ヲ生ジ各中隊ハ今ヤ殆ンド援隊ヲ有セズ殊ニ第二大隊ノ如キハ既ニ其豫備隊ノ一部ヲ第一線ニ補充スルニ至レリ然レドモ狀況ハ未ダ悲運ニ傾キシニアラズシテ寧ロ敵ノ前進ヲ大ニ躊躇セシメアルナリ。

問 此際歩兵第一聯隊長ハ何事カ處置スル所アルヤ。

第一大隊ノ方面ハ未タ豫備隊ヲ使用シアラズ且ツ敵ハ將來其正面ヲ高地ノ方ニ擴張スルガ如キコトナカルベシ之ニ反シテ第二大隊方面ハ小寺ヨリ榎戸村ノ東北端ニ亘ル濃密ナル敵ノ散兵線ニ對シ將來損色ヲ生ズベキノ虞アリ何トナレバ既ニ豫備隊ノ一部ヲモ使用シ且ツ此方面ハ森林ノ爲メ我砲兵ノ射撃ヲ及ボシ得ザル地界多キヲ以テ他ノ方面ニ比シテ薄弱ナルベシ是ヲ以テ此方面

防禦、防守正面ニ於ケル配備



ハ他方面ニ比シテ兵力ノ補充ヲ要スルコト最モ大ナルベキヲ顧慮シ此際聯隊豫備ノ殘餘ヲ此方面ニ移スコト決シテ過早ナラザルベシ。

### 狀 況

午後三時三十分以來敵ノ全散兵線ハ次第ニ密度ヲ増加セラレ其射撃ハ非常ニ熾盛トナリ今ヤ我第一線ハ其制壓ヲ受クルノ状態ナリ而シテ敵ノ全線ハ小部隊毎ノ躍進ヲ以テ前進ヲ始メタリシガ第一大隊長ハ直ニ機關銃ヲ第二中隊ノ左翼後ニ準備セル工事ニ就カシメ小寺ヨリ榎戸村東北端ニ亘ル敵線ヲ斜射セシメシ爲メ敵ノ前進ニ一頓挫ヲ來セリ。

此時旅團長ハ騎兵聯隊長ヨリ左ノ報告ヲ受ク。

將校斥候ノ報告ニ由レハ敵ハ步兵聯隊(少グモ二大隊)午後三時二十分綾戸村西北側ノ森林中ニ集合シアリ。

問 旅團長ハ此報告ニ因リ決心スルコトアルヤ。

敵ノ豫備隊ト思ハルベキ部隊ハ果シテ將校斥候ノ報告セシモノノ外他ニ之

ナキヤ將々尙ホ他ニ之ヲ有スルヤ深ク之ヲ顧慮スルヲ要セズ其豫備タルベキ部隊ガ荒川村方面ニ展開スルヤ將々中山道方面ヨリ攻撃實行ニ加入スルヤモ亦之ヲ措テ問フヲ要セザルナリ何トナレバ敵ノ後方部隊縱令我總豫備隊ヨリ優勢ナリトスルモ我ハ敵ニ先ジテ展開セバ其未ダ全力ヲ展開セザルニ先タチ逐次之ヲ撃破スルヲ得ベケレバナリ又敵ノ豫備タルベキ部隊ガ何レノ方面ニ展開スルモ我ハ唯荒尾村南方ノ地區ニ展開スルノ一法アルノミナレバナリ諸君ノ如ク敵ノ後方部隊ノ爾後ニ於ケル展開地帯ヲ偵知シタル後始テ攻勢ニ轉ゼントセバ恐ラク其時機ヲ失スベシ何トナレバ敵ニシテ我ニ先ジテ十分ニ其兵力ヲ展開センカ縱令主トシテ我防守正面ニ壓迫シ來ルトスルモ既ニ悲運ニ傾キタル防守正面ハ之ガ爲メ恐ラク總豫備隊ノ展開ヲ終リ十分ナル動作ヲ爲シ得ザルニ先ダチ崩壞スルニ至ルノ虞ナシトセザルナリ而シテ總豫備隊ハ啻ニ此崩壞ヲ繕フノ餘義ナクセラルルコト往々之レ有ルベシ若シ又我ニ先シテ展開シ荒川村方面ニ來ランカ其展開シタル兵力ヲ以テ未タ展開ヲ終ラザ



ル我が頭上ニ壓迫シ來ラバ我防守正面ノ狀勢如何ヲ問ハズ旅團ハ全ク其根本ヲ打破セラルルニ至ルベシ、新獨逸操典ハ敵ガ全力ヲ展開シテ我防守正面ニ壓迫シ來ルトキヲ以テ攻勢移轉ノ時機ナルコトヲ示セリ此時機固ヨリ攻勢移轉ノ好時機ナルベシ然レドモ果シテ敵ガ全力ヲ展開シタルヤ否ハ之ヲ明確ニ知ルヲ得ルコト稀有ナルベシ又之ヲ明確ニ知悉スルヲ待タントセバ時機ヲ失スルニ至ルベシ是レ古來ヨリ攻勢防禦ナルモノハ言フハ易クシテ行フハ難シト爲ス所以ナリ。

所謂敵ガ全力ヲ展開シテ我防守正面ニ壓迫シ來ルトハ現實ニ壓迫シ來ルヲ待ツテ然ル後、始メテ攻撃動作ニ着手スベシト言フノ意ヲ含ムニアラズシテ我防守正面ニ壓迫シ來ル敵ノ兵力及其他偵察ニ由リテ得タル事項トニ依リ其企圖ヲ充分判斷シ得タル場合ニハ攻勢移轉ノ動作ニ着手セザルベカラザルコトハ恐ラク非認スルモノナキヲ信スルナリ。

今ヤ我防守正面ニ十分我ニ優ル密度ノ散兵線ヲ以テ壓迫シ來レリ而シテ將校

斥候ノ報告セシ部隊ノ外ニ尙ホ豫備隊ヲ有スルトスルモ甚シキ大ナルモノヲ有セザルコトヲ判斷シ得ルナリ、則チ現在我防守正面ニ壓迫セル狀態ト將校斥候ノ報告トニ因リ敵ノ全力ヲ展開シテ我正面ニ來ルベキ企圖ヲ有スルコトハ明確ナリト言フノ外ナカルベシ此際攻勢移轉ノ動作ニ着手スルニアラザレバ何レノ時機ニ移轉スルヲ得ルヤ故ニ余ハ旅團長トシテ次ノ如キ決心ヲ爲スベシ。

總豫備隊ヲ檜村ヨリ其南方地區ニ展開シ荒川村ニ向ツテ攻撃ニ轉セントス。

### 問 題

攻勢移轉ニ於ケル總豫備隊ノ展開

右答解ニ關スル講評及意見

諸君ノ作業ハ種々ニ別レタルモ概シテ笠木ト荒川村トノ中間ニテ中隊ニ展開シ若クハ散開シ甚シキハ荒川村東端ニ於テ始メテ散開スルアリ而シテ展開セシ正面ハ木呂ヨリ長松村北端ニ亘ル線上若クハ新屋敷ノ北方ニ亘ルアリ何レ

防禦、防守正面ニ於ケル配備



モ現時ノ狀況ヲ熟考シタル作業ニアラズシテ單ニ隊票ヲ方眼紙上ニ羅列シタルト言フニ過キザルナリ。

夫レ敵ノ第一線ハ小寺南方鐵道附近ヨリ榎戸村東方ヲ經テ青野村ノ北方ニ亘リ今ヤ濃密ナル散兵線ヲ以テ逐次前進シツツアルナリ而シテ敵ノ豫備隊トモ思ハルベキ部隊ノ綾戸村西南側ニ位置シアリシハ今ヨリ十數分前ノ事ニシテ目下何レノ方面ニ運動シアルヤ知ルベカラザルナリ若シ此部隊ガ綾戸ノ南側ヨリ荒川村ニ向ツテ前進シ來ランカ恐ラク我ニ先シテ其ノ東端ニ顯出スルニ至ルベシ狀勢斯ノ如キヲ以テ我展開ハ力メテ迅速ヲ要スルト同時ニ極メテ慎重ニ實施セザルベカラズ詳言セバ既ニ展開セル敵ノ制下ニ在リテ展開スルガ如キコトナク又我展開區處ガ展開セル敵ニ對シテ不利ニ陥ルコトナカラシムルヲ要スルコト是レナリ。

夫レ展開ヲ區處スルニ就テ前述ノ要求ヲ充タサントスルニハ先ツ將校斥候ノ報告セシ所ノ敵ノ豫備隊トモ思ハルベキ部隊ノ行動スベキ方面ヲ研究スルコト必要ナルベシ。

敵ノ豫備隊ト思ハルベキ部隊ガ目下何レノ方面ニ運動シアルヤ又何レノ方面ニ展開スルノ企圖ヲ有スルヤハ彼レガ現出シタル後ニアラザレハ知ル能ハザルナリ然レドモ荒川村方面ニ來ルト考察スルハ之ヲ不當ト論ズルヲ得ザルベシ何トナレバ精練ノ歩兵ニシテ現時ノ火器ヲ利用セバ正面ハ他ノ援助ヲ假ラズトモ鞏固ナルヲ以テ他ニ特別ノ理由アルニアラザレバ一翼ニ攻撃ノ重點ヲ向クルヲ利トスルハ現時兵家ノ唱道スル所ナレバナリ故ニ我總豫備隊ノ展開ハ敵ノ荒川方面ニ新正面ヲ作爲スベキヲ覺悟シテ之ニ對シテ有利ナル如ク展開セザルベカラザルナリ是余カ前ニ述ブル所ノ慎重ヲ要スト言ヘル所以ナリ若シ夫レ敵ノ豫備隊ニシテ中山道方面ニ於テ攻撃實行ニ移ルトセンカ縱令我總豫備隊ガ敵ノ荒川方面ニ新正面ヲ作爲スルヲ顧慮シテ展開セルモ決シテ困難ナル動作ヲ爲サスシテ敵ノ右翼ヲ包圍スルヲ得ベキナリ。

木呂附近ヨリ長松村北端ニ亘リ若クハ殆ンド鐵道線ト平行シテ展開セルア

防禦、防守正面ニ於ケル配備



リ、敵ノ後方部隊ガ矢道村方面ニ増加セントスル尙ホ後方部隊ヲ有スルコトヲ考ヘザルベカラズ然ルニ我一翼ヲ特ニ敵方ニ露出シ恰モ露出セル翼ヲ包圍セヨト敵ニ依頼セシガ如シ無考ヘモ此ニ至リテ極ト言ハザルベカラズ殊ニ綾戸村北側ノ敵砲兵ヨリ縦射ヲ受クルアリ精練ナル軍隊モ安ソ成功スルヲ得ンヤ。

次ニ研究スベキハ歩兵ノ散開スベキ線ナリ抑モ散開ハ展開ノ最終ニ於ケルモノニシテ敵ノ射撃界外ニ於テ施行スベキモノナリ若シ夫レ敵ノ射撃界内ニ進入シテ散開センカ雷ニ敵火ノ爲メ損害ヲ受クルノ不利アルノミナラズ散開ニ際シ非常ノ混雜ヲ來シ秩序整然タル動作ヲ以テ實施スルヲ得ス從テ我欲スル方向ニ對シテ正面ヲ取ルコト一層困難トナルベシ凡ソ散開若クハ展開ハ最初所望ノ方向ヲ取ルベキコトヲ得ザレバ終ニ指揮官ノ意圖ノ如ク指揮スルヲ得ザルコトハ往々之レ有ルベキヲ思ヘバ散開ハ必ス敵ノ射撃界外ニ於テ施行セザルベカラザルコトヲ知ラルベシ而シテ我歩兵操典ニ示スル所ノ「散兵線ノ運

動ハ敵ノ射撃界外ニ在リテ秩序ト連繫トヲ保持シ其射撃界内ニ入ラバ努メテ捷路ヲ取ルベシ」ト謂フ原則ハ正シク之ヲ證明シテ餘リアルベシ然ラバ即チ縱令敵ノ散兵ガ荒川村東端ニ顯出シアラザルトスルモ其第一線部隊トノ關係上該村附近ニ既ニ展開シ在ルカ若クハ散開シテ前進シ來リツツアルベキヲ以テ我ハ少クモ檜村ノ線ニ於テ散開セザルヘカラザルナリ。

次キニ研究スベキハ旅團長ハ豫備隊ヲ貯存スルノ必要アルヤ否ヤ是レナリ抑モ歩兵旅團ハ歩兵ノ最大單位ナリ而シテ何處マテモ自己ノ兵力ヲ以テ戰況ノ變遷ニ應ジ戰鬪ノ結局ヲ有利ニ結バザルベカラザルナリ、歩兵操典、部隊戰鬪ノ部ニ旅團長ハ必要ニ應ジ豫備ヲ備フト言ヘルハ蓋シ必要ナクンバ豫備ヲ備フルコトナシト言ヒシニアラズ旅團ハ常ニ豫備ヲ備フルノ必要アルヲ意味セシト知ラルベシ、諸君ハ敵ノ攻撃部隊カ展開シタレバトテ其部隊ハ最初後方部隊ヲ有スルニアラズヤ我ニシテ一兵ノ豫備ヲ存セザレバ彼ニ由リテ生ズル所ノ戰況ノ變遷ヲ如何ニシテ料理スルヲ得ンヤ例令バ敵ガ我展開セル、正面ノ一



翼ヲ包圍スル如ク來ランカ此際之ニ對シテ防止シ得ベキモノハ一ニ此豫備隊ノ使用ニヨラザルベカラザルナリ之ヲ思ヘバ最初ヨリ不意ノ事變ニ備フベキ所ノ豫備ヲ有スルハ極テ緊要ナルベシ若シ聯隊ニシテ獨立センカ所謂不意ノ事變ニ備フベキ所ノ豫備ヲ必要トスルハ旅團ト異ナル所ナカルベシ然レドモ旅團内ニ於ケル聯隊ハ最初後方ニ部隊ヲ控置シアルモ不意ノ事變ニ備フルノ目的ニアラズシテ戰鬪ノ進捗ニ從ヒ戰鬪正面ヲ擴張スルコトニ使用セラレハ等シク之ヲ豫備ト稱セラルルモ其意義固ヨリ旅團ニ於ケルモノト異ナルモノナリ若シ夫レ聯隊ニシテ最初ヨリ三個大隊ヲ展開シ得ベキ狀況ナルカ若クハ必要トスル場合ニ在リテハ不十分ナル第一線ヲ成形シテマデ豫備ヲ控置スルハ恐ラク過失タルヲ免レザルベシ。

以上述ブル所ノ理由ニ基キ余ハ次ノ如ク展開セリ。

- 一、步兵第二聯隊長ニ其一大隊半ヲ指揮セシメ檜村南端ヨリ美濃街道附近ニ亘リ展開シ荒川村東端ニ向ツテ前進セシム。

- 二、步兵二中隊及工兵中隊ヲ豫備トシテ先ツ靜里西北端附近ニ位置セシメ爾後第一線ノ左翼後ヲ行進セシム。

- 三、騎兵聯隊ハ戰鬪ノ進捗ニ伴ヒ常ニ左側ニ在リテ警戒セシム。

### 三、 攻撃ノ目的ヲ有スル支隊ノ防禦配備

#### 想 定 (附圖第三參照)

大阪方向ヨリ前進シ來ル敵ニ對シ加太要塞包圍軍ノ背後ヲ掩護シ成シ得レハ之ヲ遠クニ擊攘スベキ任務ヲ有スル南軍一支隊ハ三月一日檜井村附近ヨリ堺ニ向ツテ小栗街道ヲ前進シ午前九時、前衛歩兵ノ先頭ヲ以テ作戈村ニ達ス但シ左側衛歩兵一中隊騎兵一分隊ハ紀州街道ヲ前進セリ。此時支隊長ハ左ノ狀報ニ接ス。

- 一、步兵五六大隊砲兵三中隊ヨリ成ル敵ノ縱隊ハ堺ヨリ前進シ午前八時四十分其先頭ヲ以テ舞村ヲ通過セリ又其一部ハ紀州街道ヲ前進シアルモノ

防禦、攻撃ノ目的ヲ有スル支隊ノ防禦配備



ノ如シ。

支隊ノ編組

司令官歩兵第一聯隊長 大佐某。

歩兵第一聯隊(機關銃六挺ヲ附屬ス)。

歩兵第二聯隊第一大隊。

騎兵第一聯隊第一中隊。

野戰砲兵第一聯隊第一大隊(第二中隊欠)。

工兵第一大隊第一中隊。

衛生隊二分一。

砲兵聯隊段列二小隊。

右狀況ニ基キ支隊長ハ此敵ニ對シ下松村附近ニ於テ防禦陣地ヲ占領スルニ決セリ。

問題

南軍支隊長ハ如何ニ防禦配備ヲナスヤ。

右答解ニ關スル講評及意見

諸君カ研究セラレシ結果ハ其細部孰レモ千差萬別ニシテ毫モ一致スル所ナシト雖モ大體ヲ言ヘバ概ネ左ノ如ク種別サレ得ベシ。

一、田次米村ヨリ大町村ヲ經テ下池田村ニ亘ルモノ

二、田次米村ヨリ池尻村ヲ經テ額原村ニ亘ルモノ

三、久米田池ニ右翼ヲ托シ獨立標高四四、四高地ヲ經テ額原村ニ亘ルモノ。

四、尾生村西方ノ高地ヨリ下松村ニ亘ルモノ。

而シテ總豫備隊ハ之ヲ陣地ノ中央後若クハ一翼後ニ置ケリ。

本問題ハ支隊長ノ決心ヲ答解スルニアラズシテ其決心ニ由リテ起ルベキ配備法ヲ研究セシニ過ギザルナリ故ニ先ヅ防禦正面ヲ何レニ取ルヤニ就テ考究スルノ必要アルベシ而シテ之ガ研究ハ即チ春木川ノ右岸ニ取ルベキヤ將タ左岸ニ選擇スベキヤハ一ニ狀況ト地形トニ因ラズンバアルベカラズ。

防禦、攻撃ノ目的ヲ有スル支隊ノ防禦配備



夫レ敵ハ午前八時四十分其歩兵先頭ヲ以テ舞村ヲ通過シタルヲ以テ午前九時即チ我支隊ガ前衛歩兵ノ先頭ヲ以テ作戈村ニ到着セシ時ハ敵ノ歩兵先頭南王子村附近ニ來ルベキ筈ナルヲ以テ此時既ニ彼我相距ルコト僅ニ一里半ニ過キザルナリ、是ヨリ更ニ進ンデ大町附近ニ到ランカ敵ノ先頭モ亦井口村附近ニ達スベシ即チ彼我ノ巨離僅ニ二吉米ナルベシ此ノ如ク彼我互ニ接近シ而シテ茲ニ防禦陣地ヲ構成セントスルガ如キハ果シテ成シ得ベキヤ否ヤ最早慢然トシテ防禦設備ヲ爲スベキノ機ニアラズシテ所謂遭遇戰ノ特質ニ從テ戰鬪ヲ實行スルノ外、他ニ手段ナカルベキナリ夫レ然リ然ルニ支隊長ハ彼我ノ兵力ト自己ノ任務トニ因テ斯ル大膽ナル行爲ヲ避ケ慎重ナル考察ヲ以テ防禦陣地ヲ占領スルニ決心セリ故ニ成ルベク近キ位置ニ於テ成ルベク多クノ時間ヲ得テ鞏固ナル陣地ヲ構成シ以テ兵力ノ劣勢ヲ補ヒ茲ニ斷乎タル決心ヲ以テ攻勢ニ移轉スルノ意思ヲ貫徹セザルベカラザルナリ之ガ爲メニハ先ツ攻勢ニ移轉スベキ總豫備隊ガ有利ニ展開シ得ベキ所謂攻戰地帯ヲ有スルト同時ニ成ルベク總豫

備隊ノ兵力ヲ衆多ナラシムル爲メ防守正面ノ鞏固ナルベキ陣地ヲ求メザルベカラザルナリ此要求ヲ現狀ノ範圍内ニ於テ充タサントセバ蓋シ尾生村西方高地ヨリ下松村ニ亘ル線ヲ占領スルヲ適當ト、ストノ斷案ヲ得ラルベシ。

抑モ現狀ノ範圍ヨリ論ジ既ニ春木川右岸ノ地區ニ出ルノ不得策ナルコトヲ述ベシト雖モ茲ニ現狀ヲ顧慮スルコトナク、換言セバ敵ハ尙ホ遠クシテ春木川右岸ノ地區ニ防禦設備ヲ爲シ得ルモノトシテ該地區ヲ研究スルハ決シテ無用ニアラザルナリ否、寧ロ諸君ノ爲セル作業ニ對シテ詳細ヲ論述スルヲ以テ特ニ利益ナルヲ信ズルナリ。

夫レ春木川右岸ノ地區タルヤ田次米村西側ヲ流ルル河川ノ兩岸ニ存スル竹叢等ノ爲メ前地ノ展望ヲ遮蔽セラレ且ツ内部ハ久米田ノ爲メ展開地域ヲ減少セラレアリ之ニ加フルニ池尻村、大町村及下池田村若クハ額原村ノ如キ各部落ハ甚タ不規則ニ配置セラレ之ガ爲メ軍隊ノ配備ヲシテ各部ニ甚シキ不利ヲ生ゼシム則チ田次米村ヨリ池尻村ヲ經テ額原村ニ亘ル線ヲ占領センカ田次米村



ハ其西側ヲ流ルル河川ノ爲メ殆ンド孤立シ殊ニ兩岸ニ存スル竹叢ハ彼此ノ通視ヲ害シ連絡極テ不便ナリ人或ハ言ハン防守正面ニ於テ射界不充分若クハ展望交通不便ナルニ從ヒ地區ノ幅ヲ減ズルカ若クハ地區ノ數ヲ増加スベキヲ以テ是等ヲ顧慮スルヲ要セズト然リ凡ソ陣地ニ於テ各部共ニ缺點ナキガ如キ善良ナルコトハ決シテ望ムベカラザルモノナリ然レドモ若シ其近傍ニ於テ比較的良好ナレバ之ヲ選取セザルベカラザルコトハ更ニ言フヲ要セザル事ナリ而シテ地區ノ數ヲ増加スルガ如キハ守備ノ兵力ヲ増加スルノ意ニシテ斯ル所ヲ選擇スルハ即チ好デ防守正面ニ使用スル兵力ヲ増加シ以テ總豫備隊ノ兵力ヲ減少スルニ過ギザルナリ防禦一般ノ原則トシテ採用スベカラザルコトナルベシ若シ夫レ強テ前述ノ如ク右翼ヲ田次米村ニ托スルトセンカ敵ノ攻撃ニ對シ十分ノ抵抗力ヲ有セシメザルベカラズ之ガ爲メニハ比較的強大ノ兵力ヲ配備セザルベカラザルヲ以テ池尻村若クハ額原村方面ノ兵力ヲ缺クニ至ラザレハ總豫備隊ノ兵力ヲ減少セザルベカラザルナリ而シテ池尻村若クハ額原村方

面ノ兵力ヲ缺クハ甚タ嫌フ所ナリ何トナレハ此方面ハ大町村下池田村及小松里村ニ由リテ射界ヲ制限セラレ特ニ防守正面ニ必要ナル遠クヨリ火力ヲ以テ敵ヲ制スルノ要件ヲ缺如シアレバナリ。

若シ田次米村ヲ放棄センカ之ガ爲メ池尻村方面ハ側射ヲ受クルノミナラズ我右側背ヲ脅威セララルルニ至ル、斯ク研究シ來ラハ此線ハ支隊ノ陣地トシテ取ルベキモノニアラザルヲ知ルベシ。

若シ夫レ池尻村ヨリ大町村ヲ經テ下池田村ニ亘リ占領センカ此線ニ於ケル田次米村ト池尻村トノ關係ハ前述ト異ナルコトナク且ツ池尻村ハ大町村ニ對シテ頗ル引退シアルヲ以テ爲メニ大町村ヲ薄弱ナラシメ殊ニ大町村ハ西大路村及墓路村東南端附近ヨリ最モ猛烈ナル斜射若クハ側射ヲ受クヘキヲ以テ我ハ其火力ノ爲メ恐ラク短時間ニ於テ制壓セララルルニ至ルベシ而シテ此部ニ受ケシ打擊ハ引テ全線ニ及スコト大ナルベシ何トナレハ支隊ノ退路ニ關シ最モ緊要ナル方面ナレバナリ。



人或ハ言ハン陣地ハ至ル處決シテ其強度チ一ニセズ、或部分ハ強クシテ或ル部分ハ弱シ其薄弱ナル部分ハ人工ト配備トナリテ之ヲ補ヒ得ルモノナリ故ニ下町村方面ノ如キモ其正面ニ比シテ衆多ノ兵力ヲ充ツレハ其薄弱ヲ補ヒ得ベキナリト、實ニ然リ步兵操典モ明カニ斯カル原則ヲ教示セリ曰ク「陣地ノ各部ハ同一ノ價值ヲ有スルコト稀ナルガ故ニ其缺點ハ兵力ノ分配及工事ノ施設ニ依リ之ヲ補ハザルベカラス」ト然レドモ之ヲ補ハント欲シ衆多ノ兵力ヲ使用センカ之ガ爲メニ總豫備隊ノ兵力ヲ減少スルニ至ルベシ是レ陣地ノ選定其當ヲ得タルモノニアラザルベシ何トナレバ操典ハ吾人ニ此事ヲ教訓セリ曰ク「陣地ノ選定宜シキヲ得、工事ノ施設軍隊ノ配置共ニ適當ナルニ從ヒ守備ニ充ツベキ兵力愈々節約セラレ攻勢移轉ニ供用スベキ總豫備隊益々強大トナリ以テ勝利ノ基礎ヲ確實ニスルモノトス」ト之ヲ要スルニ西大路村ト春木川トノ中間地區ハ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ使用スルモ防禦陣地ニ要求スル所ノ主要ナル條件ハ殆ト之ヲ具備セス殊ニ射界ヲ有スル砲兵陣地ヲ缺除ス、此ノ如キ不利

多キ陣地ヲ強テ鞏固ニ守備セントセバ第一線ノ兵力ヲ強大ニシテ攻勢移轉ニ供用スル所ノ總豫備隊ノ兵力ヲ減少セザルベカラズ從テ勝利ノ基礎極メテ不確實トナルベシ是レ支隊ノ目的ニ合セザル所ナリ。

人或ハ言ハン本支隊ノ任務ハ必ズシモ攻撃ノ性質ヲ有セズ其敵ヲ擊攘セヨトハ擊攘シ得ベキ程度ノ敵ニ對スルトキニ於テ然ルノミ既ニ優勢ナル敵ニ對センカ包圍軍ノ背後ヲ掩護スレバ足レルナリ、當日ノ狀況ニ在リテ強テ擊攘ノ處置ヲ遂行セント欲スルハ一六的冒險ナリ一種ノ好奇心ニ驅ラレシニ過キザルベシト、噫是レ何ノ言ゾヤ我兵力僅ニ敵ニ劣ルチ以テ持久的防禦ヲナサザルベカラザルモノトセンカ戰術ノ範圍極テ狹小ニシテ研究ノ價值殆ンド之レナカルベシ何トナレバ劣勢ノ兵力モ巧妙ナル運用ニ由リテ之ヲ優勢ニ使用シ得レバコソ古來之ガ研究ニ餘念ナキ所以ナレバナリ。

抑モ包圍軍ノ背後ヲ掩護スルノ任務ヲ絕對ニ達セント欲セハ之ニ妨害ヲ與フベキ敵ヲ擊攘スルニアルハ明瞭ナル理論ナルベシ蓋シ持久戰鬥ヲ以テ掩護ヲ



爲サントスルハ所謂消極的ニシテ或ル一定ノ時間敵ノ企圖ヲ防害スルニ過キザルナリ然ルニ包圍軍背後ノ掩護ハ幾日ヲ以テ之ガ責任解除トナルベキヤ實ニ知ルベカラザルナリ徒ラニ持久ヲ主トセシカ終ニ包圍軍ノ背後ヲ壓迫セラシルニ至ルベシ夫レ支隊ノ兵力ハ僅ニ敵ニ劣ルニ過キザルナリ、此劣レル部分ハ地形ト人工ヲ以テセル工事トニ依リテ補ハルベシ安ソ持久戦闘ヲナスヲ要センヤ元來擊攘ナル事ハ攻撃ニ由リテ始メテ達シ得ルモノナリ、劣勢ナル兵力ヲ以テ擊攘ノ目的ヲ達セントスレバユソ茲ニ防禦ノ處置ヲ取ルノミ攻防何レヲモ取り得ベキモノナランカ必ス攻勢ヲ取ラザルベカラザルナリ凡ソ自己ノ處置ヲ決スルハ任務ヲ基礎トセザルベカラズ敵狀ノ如キハ常ニ明確ナルモノニアラズ殊ニ其兵力ノ如キハ戦闘後ニ於テモ尙ホ確知シ得ラレザルコト往々之レアリシ。

目下ニ於ケル狀況ト下松村附近ニ於ケル地形トニ由リ支隊ガ所謂攻勢的防禦ニ出デシハ極メテ慎重ナル處置ニシテ決シテ一六的冒險ニアラザルナリ尙ホ

又一種ノ好奇心ニ驅ラレシニアラザルナリ現時ノ狀況ニ應ジ自己ノ任務カ正シク要求セラレタル所ノ處置爾カモ注意深ク且ツ毅然トシテ動カスベカラザル意思ニ由リテ決セラレタルモノナリ。

支隊長ハ以上述アルガ如キ堅確ナル意思ヲ有セリ而シテ此意思ニ從テ陣地ヲ選定センカ恐ラク尾生村西方高地ヨリ下松村ニ亘ル線ヲ措テ之ヲ他ニ求ムベカラザルベシ然レトモ此陣地モ決シテ善良ト稱スベキモノニアラザルナリ各部固ヨリ缺點アルベシ然レドモ是等ノ缺點ハ兵力ノ分配及工事ノ施設ニ依リテ其大部分ヲ治癒セラレテ支隊長ノ要求ヲ充タスヲ得ラルベシ而シテ之レカ治癒ノ方法ヲ研究スルニハ先ツ陣地各部ノ利害ヲ考察セザルベカラザルヲ以テ余ハ茲ニ之ヲ詳述セント欲スルナリ。

春木川右岸ノ地區ハ諸部落點在スト雖モ我陣地ノ一部タル尾生村西方高地ニ對シ一般ニ敞開セルヲ以テ早クヨリ敵ノ運動若クハ其企圖ヲ察知シ得ラルルハ本陣地獨特ノ利益ナリ然レドモ小栗街道ニ接セル額原村ト久米田池トノ中



間地區ハ部落及小森林ノ爲メ敵ノ近接動作ヲ容易ナラシムルノミナラズ額原村及其東方高地ハ尾生村西方高地ニ近ク之加モ之ニ對シテ有利ノ據點ヲ成形シアルヲ以テ敵ハ此利益ニ由リテ我正面殊ニ尾生村西方高地ニ對シ其火力ヲ發揚シ得ラルベシ何トナレバ尾生村西方高地ハ數個ノ凸稜ヨリ成リ而シテ各凸稜ハ共ニ正面ノ地幅ヲ制限シアリ且ツ其東方ハ直ニ低谷トナリ地形上其前地タル久米田池西方高地ニ對シ十分ナル兵力ヲ配置シ得ザルナリ是レ此高地カ其前方地區ニ由リテ致サル所ノ不利ニシテ鞏固ナル工事ノ施設ニ依ルノ外他ニ之ヲ補フベキ手段ナカルベシ若シ夫レ此方面ニ衆多ノ兵力ヲ配置以テシ消耗ニ對スル補充ヲ豊富ナラシメンカ愈々抵抗力ヲ保持シ得ヘシト雖モ之ガ爲メ總豫備隊ノ兵力ヲ減少セザルベカラズ否ラザレバ下松方面ニ於ケル守備兵ヲ減少セザルベカラザルナリ然ルニ此方面ニ於ケル兵力ハ寧口之ヲ多クスルモ決シテ減少シ得ザルナリ。

夫レ下松村ハ其東南方墓地附近ト相待テ小栗街道方面ニ於ケル據點ニシテ適良ナル正面ヲ有セリ而シテ額原村附近並ニ同村ト久米田池トノ間ニ於テスル敵ノ攻撃前進ニ對シ有利ナル配備ヲ爲スコトヲ得ルト同時ニ敵モ亦十分ノ兵力ヲ展開スベキ餘地ヲ有シ殊ニ此方面ハ尾生村西方高地ニ於ケルガ如ク其直前ニ深キ低谷ヲ控ヘザルヲ以テ敵ノ攻撃方面トナルベキ公算最モ大ナルベシ且ツ此方面ニシテ薄弱ナランカ春木川右岸地區ヲ詳論セシ際述ベシ所ノ下町村ニ於ケルト同一ノ不利ヲ呈シ之ガ爲メ總豫備隊ハ未ダ攻撃動作ニ着手セザル以前ニ於テ其若干ヲ此方面ニ吸引セラルルニ至ルノ虞レアルベシ是ヲ以テ尾生村西方高地ノ兵力ヲ單ニ之ヲ保持シ得ベキ最少限トスルモ決シテ下松村方面ニ於ケル守備兵ヲ減ズベカラザルナリ。

人或ハ言ハン尾生村西方高地ニシテ一たび敵ニ奪取セラレンカ縱令下松村方面ガ強固ニ保持セラルルモ何等ノ効ナカルベシ敵ハ漸次高地ヨリ我背後ニ壓迫シ來ルヲ以テ我ハ速ニ引退スルニアラザレバ全力ヲ一舉ニ盡滅セラルルニ至ルベシ故ニ尾生村西方高地ハ陣地ノ鎖鑰ニシテ決シテ之ヲ保持シ得ベキ最

防禦、攻撃ノ目的ヲ有スル支隊ノ防禦配備



少限ノ兵力ニテ安心スベキニアラザルナリ故ニ萬一ヲ顧慮シ總豫備隊ヲ此方面ニ置クベキナリト、試ニ地圖ヲ熟覽セヨ尾生村西方高地ニ於ケル内部ガ總豫備隊ヲシテ適時適處ニ展開スベキ運動ノ自由ヲ許スヤ否ヤ而シテ又此方面ヨリ何レニ向ツテ攻撃ニ轉セントスルヤ或ハ思ハシテ其主力ヲ以テ小栗街道方面ニ攻撃シ來ルト否トヲ問ハズ我ハ尾生村方面ヨリ敵ノ左翼ニ向ツテ出撃セント、然レドモ敵ハ直ニ其據點タルベキ久米田池西方高地ヲ放棄スルコトナカルベシ而シテ我出撃部隊ヲ瞰制スルノ利益ヲ保持シ極力之ヲ固守セシカ我猛烈ナル攻撃モ茲ニ一頓挫ヲ來サザルベカラザルニ至ルベシ此際敵ハ主力ヲ以テ小栗街道方面ニ壓迫シ來ランカ我狀態果シテ如何ゾヤ蓋シ彼此ノ地形ヲ觀察セバ自ラ明瞭ナルベシ若シ又我ノ未タ出撃セザルニ先タチ敵ノ主力ガ小栗街道方面ニ壓迫シ來リシトセンカ果シテ總豫備隊カ適當ノ時期ニ之ヲ赴援シ得ルヤ否ヤ是レ亦實ニ覺束ナカルベシ斯ル不利ノ位置ニ勝利ノ基礎タル總豫備隊ヲ置クガ如キハ過失ト言フヲ憚ラザルナリ然ラバ則チ尾生西方

高地ハ容易ニ之ヲ敵ニ委スベキモノナルヤ決シテ然ラザルナリ夫レ高地ハ高地ダケ平地ニ比シテ鞏固ナルベシ而シテ該高地ハ漸次内方ニ高起スルヲ以テ假令高地ノ縁端ヲ失フモ逐次其後方ニ於テ敵ノ動作ニ抵抗シ得ルノ利アリ是レ敵ガ如何ニ優勢ナル兵力ヲ有スルモ一タビ此高地ニ登ランカ其使用セラレ得ベキ兵力ハ各凸稜ノ正面幅内ニ擴カルモノノ外、火力ヲ及ボス能ハザレバナリ此故ニ該高地ハ敵ノ優勢ナル火力ニ制壓セラレ縁端ヲ失ハザルベカラザルニ至レバ持久戦闘ヲ以テ逐次其抵抗ヲ保持センカ此敵ヲシテ直ニ下松村方面ニ於ケル我主力ノ背後ニ壓迫シ來ルノ動作ヲ困難ナラシムベキヲ以テ之ガ爲メ支隊ハ其企圖ヲ全然放棄セザルベカラザルガ如キ悲運ニ陥ルコトナカルベシ支隊長ノ斷乎タル決心ヲ以テ戰勢ヲ一變シ得ルハ蓋シ斯ル場合ナルベシ況ンヤ敵ニシテ尾生村西方高地ニ愈々衆多ノ兵力ヲ使用スルニ從ヒ我出撃ヲシテ益々容易ナラシムルニ於テナヤ。

次ニ春木川谷地ハ我陣地ニ關シ如何ナル價值ヲ有スルヤノ研究モ亦緊要缺グ



ベカラザル所ナリ何トナレバ此價值ノ如何ハ兵力分配ノ一素因タルベケレ  
 バナリ。

春木川ハ素ヨリ水源極テ近キ細流ニシテ且ツ下松村ヨリ上流ニ於ケル流域ハ  
 其傾斜急ナルガ爲メ水量常ニ多カラザルベシ而シテ諸兵種殊ニ歩兵ノ徒涉ヲ  
 困難ナラシムベキ水深ヲ有セザルベシト雖モ敵ノ攻撃前進ニ對シテハ多少ノ  
 障碍ヲナスベク殊ニ其前進ニ際シテ下降セル斜面ニ於テ至大ノ目標ヲ長キ間我  
 ニ曝露セザルベカラズ若シ之ヲ我熾盛ナル銃砲火ノ下ニ置クヲ得ンカ障碍ノ  
 威力一層強大ニシテ之ガ爲メ尾生村西方ノ高地ニ於ケル不利ノ點ヲ多少補ヒ  
 得ルノミナラズ此際我ニ出撃ノ好機ヲ誘起セラルニ至ルコトアルベシ夫レ然  
 リ敵ノ攻撃前進ニ與フル障碍ノ威力ハ等シク我出撃部隊ニモ亦及ボサルベキ  
 ナリ以テ下松村上流ニ於ケル春木川谷地ハ之ヲ攻勢地帯ニ選用スルヲ得ザルナ  
 リ之ニ反シテ下松村下流ニ於ケル方面ハ殆ンド平地ニシテ彼我共ニ前者ニ於  
 ケルカ如キ不利ヲ呈スルコトナシ唯下松村西方ニ點在セル小池ハ我出撃部隊

ノ展開動作ヲ困難ナラシムルノ不利アリ然レトモ此不利ハ總豫備隊ヲ適當ニ  
 位置セシムルコトニ依リテ多少治癒スルヲ得ベシ。

以上各項ニ於テ詳述スル所ノ理論ハ正シク支隊ガ占領スベキ陣地ノ防守正面  
 及攻勢地帯ヲ決定スベキ素因ヲ擧テ餘ス所ナキヲ信スルナリ而シテ其防守正  
 面上ニ於ケル尾生村西方高地ハ其東側ノ地形ニ關シ特別ノ顧慮ヲ要スルコト  
 ナカルベシ(諸君ノ内敵ノ包圍ヲ受クルコトヲ虞レ新在家村南方約四百米ノ  
 凸稜ニ部隊ヲ出セシ者ノアリ)何トナレバ我高地ト二個山村地ノ高地トヲ隔  
 斷スル所ノ低谷ハ敵ヲシテ其射撃ノ威力範圍外ニ在ラシメ殊ニ三個山村地ノ  
 高地ハ小ナル起伏多ク且ツ水池及森林ノ點在スルアリテ頗ル錯雜ヲ極ム斯ル  
 地區内ニ衆多ノ兵力ヲ使用スルモ當ニ混雜ヲ以テ終ルニ過ギザルベシ若シ又  
 近ク我翼側ニ迫ラントセバ我瞰制下ニ在ル春木川谷地ニ來ラザルベカラズ且  
 ツ此運動ハ遠クヨリ我ニ曝露シアルヲ以テ縱令比較的衆多ノ兵力ヲ以テスル  
 モ我火力ノ及スベキ威力ニ依リ其企圖ヲ妨害シ得ベシ是故ニ此方面ハ豫備隊



ノ位置ニ遠ザカルト雖モ決シテ特別ナル側面掩護ヲ要セザルベシ。  
 次キニ本陣地ニ關シ我砲兵ノ使用ヲ研究セント欲ス夫レ砲兵ノ使用ハ往々其陣地ニ制限セラレ爲メニ緊要ナル方面ニ於ケル希望ヲ充足シ得ザルコトアリ本陣地ハ實ニ其一例ヲ示セリ而シテ此一例ヲ舉クルニ先タチ敵ノ砲兵陣地ヲ研究スルノ要アルベシ是レ戰鬪ノ初期ニ在リテハ彼我砲兵ノ對戰ヲ以テ主要ナル任務トナシアレバナリ。

夫レ敵ノ砲兵ハ小栗街道以東ノ我正面ニ對シテハ大町村ノ西方若クハ西南方ニ下松村方面ニ對シテハ小松里村ノ西方ニ於テ其陣地ヲ選定シ得ルノ外、一地ニ在リテ我全正面ニ對シ得ベキ陣地ヲ求ムル能ハザルベシ而シテ我レモ亦敵ノ全正面ニ對シ得ベキ陣地ヲ有セザルノミナラス前兩者ノ陣地ニ對スルモ十分ナル射界ヲ有セザルベシ諸君ハ之ヲ尾生村西方高地ニ選定セリト雖モ敵砲兵ヲ十分ニ射撃シ得ザルノミナラズ此ノ高地ハ殆ンド其邊端ニ出ツルニアラザレハ最も重要ナル正面前ノ地部ニ對シ最も大ナル死角ヲ生スベシ若シ之

ヲ邊端ニ近ク出サンカ最初ヨリ敵歩兵ノ有効射撃下ニ在ラザルベカラザルヲ以テ高地上何レノ部分ニモ我要求ヲ充スベキ陣地ヲ求ムル能ハザルナリ斯ノ如キ場合ニ在リテハ寧ロ一部ノ要求ヲ放棄シ陣地中ノ薄弱部ヲ補フヲ以テ満足セザルベカラザルナリ是ヲ以テ我砲兵ハ尾生村西方高地ノ其前方地區ニ對スル不利ヲ補ヒ且ツ此方面ニ於ケル敵ノ攻撃前進ニ對シテ威大ナル障得力ヲ附與セシムル爲メ額原村ト久米田池トノ中間地區並ニ春木川谷地ニ對シ十分ノ火力ヲ逞フシ尙ホ要スレバ僅少ノ動作ヲ以テ額原村、下松村間ノ北部ヲ射撃シ得ベカラシムベキ考案ヲ取ルヲ以テ本陣地ニ於ケル砲兵ノ使用ニ満足セザルベカラザルナリ而シテ此要求ヲ充スベキ陣地ハ下松村ノ南方ニ於テ之ヲ求メ得ルノ外、他ニ適當ナルモノヲ發見シ得ザルナリ。

次ニ起ルベキ問題ハ本陣地ニ於ケル機關銃ノ使用是レナリ元來機關銃ハ防禦ニ在リテモ最初之ヲ第一線ニ配置シテ一定ノ任務ヲ負擔セシムルコトハ成ルベク之ヲ避ケ通常先ツ後方適宜ノ地ニ控置シ必要ニ應シ脅威セラレタル方面



ノ應援及突撃ノ防止ニ使用セラルルモノトセリ是レ機關銃ハ持久火戰ニ適セザルコト及一定ノ位置ニ固着セシメバ運動性ノ利益ヲ放棄スルコト、換言セバ適時適所ニ於テ其射撃能力ヲ發揮セシムルノ要件ヲ幾分カ奪ヒ去ルヲ以テナリ然レドモ之ヲ防守正面ニ使用スルニ際シテハ往々最初ヨリ銃隊ヲ分割シテ一地區ノ守備隊ニ附スルコト屢々之レアルベシ則チ本陣地ハ明ニ其一例ヲ示セリ。

既ニ述ベシ春木川谷地ハ尾生村西方高地前ニ對シテ其最低部ニ死角ヲ生ズルハ實ニ免ルベカラザル所ナリ此死角ヲ消去スルハ機關銃ノ最モ得意トスル所ナラザルベカラズ是レ自己カ占領スベキ地域ハ最モ狹小ニシテ爾モ敵ニ與フベキ火力頗ル熾盛ナレバナリ故ニ之ヲ尾生村西南端ニ布置センカ能ク其目的ヲ達スルノミナラズ敵ノ其斜面ヲ降下スルコトヲ最モ困難ナラシムベシ尙ホ又下松村東北端ニ布置センカ額原村南端及小栗街道ノ上流及下流(尾生村ヨリ火力ヲ及ボシ得ザル地域)ニ於ケル春木川谷地ヲ縱射シ其流水ト相待テ敵

ノ前進ニ大ナル障碍ノ威力ヲ與フルヲ得ベシ。

歩兵操典ニ曰ク「敵ノ接近スベキ道路ヲ扼守シ若クハ陣地前ニ於ケル狹隘ヲ掃射セシムル等ノ場合ニ在リテハ最初ヨリ陣地ニ就カシムルコトアルベシ」又曰ク「各集團工事ノ兩側又ハ凸出部ニ機關銃ヲ配置スルトキハ比隣ノ空隙ヲ掃射シ若クハ戰鬪線前ノ死角ヲ側防スルニ便ナリ」ト是等兩項ノ意義ヲ味ヘバ前述ノ如キ場合ニ在リテハ之ニ一定ノ任務ヲ與ヘ最初ヨリ陣地ニ就カシメ置クノ利益アルコトハ確ニ認メラレアルヲ知ラルベシ。

余ハ既ニ陣地ノ各部並ニ陣地ニ關シ砲兵及機關銃ノ使用ヲ論述セリ而シテ殘ス所ハ主兵タル歩兵ノ分配是ナリ以下之ヲ陳述セント欲ス。

精練ナル歩兵ヲ比較的淺薄ニ配備スルモ其正面ノ堅固ナルコトハ歩兵操典ノ認ムル所ナリ故ニ防守正面ニ充ツベキ兵力ハ之ヲ至少ノ數ニ減ズルヲ可トスベシ而シテ之ヲ如何ナル程度マデ減少シ得ベキヤハ宜シク先ツ防禦陣地ヲ上述ノ如ク至細ニ研究シ以テ次ノ問題ヲ答解スベキナリ所謂正面ノ堅固ヲ保チ



得ベキ最少限ノ兵數ハ之ヲ幾何トナスベキヤ又決戦ヲ斷行スルニハ總豫備隊ノ兵力ハ幾何ヲ要スルヤ是レナリ而シテ天然ノ地形良好ナルト工事ノ施設完全ナルニ從ヒ愈々少數ノ兵力ヲ以テ正面ノ堅固ヲ保タルベシ人或ハ思ハン歩兵一中隊ノ占領スベキ正面幅ハ百五十米以内ナラデハ操典ノ言フ如キ正面ノ強度ヲ保ツ能ハザルベシト若シ夫レ斯ノ如ク思惟スル者アラシカ是レ誤解ナリ操典ニ示ス所ノ百五十米ナルモノハ攻撃正面ニ於ケル中隊ノ取ルベキ幅ニシテ攻撃正面ニアラザル中隊ハ之レヨリ以上ノ幅ヲ取ルモ妨ケナキナリ況ンヤ防禦ニ於テチヤ而シテ其取り得ル正面幅ハ地形並ニ工事施設ノ景況ニ由リ自ラ異ナル所アルベキモ中隊ヲシテ二百乃至三百米ノ正面幅ヲ負擔セシムルニアラザレバ防禦ノ効之レ無シト謂ハザルベカラザルナリ、是ヲ以テ歩兵二大隊及機關銃四挺ヲ以テ防守正面ニ充ツレバ正面ノ堅固得テ保持セラルベシ、又防守正面ハ之ヲ數地區ニ區分シ建制部隊ヲ以テ之レガ守備ヲナサシメザルベカラス而シテ一地區ノ廣サヲ決定スルハ一ニ地形ニ由ルモノニシテ射界有

利ナル地形ニアリテハ此廣サハ比較的大ナルヲ得ベシ若シ射界不良ニシテ敵ガ蔭蔽シテ近ク接近シ得ベキ地形ニ在リテハ地區ヲ狹隘ニシ多數ノ兵ヲ以テ守備スベキモノトス、又陣地内ノ交通及展望ノ困難ナルニ從ヒ一指揮官ノ指揮確實ナラザルカ若クハ全ク及バザルヲ以テ之ヲ數個ニ區分スルヲ要スルニ至ルベシ操典ノ所謂射界不良ナルトキハ地區ノ幅員ヲ小ニシテ陣地内ノ交通及展望困難ナルニ從ヒ地區ノ數ヲ増加ストハ是レヲ之レ言フナリ。

夫レ尾生村西方高地及下松村方面ハ共ニ其射界固ヨリ不良ナルニアラザルベシ然レドモ彼此ノ交通ハ固ヨリ困難ナルベシ而シテ尾生村西方ノ高地及下松村方面ハ共ニ各一ノ指揮官ニ依リテ指揮セラレ得ベキヲ以テ陣地ヲ二地區ニ分ツテ以テ足レリトスベシ而シテ各地區ハ共ニ射界ノ形況ニ關シ步兵大隊ノ負擔スベキ適良ナル正面ヲ成形シアルベシ、下松村西方地區ノ攻勢地帯ナルコトハ已ニ之ヲ述ベタルヲ以テ總豫備隊ノ位置スベキ方面ニ關シ更ニ之ヲ論スルノ要ナカルベシト雖モ尙ホ茲ニ其位置並ニ隊形ニ就テ研究スル所アラン



ト欲スルナリ。

夫レ總豫備隊ハ其兵力大ナルニ從ヒ愈々遠ク側方ニ位置セシメザルベカラズ蓋シ之ニ依リテ益々自由ニ攻撃地帯ヲ保有シ且ツ同時ニ敵ノ外翼又ハ側面ヲ包圍シ得ベケレバナリトハ操典ノ示ス所ナリ實ニ然リ而シテ總豫備隊ノ側方ニ取ルベキ間隔ハ出撃部隊ノ十分ニ展開シ得ベク此際其内翼ハ正面兵ノ外翼ト正ニ相觸レテ進ミ而シテ正面兵ノ火線内ニ溢入セザルヲ最小限トスベシ又之ヲ要スルニ出撃ハ實際攻撃者ノ側面ヲ突キ得ル如クナルヲ要ス故ニ總豫備隊ノ位置ハ十分側方ニ離レザルベカラズ若シ其位置近キニ失スレバ敵ノ包圍中ノ物トナリ純然タル防支ニ陥ルノ虞レアリ然レドモ甚シク遠キニ失スレバ其戰鬪加入能ク機會ニ投スルヲ必スベカラズ且ツ之ニ向ツテ進ミシ總豫備隊ハ却テ防守正面ヨリ分斷セラレ孤立シテ擊破セラル、ノ虞レアリ。

諸テ總豫備隊蔭蔽セル位置ニ在ル間ハ準備ヲ整ヘテ集合シアラザルベカラズ然レドモ必スシモ一地ニ密集シアルヲ要セス或ハ地形ニ依リ數群トナルヲ可

トスルコトアリ之ヲ要スルニ行進方向及部署ヲ變換スルニ不便ナキヲ度トシカメテ地形ヲ利用シ以テ敵ニ對シ十分ニ蔭匿セザルベカラザルナリ若シ又要スレバ最初ヨリ戰鬪配置ヲ取ルモ可ナルベシ斯ノ如クセバ機ニ應ジ攻撃ニ轉ジ得ベキノ利アリ然レドモ地域ヲ領スルコト大ニシテ地物ニ蔭匿セラルルコト難ク且ツ行進方向及部署ヲ變スルコト困難ナリ唯既定ノ一方向ニ進ムヲ得ベキノミ故ニ狀況上妨ケナキトキニ限り此方法ニ依ルヲ得ベシ。

人或ハ言ハン攻勢移轉ハ必スシモ陣地ノ一側ヨリ起ルモノニアラズ敵カ我正面前近クニ於テ我火力ニ壓倒セラレシ際ニハ正面ヨリ進出セザルベカラズ故ニ總豫備隊ノ位置ヲシテ常ニ一側ニ在ラシメバ之ヲ必要ニ應シ正面ニ使用スル能ハサルノミナラズ適當ノ時機ニ正面ヨリ突進スルヲ能ハザルベシト若シ夫レ敵カ我防守正面前近クニ於テ我火力ノ爲メニ壓倒セラル、コトアリトセンカ此敵カ我正面前近クニ來リ得シハ如何ナル方法ヲ以テセシヤヲ疑ハサルベカラザルナリ由來攻者ハ其前進ノ時機ニ於テ常ニ防者ノ火力ニ優ルニア



ラザレハ其運動ヲ繼續スル能ハザルナリ既ニ優勢ナル火力ヲ以テ防者ヲ制壓シ得タルバコソ我正面近クニ接近シ得タルナリ而シテ其射撃ヤ歩一步近接スルニ從ヒ防者ニ及ボス効力大ナルベキヲ以テ防者ハ益々不利ノ状態ニ進ミツツ在ルベシ此故ニ攻者ハ多大ノ犠牲ヲ顧ミズ射撃ヲ無視シ暴進スルガ如キ極テ非戰術的ナル行動ヲ爲セシニアラザレハ我正面前近クニ於テ防者ガ射撃ヲ以テ攻者ヲ壓倒シ得ルコト無カルベキナリ、素ヨリ攻者ニシテ一時一步モ前進シ得サル状態アルベシト雖モ是レ防者ノ火力ニ壓倒セラレシニアラズシテ彼我ノ火力相均齊シタルニ過ギザルナリ此場合ニハ防者モ亦攻者ニ等シキ苦況ニ在ルベキヲ以テ決シテ進出スルガ如キコト能ハザルベシ假リニ防者ヲシテ進出シ得ベカラシムルトスルモ殊更ニ突進スルコトナク其優勢ナル火力ヲ益々發揚セシメ以テ總豫備隊ヲシテ我正面前ニ於テ苦況ニ浮沈シツツアル敵ノ一側ニ向ツテ攻撃セシムルヲ利アリトスベシ是故ニ防守正面ヨリ出撃スルカ如キハ極メテ不利ニシテ事實上稀有ナルベシ獨逸新操典ハ之ヲ示シテ曰ク

防者ハ進撃ヲ擊退シ且ツ火器ヲ利用セルトキ又ハ陣地前ニ於テ伏臥セザルニ至リタル敵ヲ驅逐スベキトキ始メテ正面ヨリ攻撃ニ轉スルヲ得ト其火器ヲ利用セルトハ追撃射撃ヲ爲シ終リタル時ニシテ最早射撃ヲ加フル能ハザル場合ニシテ、伏臥セザルニ至リタルトハ敵ノ銃劔ヲ振ツテ我陣地ニ進入シ來ルヲ意味セルニ外ナラザルナリ斯ノ如キ場合ニ在リテ自然ノ狀勢ガ突進セシメ得ルモノニシテ特ニ之ヲ誘起スルニアラザルベシ是レ同操典ハ特ニ過早ニ逆撃ヲ行フトキハ陣地ヲ失フニ至ルコトアルベシトノ誠言ヲ加ヘシ所以ナルベシ之ニ依リテ觀ルモ當初ノ計畫トシテ正面ヨリ攻撃ニ轉スルガ如キコト殆ンド之レナカルベキコト章々トシテ明カナルベシ。

夫レ總豫備隊ヲ防守正面ノ一側ニ置クベシト謂フ所以ノモノハ之ヲ防守正面内ニ使用スルニアラズシテ必ス之ヲシテ攻勢移轉ニ使用セシムベキモノナルコトヲ吾人ニ教ヘラレシコト明カナルベシ而シテ若シ之ヲ防守正面内ニ使用シ得ザルニ至ルコトアラシカ是レ當初ニ於ケル兵力分配ノ不適ナルヲ證スル



モノナルベシ是レニ由リテ之ヲ觀レバ地區ノ守備ニ充テラレタル軍隊ハ決シテ總豫備隊ノ應援ヲ受クルコトナク如何ニ優勢ナル敵ノ壓迫ヲ受クルモ自己ノ力ヲ以テ始終之ニ對シテ抵抗ヲ持續セザルベカラサルナリ而シテ抵抗スベキ敵兵力愈々優勢ナルニ從ヒ愈々苦況ニ陥ルモノニシテ又愈々總豫備隊ノ攻撃奏功ヲ容易ナラシメ得ルモノナリ而シテ總豫備隊モ亦決シテ之ヲ防守正面ニ使用セラルルコトナシ蓋シ防守正面ノ苦況ニ陥リシハ總豫備隊ノ攻撃ニ移ル時機ヲ示スモノニシテ決シテ之ニ赴援スベキモノニアラザルベシ之ヲ要スルニ總豫備隊ノ使用ハ攻勢移轉ニ存シ防守正面ノ守備隊ハ其負擔セル陣地ノ絶對的守備ニ存スルモノナリ故ニ總豫備隊ノ位置ハ決シテ之ヲ陣地ノ中央ニ選フベキモノニアラズシラ必ス之ヲ一側爾カモ攻撃展開ニ要スル地域ヲ有スル方面ナラザルベカラザルナリ。

以上ノ如ク十分ニ陣地ノ各部ニ關スル研究並ニ之ガ研究ニ由リテ生ゼシ配備等ヲ一々原則ニ照シテ考究シ來ラバ茲ニ始メテ支隊ノ防禦配備ナル問題ヲ答

解シ得ラルベシ余ハ次ノ如ク配備ス (附圖第三、参照)

一、歩兵第二聯隊第一大隊(機關銃二挺及傳騎六ヲ附ス) ナシテ久米田池ヨリ額原村ニ亘ル間ニ對シ尾生村西方ノ高地ヲ占領セシム。

此大隊ハ第一中隊ヲ以テ第一凸稜ヲ第二中隊ヲ以テ第二凸稜前方ニ於ケル死角ヲ成ルベク減スル如ク適宜前方ヲ占領シ步兵一小隊及機關銃二挺ヲシテ春木川谷地ヲ縱射セシムル目的ヲ以テ尾生村北端ヲ占領セシム。

他ノ一中隊及二小隊ハ地區豫備隊トシテ第一凸稜ノ東斜面ノ松林中ニ置ク尙ホ此大隊ヨリ有力ナル斥候ヲ新在家村方面ニ出シ右側前ヲ警戒セシメアリ。

二、歩兵第一聯隊第二大隊(機關銃二挺及傳騎四ヲ附ス) ナシテ額原村方面ニ對シテ墓地附近ヨリ下松村ニ亘リテ占領セシム。

此大隊ハ第五中隊ヲ以テ墓地ノ北端ヲ占領シ第六第七中隊ヲ以テ東部

防禦、攻撃ノ目的ヲ有スル支隊ノ防禦配備



下松村東北縁ニ沿フテ其北端ニ亘リ占領セシメ他ノ一中隊ヲ地區豫備トシテ東部下松村ノ無名寺院ノ南方乾田ニ位置セシム、尙ホ此大隊ヨリ斥候ヲ西ノ内村ニ出シ左翼ヲ警戒セシメアリ。

機關銃ヲ東部下松村東北角ヲ主トシテ春木川河谷ヲ縱射シ得ル如ク布置セシム。

三、砲兵大隊ハ圖上作戈村ノ戈字ヨリ西北ニ亘リ占線路附近ニ至ル間ニ陣地ヲ選定シ久米田池額原村間ノ地區ヲ射擊セシム尙ホ要スル場合ヲ顧慮シ額原村、下松村中間以北ヲ射擊シ得ル如ク作戈村東方無名祠附近ニ豫備肩塙ヲ構築シ置カシム。

四、歩兵第一聯隊第三大隊及同第二聯隊第一大隊(第四中隊欠)ヲ總豫備隊トシ別處村南方凹地ニテ獨立標高一八、三附近ニ位置セシム。

五、各部隊ハ各其陣地ニ工事ヲ施シ且ツ成シ得ル限り春木川ノ列樹ヲ伐截セシム殊ニ機關銃ハ敵歩兵ノ集團火ニ對シテ防護スルタメ爲シ得ル限り

掩蓋ヲ構築セシム。

六、工兵中隊ハ砲兵及歩兵ノ工事ヲ援助シ且ツ爲シ得レバ東部下松村ト小栗街道上作戈村ノ中間ニ存スル二三ノ宮屋ヲ破壊シ以テ砲兵ノ射擊ヲシテ便ナラシム、各作業終ラバ總豫備隊ノ位置ニ至ラシム。

七、騎兵ハ始メ前方ニ使用シ其壓迫ヲ受クルニ從ヒ主力ヲ以テ左側ニ一部ヲ以テ右側三田村方面ニ在リテ警戒セシム。

八、衛生隊ハ土生村西北端ニ繃帶場ヲ開設セシム。

九、砲兵聯隊段列ハ土生村南方凹地ニテ小栗街道ノ西側ニ位置セシム。

十、左側衛ハ紀洲街道ノ敵ニ對シ我右側ヲ掩護セシム

四、増援隊ノ來着ヲ期シタル支隊ノ防禦配備

想定

(二十萬分一、岐阜、名古屋及附圖第一參照)

敦賀灣ニ上陸セル敵ニ對シ成ルベク遠クニ於テ拒支シ爲シ得レバ之ヲ擊攘スベキ任務ヲ有スル東軍支隊ハ七尾村附近ニ於テ優勢ナル敵(歩兵約七大隊砲

防禦、増援隊ノ來着ヲ期シタル支隊ノ防禦配備



兵三中隊)ニ遭遇シ決戦ヲ避ケツツ三月二十日午前九時其本隊ノ先頭ヲ以テ相川村東端ニ達ス。

此時支隊長ハ左ノ狀報ニ接ス。

一、支隊ニ増加スベキ任務ヲ有スル歩兵第二聯隊(第一大隊欠)及野砲兵第一聯隊第三第四中隊工兵第二中隊第一小隊ハ名古屋附近ヨリ前進シ遅クモ本日午後一時頃ニハ荒川村ニ達スベシ。

二、敵ハ我後衛ニ追躡シ來リ午前八時三十分頃其先頭春照村ヲ通過セリ。

### 支隊ノ編組

司令官 歩兵第一旅團長 少將某。

歩兵第一聯隊(機關銃六挺ヲ附屬シアリ)。

歩兵第二聯隊(第一大隊)。

騎兵第一聯隊(第三中隊欠)。

野砲兵第一聯隊(第一大隊(第三中隊欠))。

工兵第一大隊(一中隊)。

衛生隊(二分一)。

砲兵聯隊(段列二小隊)。

右狀況ニ基キ支隊長ハ府中村附近ニ於テ陣地ヲ占領シ増加隊ノ來着ヲ待テ攻勢ニ轉スルニ決セリ。

### 問題

東軍支隊長ハ如何ナル配備ヲナスヤ。

右答解ニ關スル講評及意見

諸君ガ研究セラレシ結果ハ大體ニ於テ左ノ三種ニ歸着セララルベシ。

其一、府中村ノ南方ヨリ 同村西南端ヲ經テ新井村ニ亘ル(少數者ハ新井村東北獨立標高一三一、七ニ亘ル)ルモノ。

其二、垂井町ノ西端ヨリ府中村ヲ經テ新井村ニ亘ルモノ。

其三、垂井町西南方約千米ノ地點ヨリ垂井町、府中村ヲ經テ新井村ニ亘ル

防禦、増援隊ノ來着ヲ斯シタル支隊ノ防禦配備



以上三者ノ砲兵陣地ハ或ハ新井村東北方獨立標高一三二、七高地若クハ市之尾西方乾田或ハ市之尾南方高地若クハ府中ノ東南桑畑或ハ乾田中ニ撰定セリ。

其四、日守西南高地(百米曲線ノ閉鎖セルモノ)ヨリ日守西方及下町、岩手村

(河原)ヲ經テ菩提ノ東方ニ亘ルモノ。

其五、金蓮寺ヨリ下町ヲ經テ岩手村西端ニ亘リ若クハ其東北方高地ニ一部ヲ出セリ。

以上二者ハ砲兵陣地ヲ垂井町西北方乾田ニ撰定セリ。

以上各作業ハ旅團長ノ豫備ヲ孰レモ陣地ノ左翼若クハ右翼ニ配置セリ。

先ツ其五ヨリ意見ヲ述ベントス。偕テ此陣地ハ正面三千米餘ニ亘リ之加モ地形上支隊ノ兵力ニ比シテ正面過廣ナルヲ以テ到ル所薄弱トナルノミナラズ右翼ヲ敵ニ凸出シ奇モ亦頗ル奇ト稱スベキ占領ト謂ハザルベカラズ諸君ハ之ヲ以テ側面陣地ヲ成形シタル占領法トシテ得意トセラルルナラン夫レ或ハ然ラン

然レドモ之ヲ然ルト言フハ敵カ唯一條ノ中山道若クハ中山道方面ニ於ケル狹小ナル地區ニ由リテノミ我陣地前ニ顯出セザルベカラザルガ如キ状態ナル場合ニ限ルベシ蓋シ此場合ニ在リテハ我右翼頗ル鞏固ニシテ且ツ敵ノ展開ヲシテ頗ル不利ノ狀勢ニ歸セシメ以テ所謂側面陣地ノ利益ヲ獲取スルコトヲ得ラルベシ然レドモ苟モ至當ノ教育ヲ受ケタル指揮官ハ何カ爲メ我レノ不利ヲ殊更ニ有利ナラシムルガ如キ愚ヲ演ズルコトアランヤ伊吹西北一帶ノ高地ハ固ヨリ其運動困難ナルベシト雖モ茲ニ展開シテ岩手村前面ニ出ツルニ何程ノ時間ヲ要スベキヤ況ンヤ一タビ此前面ニ顯出センカ直ニ有効ナル小銃火ヲ以テ我ニ交戦シ得ルニ於テチヤ而シテ我ハ常ニ瞰制ヲ受ケ殊ニ右翼ノ據點トシテ依頼スル岩手村(河原)ノ西北端若クハ高地脚ノ部落ノ如キハ恐ク其西方高地脚ニ顯出スル敵ノ爲メ短少時間ニ於テ大打撃ヲ被ムルニ至ルベシ夫レ右翼ニシテ已ニ然リ、而シテ左翼モ亦薄弱ナルコト右翼ト選ブ所ナカルベシ素ヨリ左翼ハ後方ニ引退シアルタケ敵ノ打撃ヲ受クルコト遅カルベキモ相川村南方

防禦、増援隊ノ來着ヲ斯シタル支隊ノ防禦配備



高地ノ脚ヲ其森林ニ掩ハレ宮代村方面ニ前進シ來ラバ我府中村附近ニ在ル砲兵ハ勿論垂井町、下町間ノ歩兵モ大ナル損害ヲ與フルコトヲ得ズシテ直ニ左翼ニ近接セララルルニ至ルベシ。

以上述フル所ヲ約言セバ陣地ノ正面幅過廣ナルガ爲メ到ル處薄弱ニシテ突破セラレ易ク殊ニ兩翼共ニ其前方ニ對シテ危険ヲ成形セリ斯ル陣地ノ占領ヲ以テ増加隊ノ來着マデ優勢ノ敵ニ抵抗セント欲スルハ蓋シ南柯ノ一夢ニ過キザルベシ。

其四ハ前者ニ比シテ正面廣カラス右翼ハ敵ノ近接動作ヲシテ困難ナラシムルダケ多少鞏固ナルノ利アリ然レドモ其他ニ關シテハ毫モ前者ト選ブ所ナキナリ殊ニ其左翼ノ如キハ前者ヨリモ敵ノ近接ヲ容易ナラシメ且ツ制高ノ利ヲ敵ニ與ヘ頗ル不利ノ状態ヲ呈セリ作業者ノ垂井町ノ西端ニ支隊豫備トシテ歩兵一大隊ヲ貯存セルハ此不利ヲ補ハントセシニ外ナラザルベシ然レトモ此不利ハ如何ニシテ補ハルルヲ得ンヤ我左翼ノ破ルルニ際シテ豫備隊ガ日守附近ニ

展開スルモ制高ノ利ハ依然敵ニ歸シアリ若シ此不利ヲ避ケンガ爲メ左翼ノ兵力ヲ増加シ且ツ高地ニ延伸センカ之ガ爲メ本道方面ノ兵力ヲ減少スルニ至リ茲ニ突破セララルルノ虞レアルベシ。

是故ニ此陣地モ亦増加隊ノ來着マデ保持シ得ラルルコト實ニ覺東ナカルヘシ從テ之ガ選定ニ關シテノ否決ヲ與ヘザルヲ得ザルナリ。

其二、是レ亦正面幅三千米餘ニ亘リ地形上支隊ノ兵力ニ比シテ頗ル過廣ニシテ到ル所薄弱ナリ殊ニ支隊豫備ヲ垂井町方面ニ置キシモノハ爲メニ府中村方面ヲ薄弱ナラシメ之ニ反シテ府中村方面ニ貯存セシモノハ本道方面ヲ薄弱ナラシム尙本道方面ハ縱令豫備隊ヲ貯存スルモ敵ノ主力ガ高地ヨリ來ラハ我ハ常ニ制下セラレ且ツ府中村、垂井町ノ中間ニ置キシ砲兵ハ之ニ對シテ大ナル効果ヲ收ムルヲ得ザルノ不利アリ是レ主トシテ正面過廣ナルニ因リテ生スル害ニシテ陣地ノ選定其當ヲ得ザルヲ證シ得テ明カナリ。

其二ハ左翼ヲ垂井町ノ西端ニ止ムルダケ陣地ノ正面ハ狹カルベシ然レドモ之



ガ爲メ左翼ノ薄弱ハ毫モ癒スル所ナカルベシ否、寧ロ兵力ノ寡少ナルダケ薄弱ノ度ヲ増加スルモノナリ縱令支隊ノ豫備ヲ此方ニ控置スルモ前既ニ述ベシ地形ノ不利アルヲ以テ決シテ此薄弱ヲ補フヲ得ザルナリ故ニ此占領法モ亦其當ヲ得タルモノニアラザルベシ。

以上各配備ハ共ニ單ニ支隊ノ陣地占領トシテ其當ヲ得ザルノミナラズ目下ニ於ケル狀況ヨリ生セシ支隊長ノ決心ニ伴フ配備ニアラザルベシ換言セハ後ニ來着スベキ増加隊ノ使用ニ關シ毫モ顧慮スル所ナクシテ配備セシガ如キ觀アルハ余ノ頗ル遺憾トスル所ナリ。

其一、配備ノ細部ニ至リテハ固ヨリ研究ノ不足ニ因リテ生セシ欠點少シトセズト雖モ其全般ヲ言ヘハ前各項ノ配備ヨリ確ニ一頭地ヲ拔キタルモノト謂フヲ吝マザルナリ而シテ其良好ナル點ヲ詳述スルハ之ヲ後ニ譲リ茲ニ其欠點ヲ述フル所アラント欲ス但シ此等欠點ハ前各項ノ作業者ニモ共ニ通シアルコトト知ラルベシ。

砲兵陣地ヲ新井村東北方獨立標高一三一、七高地ニ選定セルアリ此高地ノ容易ニ砲兵ヲ上クルヤ否ヤハ暫タ之ヲ措キ斯ノ如ク一側ニ偏シタル位置ハ強大ナル援護隊ヲ出サザルベカラス且ツ此援護ヲシテ確實ナラシメンニハ地形上大石村西方ノ高地ニ出サザルベカラザルナリ然ルトキハ全ク孤立シ敵ノ攻撃ニ對シ永ク抵抗スル能ハスシテ敗退スルニ至ルベシ若シ新井村ノ北方ニ出サシカ大石村東端ニ顯出セシ敵ニ對シテ援護確實ナラザルベシ故ニ此砲兵ノ射撃シ得ルハ當初ニ於ケル僅少ノ時間ニ過キズシテ最モ其火力ヲ要スル場合ニハ既ニ已ニ陣地ヲ撤退セザルベカラザルニ至ルベシ是レ敵ハ斯カル危險ニ瀕セル我砲兵ニ對シテ特ニ寛容スルコトナク直ニ猛烈ナル攻撃ヲ以テ之ガ撲滅ヲ計ルベケレバナリ殊ニ此位置ハ斯ノ如キ危險ナシトスルモ他ノ狀況ニ因リテ布置シ能ハザルコトアルベキニ留意セザリシハ遺憾トスル所ナリ。

次キハ市之尾村西方乾田ノ砲兵陣地是レナリ此陣地ハ新井村及其東北方高地ニ依リテ援護セラルルガ故ニ危險ニ陷ルノ虞ナカルベシ然レドモ府中村ト新



井村トノ中間ニ存スルニ箇處ノ森林及竹叢等ハ正サシク其射撃ヲ妨害シ敵ノ攻撃前進ニ對シ大ナル効力ヲ收ムル能ハザルベシ且ツ此位置モ亦目下ノ狀況上ヨリ選定セラルベキ砲兵陣地ニアラザルナリ。

抑モ問題ヲ答解スルニ方リテハ先ツ一般ノ狀況ニ着意シ決シテ問題ニノミ意ヲ奪ハレザルヲ要ス、否ラザレハ陣地占領ニ關スル諸般ノ事項ハ總テ現時ノ要求ニ適セズ而カモ實際ニ反シタル作業ヲ見ルニ至ルベシ夫レ支隊ノ退却スルニ就テハ必ず後衛ノ設ケアルベシ而シテ「後衛ナルモノノ兵力ハ概ネ前衛ヨリ強大ナラザルベカラズ殊ニ砲兵ヲ然リトス是レ敵ヲ遠巨離ノ外ニ壓シ之ヲシテ展開セザルヲ得ザラシムルハ獨リ此兵ノ能力ニ頼ルヲ以テナリ」トハ野外要務令ノ教フル所ニシテ正サシク支隊ノ砲兵ガ後衛ニ屬セラレアルヲ明示セリ然ラハ則チ砲兵ハ後衛ト共ニ退却シ來ルベク而シテ其退却シ來ル時期ハ敵ノ業ニ既ニ近接セル時ニシテ我砲兵ノ射撃ニ大ニ待ツ所アルベキノ期ナルベシ然ルニ諸君ノ如ク退却セシ街道ヨリ遠ク離隔シタル位置ニ持チ行クハ

果シテ狀況之ヲ要求スルヤ否ヤ恐ラク一二ノ欠點アルニモセヨ一部ノ満足ヲ希望シテ其射撃開始ヲ遲緩ナラシメサルコトヲ努ムルナルベシ若シ夫レ敵ノ追躡急ナラス砲兵ハ適時後衛ヨリ其指揮ヲ脱シテ支隊長ノ直屬ニ歸セシムルトスルモ素ヨリ當初退却シ來ル者ヲ陣地ニ着クルニ比スレバ更ニ遲緩スルコト論ヲ俟タザルナリ或ハ時機ヲ後ルルコト無シトセザルベシ敵ヲシテ一刻モ我ニ對スル攻撃ヲ遲緩ナラシムルヲ欲スルノ場合ニ在リテ斯ル砲兵ノ使用ハ果シテ原則ノ是認スル所ナルヤ思フテ茲ニ至ラバ假令良好ナル陣地ニモセヨ自然ニ採用セラレザルベシ況ンヤ多クノ不利アルニ於テチヤ。

次ハ府中村東北方ノ獨立シタル高地ニ於ケル砲兵陣地是レナリ此陣地ハ掩護ヲ受クルコト頗ル確實ナルト射撃ヲ遠ク相川方面ニ及ボシ得ルノ利アリ然レドモ地區狹小ナルト射線ヲ垂井町及日守ノ中間以南ノ地ニ指向スル能ハザルトハ之ヲ捨テザルベカラザル要件トス、何トナレハ垂井町方面ハ敵ノ近接比較的容易ニシテ且ツ我歩兵ノ及ボス火力微弱ナルベキヲ以テ其近接ヲ遲緩セ



シメンニハ主トシテ砲兵ノ力ニ依頼セザルベカラザレバナリ。  
 次ハ垂井町ト府中村トノ中間畑地若クハ乾田ニ於ケル砲兵陣地是ナリ此陣地  
 ハ所謂馬車馬陣地ニシテ其價值極テ少シ若シ射界ノ廣大ナルユトテ得ント欲  
 シテ前方ニ出サンカ歩砲兵同線上ニ在リテ其受クル所ノ損害ノ爲メ瞬時ノ間  
 ニ沈黙セザルベカラザルニ至ルベシ。

以上四種ノ砲兵陣地ハ各諸君ノ選定セル所ニシテ孰レモ同意スルヲ得ザル所  
 ナリ諸君ニシテ若シ平尾村西方高地ニ留意セラレンカ前述ノ如キ特ニ不利ナ  
 ルモノヲ取ラレザルベシ夫レ此高地ハ斜面ノ傾斜平均九分一ニシテ多少ノ工  
 事ヲナスカ若クハ爲サザルモ砲車ヲ引キ上グルヲ得ベシ勿論此位置ハ歩兵砲  
 兵離隔ノ度稍々遠キニ過グルノ感ナキ能ハズト雖モ之カ爲メ大ナル不利ヲ來  
 サズ而シテ射界ハ前四種ニ比シテ廣大ナルベク殊ニ垂井町西方及下町西南方  
 地區ヲ十分ニ射撃スルヲ得ベシ之加モ退却セシ街道ニ接近シ放列ノ布置比較  
 的迅速ナルノ利益アルベシ。

陣地ノ右翼ヲ新井村ニ托スベキヤ將々之ヲ放棄スベキヤ是レ亦大ニ考フベキ  
 所ナリ夫レ新井村ハ一般正面ニ關シ凸出シ且ツ其前方地區ハ敵ノ爲メニ八十  
 分ノ展開地域ヲ有セルヲ以テ我ハ敵ノ火力ニ制壓セラレ易シ元來防禦ニ於ケ  
 ル翼ハ之ヲ前方ニ張り出スヨリハ寧ロ後方ニ曲ケ所謂守勢釣形ナル形狀ヲ附  
 與スルヲ可トス否ラザレハ敵火ノ包圍ヲ受クルコト容易ナルベク從テ薄弱ナル  
 ル部ヲシテ特ニ攻撃點タラシムルニ至ル、然ラハ則チ新井村南端ヨリ其東北  
 高地ニ亘ランカ新井村ハ之ガ爲メ多少強度ヲ増加スルモ全般ノ關係上其凸出  
 ヲ減スルニアラザルヲ以テ其攻撃點タルヲ避クルヲ得ザルノミナラズ徒ラニ  
 正面ヲ廣クスルノ害アリ故ニ新井村ハ之ヲ放棄シ其東南方竹叢ノ所ニ右翼ヲ  
 止メ此竹叢ノ北邊ニ平行シテ翼ヲ東方ニ曲ケ以テ北方ニ面セシムルヲ可トス  
 然ルトキハ新井東北方高地ニ敵ノ一部顯出セバ之ガ爲メ瞰制ヲ受クルノ害ヲ  
 來スノ恐レアルモ市之尾村西北高地ニ一部ヲ出シ以テ之ニ對セシメ且ツ我右  
 側ヲ側防セシメバ此害ヲ避クルヲ得ベシ。



次ハ左翼ヲ府中村ノ西南端ニ止ムル是ナリ前既ニ述ベシ如ク垂井町方面ハ比較的敵ノ近接容易ナルヲ以テ縱令適當ナル我砲兵陣地ヨリスル火力ニ依リ其前進ヲ遲滞セシメ得ルトスルモ敵ノ一部ニシテ垂井町ノ北端ニ顯出センカ之ガ爲メ我ハ著シク左側ニ脅威ヲ受クルニ至ルベシ之加ノミナラズ敵ガ主力ヲ以テ垂井町方面ヨリ我左側ニ迫ラントスルノ運動ニ對シテ支隊ガ頑トシテ之ニ抵抗スルハ我増加隊ノ狀況ニ由リ支隊ノ運命ヲ決スベキモノナレバ此方面ニ對シ十分ノ抵抗力ヲ有セシムルハ實ニ緊要欲クベカラザル事ニ屬スベシ。以上ハ專ラ其一ノ作業ニ關スル講評ニシテ以下余ガ本問題答解ニ關スル意見ヲ述ベ以テ全般ニ於ケル講評ヲ完了セント欲スルナリ。

余ハ既ニ前諸般ニ於テ防禦ナルモノノ原則ヲ述ベ盡セリ諸君モ亦既ニ此原則ヲ了知スル所ナラント信ゼシニ今ヤ此各作業ヲ見テ余ガ所信ヲ疑ハシムル所アルヲ遺憾トスルナリ、故ニ余ハ重複ヲ壓ハス更ニ之ヲ述ベント欲スルナリ。夫レ防禦ハ之ニ使用スル兵力ヲ防守正面ニ充ツベキ守備兵ト攻勢ニ轉セシム

ベキ總豫備隊トニ區分シ防守正面ハ地形ニ從ヒ之ヲ若干ノ地區ニ區分シ守備隊ヲシテ之ヲ負擔セシム而シテ守備隊ハ極力陣地ヲ防守シ所謂專守防禦ニシテ攻勢ノ性質ヲ有セズ之ニ反シテ總豫備隊ハ全ク攻勢ノ性質ヲ有シ防守ノ任ヲ有セズ故ニ其本領トスル所ハ防守正面ニ赴援スベキモノニアラサルナリ而シテ攻撃ニ轉ズベキ地帯ハ防守正面ノ一側ニシテ通常防守正面ヨリ突進スルコト稀レナルモノナリ何トナレバ業ニ攻勢地帯ヲ一側ニ選定シタル以上ハ特ニ總豫備隊ヲ防守正面後ニ控置スルコト之レ無カルベキノ理ナリ然レドモ余ハ防禦者ニシテ決シテ正面ヨリ突進スルコト無シト言フニアラザルナリ若シ夫レ防者ニシテ敵ノ進撃ヲ擊退シ且ツ火器ヲ利用シ若クハ陣地前ニ於テ伏臥セザルニ至リタル敵ヲ驅逐スベキトキハ始メテ正面ヨリ攻撃ニ轉ズルヲ得ベシトハ新獨逸歩兵操典ノ明言スル所ナリ而シテ所謂攻者ノ進撃ヲ擊退シ且ツ火器ヲ利用シタル後ハ自然ノ狀勢カ突進ノ動機ヲ誘發セラルルモノニシテ又陣地前ニ於テ伏臥セザルニ至リタル敵トハ我ニ肉薄シ銃劍相磨スルニ至リタ



ルノ時ニシテ此際我モ亦銃劔ヲ振フテ之ヲ擊攘スルニアラザレバ陣地ヲ奪取セラルルニ至ルベキガ故ニ斷乎タル決心ヲ以テ銃劔ニ頼リ攻撃ニ轉セザルベカラザルコトヲ意味セルナリ故ニ新獨逸操典ハ本條ニ於テ過早ノ逆擊即チ正面ヨリスル過早ノ攻撃移轉ハ陣地ヲ失フノ結果ヲ招クベキモノトスト誠メラレシ所以ナルベシ要スルニ正面ヨリ攻撃スルハ自然ノ狀勢ニ誘發セラルルト勇敢ナル防者ノ最後ニ於ケル行爲ナルコトトヨリ起ルベキモノナルハ章々トシテ疑フ所ナカルベシ故ニ是等ハ豫メ計畫シ得ラルモノニアラザルナリ其計畫シ得ルハ則チ防守正面ノ一側ヨリ攻撃ニ移轉スルノ一法アルノミ。今ヤ支隊長ノ決心ヨリ生ズル所ノ區處ハ全ク上述ノ防禦原則ヲ適用セラレベキモノニシテ現時掌握スル所ノ全兵力ハ舉テ之ヲ防禦正面ニ使用シ次デ來ルベキ増加隊ハ之ヲ攻勢移轉ニ使用セザルベカラザルナリ然ルニ諸君ノ大多數ハ此原則ノ適用ヲ無視セシカ或ハ之ニ關シ何等ノ考慮ヲ費サザリシカノ如ク實ニ準據スル所ナキ所謂我流ニ出デタルノ觀ヲ呈セリ即チ支隊長ノ豫備トシ

テ強大ナル兵力ヲ左側後ニ控置シ若シクハ右側或ハ中央後ニ控置シ恰モ機ヲ見テ攻勢ニ轉セントスルノ企圖ヲ顯セリ若シ夫レ我操典ノ所謂「陣地ノ選定宜シキヲ得、工事ノ施設、軍隊ノ配置共ニ適當ナルニ從ヒ守備ニ充ツベキ兵力愈々節約セラレ攻勢移轉ニ供用スベキ總豫備隊益々強大トナリ以テ勝利ノ基礎ヲ確實ニスルモノトスト」ノ原則ヲ適用セルト言ハンカ是レ根本ヲ誤ルモノナリ何トナラバ此原則ヲ適用シ得ルモノナラバ支隊ハ退却ヲ續行スルコトナカルベケレバナリ安ソ増加隊ノ來着ヲ待テ始テ攻勢ニ轉スルガ如キ迂チナサンヤ支隊ノ兵力ト狀態トハ正シク攻勢的防禦ヲ許サザレバコソ斯カル動作ニ出ツルコトヲ餘義ナクセシメラタルナリ故ニ支隊ノ兵力ヲ以テ防禦ヲ爲スニハ攻勢移轉ニ使用スベキ餘力ヲ有セザルモノトセザルベカラザルナリ況ヤ防守正面ニシテ十分堅固ナリセバ益々攻者ヲシテ多大ノ兵力ヲ牽引シ從テ我攻勢移轉ノ成果ヲ確實ナラシメ得ルニ於テチヤ安ソ第一線ノ兵力ヲ薄弱ナラシメ以テ強大ノ豫備隊ヲ貯存スルノ必要アラシヤ凡ソ一作業ノ答解ヲナサ

防禦、増援隊ノ來着ヲ期シタル支隊ノ防禦配備



ント欲セバ必ず先ツ原則ヲ想起シ之ヲ至當ニ適用スルコトヲ努メザル可ラズ  
 若シ夫レ原則ノ適用ヲ誤ルコトアルモ尙ホ準據スル所ナキ所謂我流ニ優ルコ  
 ト萬々ナルベシ、斯ク述べ來ラバ支隊長ハ其目的ヲ達スルガ爲メニ現時掌握  
 シアル支隊ノ全力ヲ使用スベキ防守正面ヲ何レニ取り、次テ來ルベキ増加隊  
 ナ展開スベキ攻勢地帯ヲ何レニ選ブヤノ問題ヲ生スベシ而シテ此問題ヲ答解  
 スルハ極テ簡易ナルベシ則チ攻勢ニ轉スベキ部隊ノ展開ニ要スル運動ノ容易  
 ナルコト及展開スベキ地域ヲ有スルコトノ二條件ヲ以テ陣地ヲ撰定セバ足レ  
 リ、其防守正面ノ如キハ必ズシモ之ヲ第一位ニ置クベキモノニアラザルナリ  
 何トナレバ地形ノ不利ハ人工ヲ以テ之ヲ補フヲ得ベケレバナリ夫レ此二條件  
 ナ充タスベキハ垂井町方面ナルコトハ更ニ喋言スルヲ要セザルベシ。

諸君或ハ敵ノ我陣地前ニ來ラザルニ先チ増加隊ノ來着スルコトアラント夢想  
 スル者アルガ如シ是レ實ニ我ニ有利ノ加算ヲナセルモノト謂フベシ假リニ日  
 下得タル狀報ハ此時機ニ到着シ得ルコトヲ示セシトスルモ陣地ノ占領ハ徹頭

徹尾鞏固ナラザルベカラザルナリ正ニ來ルベキ増加隊ハ途中何物カ故障ニ因  
 リテ其行進ヲ遲延スルコトアルヤ知ルベカラザルナリ況ンヤ防守正面鞏固ニ  
 シテ始テ攻勢動作ノ猛烈ヲ庶幾スルヲ得ベキニ於テチャ、體力ノ費消ヲ顧ミ  
 ズ氣息掩々トシテ來加セシ増加隊ヲ更ニ北方ニ轉進セシメ然ル後ニ新井方面  
 ヨリ攻勢ニ移轉セシメント欲スルハ迂モ亦迂、愚モ亦愚ト謂フノ外ナカルベ  
 シ何トナレバ便宜ノ地帯ヲ捨テ且ツ敵前近クニ於テ側方ニ移動スルガ如キハ  
 徒ラニ時間ヲ費スノミナラズ此地形ニ在リテ此運動ハ全ク敵ニ秘ス可ラザレ  
 ハナリ況ンヤ攻勢ニ移轉スベキ時機ノ到來ハ瞬時ニシテ若シ遲延セハ却テ増  
 加隊ノ未タ展開セザル頭上ニ一大打撃ヲ加ヘラルルニ至ルコトアルニ於テチ  
 ヤ夫レ既ニ攻勢地帯ヲ垂井町方面ニ取ラバ防守正面ハ自ラ決定セラルベシ而  
 シテ此正面ノ選定ニ就テハ府中村ヲ中心トセル線ニシテ之ヲ選定セシ理由ハ  
 各作業ニ與ヘシ講評ヲ繰リ返サバ自ラ明瞭ナルベキヲ以テ茲ニ論述スルノ要  
 ナカルベシ而シテ此線上ニ配備スルニ就テハ防守正面ノ抵抗ヲシテ十分鞏固

防禦、増援隊ノ來着ヲ期シタル支隊ノ防禦配備



ナラシムル爲メ適宜其正面幅ヲ狹小ナラシメ且ツカメテ敵ノ爲メニ有利ノ攻撃點ヲ成形セザルコトニ着意セザルベカラズ之ガ爲メ兩翼ニ就テ十分ノ研究ヲ遂グルヲ要ス而シテ右翼ニ就テハ既ニ其一ノ作業ニ與ヘシモノヲ以テ足レリトスルモ左翼ニ關シ未タ詳カニ述ヘザルヲ以テ茲ニ之ヲ開陳スベシ既ニ論ズル如ク垂井町北端ハ其前面ニ於テ敵ニ十分ノ展開、爾カモ有利ナル地域ヲ與ヘ常ニ之ガ制壓ヲ受クベキヲ以テ左翼ノ據點トナスニ足ラズ又府中村ノ西南端ヲ以テ翼ノ據點トセンカ敵ヲシテ容易ニ垂井町北端ニ展開セシムベキヲ以テ直ニ我左側ヲ脅威セラルルニ至ル故ニ敵ガ垂井町北端ニ展開スルモ之ニ對シテ十分ノ抵抗ヲ爲シ以テ左側ニ於ケル顧慮ヲ無カラシメザルベカラズ之ガ爲メ垂井町北方對岸ニ於ケル堤道ヲ以テ翼ノ據點トスルノ外、他ニ良法ナカルベシ、諸君或ハ言ハン垂井町方面ヲ空クセンカ敵ハ隨意ニ同町東方ノ地區ヨリ遠ク我左側背ニ迫リ若クハ我左翼ヲ包圍スベシト、我砲兵ノ最大有効射界内ニ於テスル斯ノ如キ動作ハ屢々之ヲ阻害シ得ベキノミナラズ斯ノ如キ

過失ハ引テ我正面前ニ於ケル攻者ヲシテ悲運ノ界内ニ浮沈セシメ得ルコト往々之レアルモノトス(彼我兵力ノ關係上我防守正面前ニ於ケル攻者ノ兵力優勢ナラザル爲メ却テ防者ノ火力ノ爲メ制壓セラル)故ニ敵ハ斯ノ如キ危険ナル動作ヲ爲サザルベシ尙ホ支隊長ノ掌握スベキ豫備隊ニ就テ一言セント欲ス既ニ述フルガ如ク防禦ニ於ケル總豫備隊ハ攻勢ノ性質ヲ有スルモノナルヲ以テ防守正面ニハ此性質ヲ有スル部隊ノ控置ヲ絶對ニ必要トセザルナリ而シテ現時支隊長ノ掌握スル支隊ノ全部ハ所謂地區ノ守備隊ニシテ攻勢ノ性質ヲ有セズ從テ攻勢移轉ニ使用スベキ總豫備隊ナルモノヲ控置スルノ要ナシ  
又或ハ該陣地ヲ占領スルニ當テ兵力ノ剩餘ヲ生ゼシヲ以テ増加隊ト共ニ攻勢移轉ニ使用セント言フ者アラン陣地ノ占領頗ル巧妙ニシテ我ニ追躡シ來ル優勢ノ敵ニ對シテ兵力ノ剩餘ヲ生ゼシムルハ大ニ希望スル所ニシテ又實ニ努メザルベカラザルナリ然レドモ該陣地ニシテ其鞏固ヲ保持シ以テ増加隊ノ攻勢移轉ヲ保障セシメントセバ守備ニ十分ナル兵力ヲ吝ムベカラザルナリ強テ剩



餘ヲ生セシメ之ヲ攻撃ニ使用セントスルガ如キハ第二義ニ措カザルベカラザルナリ又強テ剩餘ヲ生セシムルモ之ヲ攻撃ニ使用スルニ至ラズシテ守備正面ノ欲損ヲ補充スルニ至ルナラン是レ故ニ各地區ヲ守備スルニ十分ノ兵力ヲ使用セバ此際支隊長ノ手下ニ強テ豫備ヲ貯存スルノ要ナカルベキ理ナリ(但シ地區ノ守備ニ任ズル聯大隊長ハ必ズ地區豫備隊ヲ貯存シ置カザルベカラズ)其一定ノ地區ニ使用セザル總豫備隊タルベキモノハ後方ヨリ來リツツアルナリ故ニ余ハ支隊豫備ヲ取リシテ不同意ト言フニアラズ又支隊豫備ヲ取ラザルヲ以テ余ノ意見ト稱スルニアラザルナリ要スルニ豫備トシテ貯存スル部隊ノ性質ガ攻勢的ナラザル限りハ之ヲ聯大隊長ニ一任スルモ支隊長ノ手下ニ貯存スルモ是レ支隊長ノ性質及聯大隊長其人ノ智能如何ニ歸スルモノナレバナリ然レドモ増加隊ノ來着マデ戦闘ヲ繼續シ其間ニ生ズル狀況ノ變遷ヲ適當ニ支配シ得ルハ蓋シ支隊長ノ手下ニ豫備隊ノ存スルトキニ於テノミナルベシ之ヲ思ヘバ營ニ聯大隊長ニ一任シテ自然ノ成行ニ從フガ如キハ極メテ危險ト言フ

ノ外ナカルベシ縱令寡少ナリトモ豫備ヲ貯存スルヲ以テ寧ロ至當ト稱スベキナリ。

以上論述スル所ニ依リ余ハ次ノ如ク配備ス(附圖第一參照)

- 一、歩兵第一聯隊(第二大隊本部并一中隊欠)ハ新井村北方獨立標高一三一、七高地ヨリ新井村、漆原ヲ經テ下町南方ニ亘ル線ニ對シテ府中村ト新井村トノ中間ニ存スル森林ヨリ府中村ノ西南端附近ニ亘リ占領セシム。  
機關銃四挺ヲ屬ス。
- 二、歩兵第二聯隊第一大隊ハ垂井町及同町ト下町トノ中間地區ニ對シ垂井町東北端橋梁附近ヨリ府中村北端附近ニ亘リ占領セシム。  
機關銃二挺ヲ附ス。

三、砲兵大隊ハ主トシテ下町附近及下町ヨリ其南方高地ニ亘ル地帯ヲ射擊シ得ル如ク平尾村西方高地ニ布陣セシム。

四、歩兵第一聯隊第三大隊本部并一二中隊ハ支隊ノ豫備トシテ府中村東方

防禦、増援隊ノ來着ヲ期シタル支隊ノ防禦配備